

2010年3月

「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と  
地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」

「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と  
地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」

2010年3月

平成21年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)  
社会福祉法人 JHC 板橋会

## はじめに

このたび、厚生労働省の平成21年度障害者保健福祉推進事業（障害者自立支援調査研究）の補助を受け、「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」及び「クラブハウスモデルの精神障害者の自助活動を基盤としたマネジメントサービスによる地域支援事業の先駆的实践事例調査」を実施してきました。全国の自治体、地域活動支援センターへのアンケート調査ならびに先駆的な活動実践している団体への参与観察を基本とした聞き取り調査を行い、ピアサポートやクラブハウスの認知度、理解度及び実践活動の現状について検証を行いました。アンケート調査の対象は、全国の自治体1741ヶ所、地域活動支援センターは2687ヶ所に及び、半数以上の自治体、団体からご協力を頂くことができました。

JHC板橋会は、1992年板橋区の理解と協力で区の単独事業としてクラブハウス「サン・マリーナ」を開設しました。1988年にニューヨークにあるクラブハウス「ファンテンハウス」の研修部長であったプロブスト氏が来日し、「日本にもクラブハウスを」と呼びかけてから4年目のことでした。1996年にセルフヘルプの拠点として「ピアサポートセンターハーモニー」を開設し、1998年に開設の地域生活支援センタースペースピアでは、相談支援事業にピアカウンセリングを導入し、6名のピアカウンセラーが当事者の当事者による相談支援活動（ピアサポート）を開始しました。日本におけるピアカウンセラーの魁と云ってよいでしょう。一方で毎年カリフォルニアのサクラメントにある「コンシューマー・セルフヘルプセンター」と交流し、海外研修及び国際交流を継続してきました。アメリカのコンシューマーや支援者を講師に迎え、ピアカウンセリングセミナー全国研修の定例化をはじめセルフヘルプグループリーダー養成講座のプログラムを常設するなど、啓発普及に努めてきました。JHC板橋会のこのような啓発教育は20年を超え、今では、ピアカウンセリング、ピアサポートやクラブハウスは地域移行の重要な存在として期待に込めているのが実情です。

ピアサポートに関する本調査では、自治体による実施状況を実施率でみると地域活動支援センターでは24%であったことが意外でした。しかし、相談機能を有するI型で退院促進支援事業を実施している地域活動支援センターは、生活支援や病院訪問を実施しているところが少なくありません。ピアサポートを実施する上での一番の課題は「なり手が少ない」ことが挙げられています。ピアサポートを実施する上で重要なことは、当事者の人材育成はもちろんですが、ピアサポートへの支援体制を整えることも重要です。JHC板橋会では、セルフヘルプグループリーダー養成講座の継続的な参加とグループ及び個別のスーパービジョン等の職員による支援を必須としています。相談者支援におけるピアサポーターのバーンアウトを防ぎ、安心して相談支援に臨める様にサポートすることは、当事者とスタッフともに必須のことと考えています。

先駆的实践事例調査では、先駆的に活動を行っている11団体を選択し、支援者と当事者のチームによる現地訪問調査を行いました。11団体のうち3団体は世界クラブハウス連盟の認定を受け、クラブハウスの運営基準に基づいた活動を行っています。クラブハウスはその歴史から判るように運営自体がメンバーのピアサポート（相互支援活動）を基盤としたマネジメントサービスによって行われています。それは、当事者の主体性を尊重し、メンバーとスタッフの相互信頼に基づいた対等な関係のパートナーシップによって運営されているのです。本調査で大変興味示唆に富んだ報告がありました。ある団体職員は、国外のクラブハウス見学の際、誇りと自信に満ちたメンバーの行動に、日本の当事者にもそうなってほしいと、作業所活動にクラブハウスモデルを導入した。ある施設では、ピアサポートを事業として位置づけ、退院促進支援事業の当事者支援のピアサポーター育成を行っている。また、ある施設では、障害者が安心して地域で暮らすための生活、就労及び家族への支援など、従来の

サービスの枠では収まりきれない支援を包括的に行っているところもありました。ほとんどの団体に共通していることは、サン・マリーナ等クラブハウスを見学し、当事者が活き活きと活動している姿に共感し、クラブハウスモデルを導入していることでした。

日本においては、現行法で規定された施設運営をすることで、その運営費が保障されていますが、法外施設であるクラブハウス「サン・マリーナ」が板橋区の単独事業として運営されているのは、画期的なことなのです。つまり、法や制度に規定されない当事者の相互支援活動には支援力の確立に保障がなく、継続運営が困難な状況に立たされていることが、本調査で明らかになりました。

長い間、精神障害者たちは、自らが主体となって自らの人生を歩んでいくための国の支援施策を待望してきました。当事者の相互支援活動を従来の福祉サービスに新たに加えていただくか、地域活動支援センター等が行っている当事者の支援活動が、円滑に行えるような新たな仕組みづくりを検討できないでしょうか。例えば、ピアサポートやクラブハウスを相互エンパワメントの支援事業として創設し、制度化していくことを提案させていただきたいと思います。

最後に、本調査には当事者の方も含めて延400名近い方が協力をして下さいました。産学公民のエンパワメント支援への共感と共有の賜物として心から感謝申し上げます。

調査研究の成果を分かちあう報告会では、エンパワメント支援への希望をこめたコメントをそれぞれの立場からいただくことができました。

このたびの厚生労働省の平成21年度障害者保健福祉推進事業に携わる機会を頂いたことは、広く多くの人々に理解と協力を推進する契機にもなり、地域力を身近にする機会としても感謝しています。この調査報告がこれからの総合的な障害者保健福祉サービスの実現に貢献できることを願っています。

# Contents

---

|          |   |
|----------|---|
| はじめに     | 2 |
| 調査研究の動機  | 6 |
| 事業実施計画   | 8 |
| 研究事業経過報告 | 8 |

## 第1部 地域活動支援センターに関する調査

|                        |    |
|------------------------|----|
| 調査の目的                  | 13 |
| 調査の方法                  | 13 |
| 調査方法の概要                | 13 |
| ピアサポート活動の分類            | 13 |
| 調査項目                   | 14 |
| 調査結果                   | 16 |
| 自治体調査                  | 16 |
| 地活1次調査                 | 24 |
| 地活2次調査                 | 45 |
| 考察                     | 62 |
| 結果の解釈における注意点           | 62 |
| ピアサポートの実施状況について        | 63 |
| ピアサポートを実施していく上での困難について | 64 |
| まとめ                    | 65 |
| 資料 アンケート用紙             | 66 |

## 第2部 訪問インタビュー調査(現場からの報告事例)

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 社会福祉法人 てりてりかんぱにい ジョイント・ほっと         | 77  |
| 財団法人 北海道精神保健推進協会 こころのリカバリー総合支援センター | 81  |
| クラブハウスゆうせん                         | 86  |
| 特定非営利活動法人 ヒューマンケアクラブストライド ストライドクラブ | 92  |
| 特定非営利活動法人 旭川ひだまりの会                 | 96  |
| 特定非営利活動法人 ふれあいセンター                 | 101 |
| 医療法人 晴明会 指定障害者福祉サービス事業所 晴風苑        | 107 |
| 特定非営利活動法人 けやきと仲間                   | 111 |
| 特定非営利活動法人 権利擁護あさひ ピアセンターあかり        | 117 |
| 社会福祉法人JHC板橋会 サン・マリーナ               | 123 |
| 伊賀市社会福祉協議会 リレーオブライフいが              | 130 |

## まとめ

### 考 察 137

1. 当事者の相互支援活動の運営評価 137
2. 当事者の相互支援活動の実践評価 138
3. 「サービス提供者としての当事者」による分類 139
4. 当事者の相互支援活動の事業構造 141

### リカバリー（回復）指向のエンパワメント支援事業の実際と提言 149

1. クラブハウスの歴史と権利擁護活動 149
2. 世界標準クラブハウスに必須の継続的な教育支援体制 150
3. 世界標準のクラブハウスモデル研修 150
4. 日本におけるピアサポート活動やクラブハウス（モデル）の確立 151

### 包括的活動が生み出す多様な雇用形態と職域拡大に向けての提言 153

1. はじめに 包括的就労支援の現状 153
2. 本調査から見てきた就労支援の在り方 154
3. 今後に向けての提言 154

### まとめ 156

#### 資料 クラブハウスモデルによる先駆的实践調査報告会 158

#### ご挨拶と国や都への提言 160

#### ご報告 161

#### おわりに 162

#### クラブハウスモデルによる先駆的实践事例調査票 166

#### クラブハウスモデル基準 176

#### 参考文献一覧 179

#### 参考資料一覧 180

#### 研究者・研究協力者 182



## 調査研究の動機

精神障害者が障害者福祉に法的な位置づけを得た1993(平成5)年障害者基本法の制定以降、精神保健に福祉を導入した精神保健福祉法(1995年)など自立と社会参加促進が進められてきた。JHC板橋における25年の道程は、精神保健福祉サービスにコンシューマーが参加する意義(WHO1989年等)と実際を学び共に歩んだ国際文化事業協会(ICA)や米国カルフォルニア州の支援者やコンシューマーとの20年余の継続した相互交流によるものである。

精神に障がいのある人の経験を生かしたSSTやピアカウンセリングをエンパワメントの相互支援の方法としてとらえ、住居や日常生活、就労、地域活動等地域生活支援の基盤とした。エンパワメントの機会を求めた相互交流と地域貢献の7年間の作業所活動の蓄積の上に、自助活動を基盤とした相互支援システム「クラブハウス(世界標準)」を板橋区単独事業として開設。利用者自らがマネジメントサービスを利用して、参加し協働する総合的かつ包括的な参加・協働型地域生活支援システムのモデルとして18年を経過してきている。

ピアサポートやクラブハウスは、パートナーシップにもとづく可能性の自由を保障する自分たちのと呼べる参加・協働のサービスを共に創る互いのエンパワメントを独自とする。

以下に、当事者の参加・協働の相互支援の意義を、ピアサポートおよびクラブハウスの共通の基盤とする根拠として理念、支援概念、方向性から明らかにして調査研究の動機とする。

### ①「理念」－障害者基本法の理念に基づく精神保健福祉事業活動

障害者基本法の理念(第3条)に立脚する精神保健福祉事業活動は、尊厳を保ち、自分らしく生活する権利を有する社会の構成員として、あらゆる分野の活動に参加・参画する機会を得られるようにすること。社会の構成員だれもが、障害を理由に差別や権利利益を侵害する行為をすることなく、支え合う責任を分かち持ち共生社会実現に向けた協働活動である。

### ②「当事者主導の支援概念」－リカバリー指向のエンパワメント支援事業活動

回復(リカバリー recovery)の視点である病理や困難さではなく、今、していること出来ていることの可能性に信頼を置き、願いや夢を手放すことなく課題に挑戦し続ける本人主導の支援であり積極的なかわりである。だれもが、社会の構成員として個の尊厳や権利を擁護して、選択し決定した役割を果たそうと決断し実行する回復の道を、肩を並べて歩むことであると云える。

こうした回復の道程は、だれもが相互に尊重しあって頼りにしあえる連帯感を育み、自己肯定感や自己効力感を増進するエンパワメントの道である。回復の道程には、人間に共通する社会生活条件として多様性豊かな福祉サービスを共に創って、エンパワメントを分かちあうパートナーのつながりが築かれる。

### ③方向性－ソーシャルインクルージョンを推進して人間尊重の社会を創る

だれもが社会の構成員として、排除や孤立ではなく参加・参画し協働するソーシャルインクルージョンは、世界ソーシャルワーク専門職定義の価値(IFSW)であり、日本ソーシャルワーカー連盟倫理規定の社会的責務である。

ソーシャルインクルージョンは、「エンパワメントの視点に立つ、当事者の視点と経験を重視した活動」(熊本理沙2007)を推進する当事者主導のエンパワメント支援事業活動の重視である。

生活のしづらさを課題にして挑戦する人の、蓄えた心の回復力(レジリエンス)や対処してきた経験を語り聴く(ナラティブ)相互関係で、強さ(ストレングス)を知り敬う自分に気づき、共感の地域力を開発する仲間になる。自助活動(自助)や市民ボランティア(互助)・公的サービス(公助)など、社会の構成員同士が、人間尊重の社会をビジョンにして取り組むまちづくりである

ピアサポートやクラブハウス(モデル)は、自助活動を基盤とした相互支援の方法とシステムであり、その支援は制度上にも実践上にも重要な課題である。

2003(平成15)年「精神保健福祉改革に向けた今後の対策の方向(精神保健福祉対策本部)」の当事者活動を支援してピアサポートやクラブハウスの支援など新たな独自のサポートを創出する必要性が報告された。障害者自立支援法で地域活動支援センターが位置づけられ期待されたが、エンパワメント支援事業活動の位置づけには人員配置など支援力確保の点で困難な状況は否めない。

クラブハウスは、アメリカのニューヨーク市に1948(昭和23)年に開設された「ファウンテンハウス」が起源である。現在、世界クラブハウス連盟(ICCD)には、認定クラブハウスとして30か国約400か所が加盟。アジアでは韓国のクラブハウスが、国庫補助事業として1987(昭和62)年にソウル市に誕生し、現在アジアの研修クラブハウスになっている。

日本初のクラブハウス「サン・マリーナ」は、板橋区の単独補助事業として1992(平成4)年出立した。東京都は、2004(平成16)年に福祉改革推進事業「精神障害者当事者間の自助活動を基本としたリハビリテーション事業」、2007(平成19)年に「障害者施策推進区市町村包括補助事業」として運営費の50%補助を実施してきている。

日本におけるピアサポートやクラブハウスモデルが、全国各地でどのように展開されているかを把握し、当事者の視点と経験を重視したエンパワメント支援事業活動が国レベルの施策として至上されることを期待したい。



## 事業実施計画

事業名：「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」

事業実施予定期間：平成21年7月1日 から 平成22年3月31日まで

事業の具体的内容：

### 1. クラブハウスモデルの精神障害者の自助活動を基盤としたマネジメントサービスによる地域支援事業の先駆的実践事例調査

内容：先行事例や学識者の推薦による先進的実践例を抽出し、クラブハウス認定事業所と日本型クラブハウス事業所の地域生活を支える支援内容と有効性を比較検討し分析した上で、我が国の実情に合わせたクラブハウスモデルを明らかにする。

実施時期：平成21年10月から平成22年2月

調査方法：訪問によるインタビュー調査

### 2. 地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の実態調査 (NPOメンタルケア協議会に委託)

内容：地域活動支援センターにおいて、ピアサポート活動を行っているかどうかを調査する。実施している場合は、二次調査で活動内容、研修実施状況、ピアスタッフの雇用条件などを調査する。

実施時期：平成21年9月下旬から平成22年1月

対象(一次調査)：地域活動支援センター全て

対象(二次調査)：ピアサポート活動を行っている地域活動支援センター

調査手法：質問紙調査

### 3. 全国自治体におけるピアサポート活動把握と活動促進体制についての調査 (NPOメンタルケア協議会に委託)

内容：全国の自治体に調査を実施し、各自治体におけるピアサポート活動と活動促進体制の実態把握をする。

実施時期：平成21年9月下旬から10月

対象：全国の都道府県、市町村及び特別区

調査手法：質問紙調査

### 4. 研究成果共有化のための研究会開催

内容：1から3までの調査結果内容を精神障害者支援を行っている実践者と当事者、行政関係者などに呼びかけて報告と意見交換会を行う。

実施時期：平成22年3月

対象：精神障害者支援を行っている事業所、行政機関など

## 研究事業経過報告

平成21年6月12日：平成21年度障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト)国庫補助に係る内示について、国庫補助額内定。

7月9日：社会福祉法人JHC板橋会(以下JHC板橋会)と特定非営利活動法人十勝障害者サポートネットの合同会議開催。

9月8日：「第1回JHC板橋会調査委員会」質問紙調査と訪問インタビュー調査の作業打ち合わせ、倫理審査、研究報告会、報告書、会計等

10月22日：「第2回JHC板橋会調査委員会」調査計画、調査票の検討、プレ調査、倫理審査等

10月30日：板橋区福祉部長と調査研究について協議

11月12日：「訪問調査委員会」調査票の検討、調査の進め方等  
 11月16日：「訪問調査委員会」調査票の検討、調査の進め方等  
 11月26日：「訪問調査委員会」調査チームの検討、調査先の事前学習会等  
     板橋区福祉部長より調査票、調査の進め方等助言を受ける  
 12月3日：「訪問調査委員会」調査先の事前学習会、模擬調査等  
 12月11日：「訪問調査委員会」調査先の事前学習会、模擬調査等  
 12月15日：「訪問調査委員会」調査先の事前学習会、模擬調査等  
 12月16日～18日：「こころのリカバリー総合支援センター」訪問調査実施（北海道札幌市）  
 12月22日：「訪問調査委員会」報告書のまとめ方等  
 12月24日：「こころのリカバリー総合支援センター」調査報告会、模擬調査等  
 1月5日：板橋区福祉部長、障がい者福祉課長へ調査の経過報告  
 1月7日：「訪問調査委員会」模擬調査、報告書のまとめ方等  
 1月14日：「訪問調査委員会」模擬調査、報告書のまとめ方等  
 1月21日：「訪問調査委員会」模擬調査、報告書のまとめ方等  
 1月21日～22日：「クラブハウスゆうせん」訪問調査実施（岐阜県各務原市）  
 1月22日：JHC板橋会理事会へ調査の経過報告  
 1月23日：板橋区福祉部長、障がい者福祉課長へ調査の経過報告  
 1月26日：「ピアセンターあかり」訪問調査実施（千葉県柏市）  
 1月28日：「ストライドクラブ」訪問調査実施（東京都渋谷区）  
 1月31日～2月1日：「ジョイント・ほっと」訪問調査実施（京都府下京区）  
 2月3日：「けやきと仲間」訪問調査実施（千葉県千葉市）  
 2月3日～5日：「リレーオブライフいが」訪問調査実施（三重県伊賀市）  
     「晴風苑」（沖縄市糸満市）「ふれあいセンター」（那覇市）訪問調査実施  
 2月3日～6日：「旭川ひだまりの会」訪問調査実施（北海道旭川市）  
 2月4日：「ストライドクラブ」調査報告会、報告書のまとめ方等  
 2月12日：JHC板橋会理事会へ調査の経過報告  
 2月17日：「サン・マリーナ」訪問調査実施（東京都板橋区）  
 2月18日：「けやきと仲間」「リレーオブライフいが」調査報告会  
 2月21日：「第3回JHC板橋会調査員会」質問紙調査と訪問調査の成果と報告会開催等  
 2月25日：「旭川ひだまりの会」「クラブハウスゆうせん」調査報告会  
 3月2日：板橋区福祉部障がい者福祉課長へ調査報告書の説明  
 3月3日：板橋区福祉部長へ調査報告書の説明  
 3月4日：「ジョイント・ほっと」「晴風苑とふれあいセンター」調査報告会  
 3月8日：前板橋区長へ調査報告書の説明  
 3月11日：「サン・マリーナ」「ピアセンターあかり」調査報告会  
     板橋区福祉部障がい者福祉課長より調査の講評  
 3月13日：JHC板橋会理事会へ調査報告書の説明  
 3月18日：「訪問調査委員会」報告会について等  
 3月20日：研究会開催の準備  
 3月23日：厚生労働省へ調査報告  
 3月24日：研究会会場打ち合わせ  
 3月30日：「研究成果共有化のための研究会開催」



## 第1部 地域活動支援センターに関する調査



## 調査の目的

精神障害者のピアサポートは、精神障害者の地域生活支援や地域移行における有効な手段の一つとして注目されている。しかし、その全国における実施状況は明らかになっておらず、今後の普及のためには実態調査が欠かせない。本研究では、今後のピアサポート活動の普及に対する実践的な示唆を得ることを目的として、精神障害者のピアサポートを担う主体の一つと想定される地域活動支援センターを対象に、ピアサポート活動の実施状況、ピアサポーターの育成状況、ピアサポーターの待遇等に関する調査を行う。

## 調査の方法

### 調査方法の概要

本調査は、下記の3部から構成されている。

1. 自治体調査  
全国の自治体 (N=1741) を対象とした自記式質問紙調査
2. 地域活動支援センター1次調査 (以下地活1次調査)  
全国の地域活動支援センター (N=2687) を対象とした自記式質問紙調査
3. 地域活動支援センター2次調査 (以下地活2次調査)  
地活1次調査と電話調査によってピアサポート活動を行っていることが明らかになった地域活動支援センター (N=473) に対する自記式質問紙調査

地活1次調査、地活2次調査ともに、調査の対象は地域活動支援センターの従事者でピアサポート活動に最も詳しい者とした。2009年11月から12月にかけて地活1次調査を行い、2009年12月～2010年2月にかけて地活2次調査を行った。なお、地活1次調査により、精神障害者のピアサポート活動を行っていることが明らかになった地域活動支援センター、そして電話調査によってピアサポート活動を行っていることが明らかになった地域活動支援センターに対して

地活2次調査の質問紙を送付した。2687ヶ所の地域活動支援センターのうち、精神障害者が担い手・受け手となるピアサポート活動を行っているセンターは473ヶ所であり、行っていないことが明らかになったのは1820ヶ所であった。282ヶ所については不明であり、112ヶ所は「地域活動支援センターではなくなった」など非該当であった。

### ピアサポート活動の分類

本調査では、ピアサポート活動を以下の4つに分類し、調査を行った。

#### 活動1. ピアサポーターによる生活支援

障害のある方が、当事者自身、家族、授産施設、相談支援事業所、グループホーム、デイケア等の依頼を受けて、または自主的に、障害のある方のご自宅を訪問して、話し相手になったり、自宅の清掃や家事支援を行ったり、外出支援を行ったりする活動。ピア(ホーム)ヘルパーの活動は含むが、入院されている方への訪問活動は除く。

#### 活動2. ピアサポーターによる病院への訪問

障害のある方が、当事者、家族、病院等の依頼を受けて、または自主的に、近隣病院に入院している障害のある方の元を訪れ、入院生活や地域生活の相談にのったりする活動。

#### 活動3. 1対1でのピアカウンセリング

障害のある方が、当事者自身、家族等の依頼を受けて、または自主的に、近隣に住む障害のある方(センター利用者を含む)の日常生活に関する相談や人間関係に関する相談、就労に関する相談等を受ける活動。1対1などのフォーマルな形式でのカウンセリングに限り、グループミーティング形式での相談については「4. ピアサポートグループ」に含める。

#### 活動4. ピアサポートグループ

障害のある方がピアサポートグループを結成し、定期的にグループミーティングを行って、人間関係の悩みや生活上の悩みなどの相談を行ったり、ピアサポーターによるパソコン教室や手芸教室など、自主グループ活動を行ったりする活動。



## 調査項目

### 自治体調査

資料1の質問紙を送付した。調査項目は以下のとおりである。

まず、自治体内で上記4分類のピアサポート活動が2008年4月から2010年3月までの間に行われたかどうか、また、今後行う予定があるかどうかを尋ねた。行われた場合は行われた事業所数を、行う予定がある場合は行う予定の事業所数を尋ねた。

次に、ピアサポート活動、特に活動2の病院訪問がどのような枠組みで行われているのかを明らかにするために、退院促進事業実施との関連について尋ねた。選択肢は「0. 退院促進事業を実施していない」、「1. 精神障害者ピアサポーターによる訪問を行っている」、「2. かつて行っていたが、現在では行っていない」、「3. 退院促進事業は行っているが、精神障害者ピアサポーターによる訪問は行っていない」、「4. わからない」とした。

さらに、ピアサポートを担う人材の養成に対する公的な支援の状況を探した。選択肢は「0. 行っていない」、「1. ピアサポートセンター等設置推進事業に基づく資金援助を行っている」、「2. 自治体独自に資金援助を行っている」、「3. 人材育成研修に使う場所を提供している」、「4. その他」とした。

### 地活1次調査

資料2の質問紙を送付した。調査項目は以下の通りである。

まず、基礎属性として都道府県、自治体規模、相談支援事業の有無、保健医療福祉の専門職の雇用状況、地域活動支援センターの認定時期、地域活動支援センターの設置主体、平成21年9月の開所日数、平成21年9月の利用者数、職員数を尋ねた。自治体の規模については「1. 1万人未満」、「2. 1万人以上～5万人未満」、「3. 5万人以上～10万人未満」、「4. 10万人以上～50万人未満」、「5. 50万人以上～100万人未満」、「6. 100万人以上」で尋ねた。地域活動支援センターの設置主体については「1. 社会福祉法人」、「2. 医療法人」、「3. 特定非営利活動法人」、「4. 社団法人」、「5. 財団法人」、「6. 社会福祉協議会」、「7. 都道府県・市町村」、「8. そ

の他」で尋ねた。利用者数については主たる障害が精神障害の方、知的障害の方、身体障害の方に分けて回答を依頼した。

次に、地域活動支援センター活動を13の項目に分けて「0. 行っていない」、「1. 年数回」、「2. 月1回～週1回」、「3. 週2、3回」、「4. ほぼ毎日」で尋ねた。活動内容の項目は、入院中の精神障害者への訪問、ひきこもりの方への訪問、定期的なサロン活動、イベント(季節の行事、食事会など)の開催、会報の発行やホームページの運営、講演会の開催、掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援、電話相談、下請け作業(箱折、洗浄など)、自主製品の製造販売、メンバーミーティングの開催、来客・訪問者の見学案内、当事者同士の交流活動や相互支援活動の支援とした。上記に挙げた項目以外の活動についても内容を自由記述で尋ね、活動の頻度を尋ねた。

最後に、4種類のピアサポート活動について、活動の担い手と受け手を「精神障害の方」、「知的障害の方」、「身体障害の方」に分けて実施状況を探した。

### 地活2次調査

資料3の質問紙を送付した。調査項目は以下の通りである。

まず、基礎属性として回答者の性別、年齢、職位、地域活動支援センターでの勤務期間を探した。年齢は「～歳代」の形で尋ねた。職位は「施設長」、「常勤職員」、「非常勤職員」、「ボランティア」、「利用者」、「その他」で尋ねた。

次に、4種類のピアサポート活動について実施の有無、活動期間を探した後、各ピアサポート活動について詳細な内容を尋ねた。各活動に共通で尋ねたのは、ピアサポーターの数、活動の対象となった実人数と延べ人数、ピアサポーターの待遇、ピアサポーターの育成、振り返りのミーティングの有無、運営へのピアサポーターの関わり方、活動を行っていく上での困難な点、今後の活動継続意向である。ピアサポーターの待遇については、「最低賃金以上の賃金を支払っている」、「最低賃金を下回る程度の報酬を支払っている(有償のボランティア)」、「移動に要する費用など必要経費のみ支払っている」、「全く支払っていない」の4種類に分け、



それぞれに該当するピアサポーターの数を尋ねた。ピアサポーターの育成については、「貴センターで養成講座を開いている」、「他団体が主催する養成講座を受講するよう促している」、「従事する者同士の研修会を開いている」、「育成は全く行っていない」の4種類に分け、それぞれに該当するピアサポーターの数を尋ねた。運営へのピアサポーターの関わり方については、「メンバーが中心となって企画・運営を行っている」、「スタッフと同じ程度、企画・運営を行っている」、「メンバーはほとんど企画・運営に関わっていない」の3種類に分けて尋ねた。活動を行っていく上での困難な点は4種類のピアサポート活動それぞれに設定した。今後の活動継続意向については、「回数を増やしたい」、「現状のままでよい」、「回数を減らしたい」、「その他」に分けて尋ねた。

生活支援については、支援内容を「料理・掃除など家事」、「買い物などの外出」、「日常生活における悩み事」、「同居家族の悩み事」、「服薬指導・相談」、「就労・就労継続支援」、「住居の確保」、「その他」に分けて尋ねた。病院訪問については、活動の対象を「主に長期入院患者を対象に、自治体の退院促進支援事業として行っている」、「自治体の退院促進支援事業ではないが、主に長期入院患者の退院支援を目的として行っている」、「入院期間に関わらず、入院患者を対象として行っている」、「その他」に分けて尋ねた。

そして、4種類のピアサポート活動以外のピアサポート活動についても自由記述で活動内容を探ねた。

最後に、クラブハウスモデルに関して、認知度、知った経緯、クラブハウスモデルと地域活動支援センターの活動の共通点を探ねた。クラブハウスモデルについては、「クラブハウスモデルとは、世界クラブハウス連盟規約に基づいて、自助活動を中心とした相互支援活動を実施する活動のことです。クラブハウスでは、当事者の主体性、自己決定権の尊重が重視されており、精神障害者を有する利用者（メンバー）が運営に主体的に関わります。また、独自の雇用支援プログラムや、権利擁護、住居提供といった包括的な生活支援プログラムを持っています。運営は民間団体が行い、独自の理事組織を持っ

ています。活動を始めるためには、世界クラブハウス連盟の定める研修を受講する必要があり、活動開始後にはモニタリング（監査）など定期的なフォローアップを受けます。日本では現在複数の団体がクラブハウス連盟の規約に基づいて活動を展開しています。」という説明を付した。認知度に関しては、「理念や活動内容、活動を行っている団体などを知っている」、「名前はきいたことがあるが、理念や活動内容はよくわからない」、「初めてきいた」に分けて尋ねた。知った経緯については、「クラブハウスを見学したことがある」、「テレビや書籍で知った」、「講演会で知った」、「精神保健福祉センターや保健所など、行政の情報から知った」、「家族会で知った」、「当事者団体、患者会で知った」、「作業所や社会復帰施設で知った」、「病院、クリニックなど医療機関で知った」、「その他」に分けて尋ねた。地域活動支援センターの活動との共通点を探ねるに当たっては、クラブハウスモデルを「世界共通のサービスモデルに基づいて活動を実施している点」、「サービスモデルを定めた規約をスタッフ、利用者を含めた全メンバーで共有している点」、「安全を脅かす者を除き、精神病歴をもつ人であれば誰でもメンバーになることができる点」、「メンバーはいつでも退会したり、復帰したりできる点」、「運営責任は職員とメンバー全員が負い、運営の全てをスタッフとメンバーの合議により決定する点」、「クラブハウスのための独立した理事会もしくは諮問委員会を持っている点」、「独立した施設を持っており、すべての空間がメンバーと職員に開放されている点」、「施設は公共交通機関を利用しやすい場所に立地している点」、「クラブハウス内の仕事をメンバー全員で分担して行う点」、「過渡的雇用プログラムを実施している点」、「権利擁護や住居確保支援など生活全体を支援するサービスを行っている点」、「提供しているサービスの評価を行っている点」に分け、現在の活動と共通するかどうかを探ねた。これらの項目はクラブハウスモデルの国際規約を参考に作成した。「過渡的雇用」に関しては、「雇用主の協力を得て、実際の職場でクラブハウスのメンバーの希望者が働くこと。働く人は雇用主ではなく、クラブハウスが選択します。欠勤するときは、クラブハウスの

別のメンバーが穴埋めをします。最低賃金以上の賃金を雇用主が直接支払います。」という説明を付した。

### 倫理的配慮

本研究の目的を含む研究の実施についての情報を調査依頼状に明記し、調査票への回答をもって同意とみなした。収集するデータはすべて匿名化した。また、本研究で収集した全情報は、NPOメンタルケア協議会が責任をもって管理した。調査で知り得た、すべての事項・情報は本報告書並びに今後の学術的な発表においてのみ使用し、商業目的には一切使用しない。以上の点について、NPOメンタルケア協議会の倫理審査委員会に審査を依頼し、2009年12月に承認を得た。

### 分析

まず、調査票に含まれる変数の単純集計(平均値、中央値、レンジ、標準偏差など)を行った。次に、ピアサポート活動を行っている地域活動支援センターを抽出するとともに、行っていない地域活動支援センターとの基礎属性の比較を行った。離散値の場合は $\chi^2$ 乗検定、順序変数の場合はMann-WhitneyのU検定、連続量の場合は対標本t検定を行った。

## 調査結果

### 自治体調査

1741の自治体中、866(49.7%)の自治体から回答が得られた。都道府県別の回答状況を表1にまとめた。神奈川県(82.8%)、静岡県(74.3%)、東京都(71.0%)などで回収率が高かったが、徳島県(20.8%)、和歌山県(24.1%)、石川県(27.8%)などでは低かった。

### ピアサポート活動の実施状況

各自治体におけるピアサポート活動の実施状況を図1にまとめた。自治体ごとの事業所数を図2から図5にまとめ、都道府県別の実施状況を表2～表5、図6～図9に示した。ピアサポート活動のクロス集計の結果は表6、表7に示し

た。ピアサポーターによる生活支援が行われた自治体が43ヶ所(行う予定の事業所もある自治体は0ヶ所)、ピアサポーターによる病院への訪問が行われた自治体が41ヶ所(行う予定の事業所もある自治体は1ヶ所)、1対1でのピアカウンセリングが行われた自治体が54ヶ所(行う予定の事業所もある自治体は0ヶ所)、ピアサポートグループが行われた自治体が100ヶ所(行う予定の事業所もある自治体は3ヶ所)であった。なお、その他の活動として回答されたものの中で、ピアサポートの定義に当てはまると思われたものは回答を変更した。具体的には、12ヶ所の回答でその他として回答されていたものをピアサポートグループに変更した。

現在行われていないものの、今後ピアサポーターによる生活支援を行う予定がある自治体で、事業所数がわかる自治体は5ヶ所(各1事業所ずつが予定)、ピアサポーターによる病院への訪問を行う予定がある自治体で、事業所数がわかる自治体は3ヶ所(各1事業所ずつが予定)、1対1でのピアカウンセリングを行う予定がある自治体で、事業所数がわかる自治体は4ヶ所(3自治体で1事業所ずつ予定、1自治体で2事業所が予定)、ピアサポートグループを作る予定がある自治体で、事業所数がわかる自治体は2ヶ所(1自治体で1事業所、1自治体で3事業所が予定)であった。4種類すべてのピアサポート活動が行われている自治体は10ヶ所であった。

### 退院促進事業の有無とピアサポート活動の関連

退院促進事業について尋ねた結果を図10にまとめ、退院促進による訪問の有無と各ピアサポート活動のクロス集計を行った結果を表8にまとめた。精神障害者ピアサポーターによる訪問を行っている自治体は36ヶ所(4%)であり、かつて行っていたという自治体も7ヶ所(1%)あった。退院促進による訪問活動が行われている自治体では、各種のピアサポート活動が行われている傾向がみられた( $\chi^2$ 検定  $p<.001$ )。

### ピアサポート人材育成に対する公的な援助

ピアサポートを行う人材の育成に関して自治体が行っている援助について尋ねた結果を表9にまとめた。育成のサポートを行っている自治

体は全体の1%程度であった。それぞれの援助を受けている事業所数についてみると、ピアサポートセンター等設置推進事業に基づく資金援助を受けていたのは3自治体で各1事業所の計3事業所であった。自治体独自の資金援助を受けていたのは7自治体で各1事業所、1自治体で2事業所の計9事業所であった。人材育成に使う場所の提供を受けていたのが6自治体で各1事業所、1自治体で3事業所の計9事業所であった。

### その他のピアサポート活動

その他のピアサポート活動について自由記述で尋ねた結果を表10にまとめた。就労ピアグループや、体験発表といった例が挙げられた。

表1 都道府県別の回答状況 (n=866)

|      | 送付数  | 回答数 | 回答率   | 回答全体に占める割合 |
|------|------|-----|-------|------------|
| 北海道  | 176  | 82  | 46.6% | 9.5%       |
| 青森県  | 39   | 26  | 66.7% | 3.0%       |
| 岩手県  | 34   | 22  | 64.7% | 2.5%       |
| 宮城県  | 34   | 15  | 44.1% | 1.7%       |
| 秋田県  | 24   | 14  | 58.3% | 1.6%       |
| 山形県  | 35   | 16  | 45.7% | 1.8%       |
| 福島県  | 57   | 18  | 31.6% | 2.1%       |
| 茨城県  | 44   | 26  | 59.1% | 3.0%       |
| 栃木県  | 29   | 15  | 51.7% | 1.7%       |
| 群馬県  | 35   | 14  | 40.0% | 1.6%       |
| 埼玉県  | 68   | 41  | 60.3% | 4.7%       |
| 千葉県  | 53   | 28  | 52.8% | 3.2%       |
| 東京都  | 62   | 44  | 71.0% | 5.1%       |
| 神奈川県 | 29   | 24  | 82.8% | 2.8%       |
| 新潟県  | 30   | 14  | 46.7% | 1.6%       |
| 富山県  | 14   | 9   | 64.3% | 1.0%       |
| 石川県  | 18   | 5   | 27.8% | 0.6%       |
| 福井県  | 17   | 6   | 35.3% | 0.7%       |
| 山梨県  | 28   | 14  | 50.0% | 1.6%       |
| 長野県  | 79   | 35  | 44.3% | 4.0%       |
| 岐阜県  | 41   | 20  | 48.8% | 2.3%       |
| 静岡県  | 35   | 26  | 74.3% | 3.0%       |
| 愛知県  | 57   | 38  | 66.7% | 4.4%       |
| 三重県  | 29   | 12  | 41.4% | 1.4%       |
| 滋賀県  | 25   | 8   | 32.0% | 0.9%       |
| 京都府  | 25   | 13  | 52.0% | 1.5%       |
| 大阪府  | 39   | 25  | 64.1% | 2.9%       |
| 兵庫県  | 37   | 19  | 51.4% | 2.2%       |
| 奈良県  | 38   | 15  | 39.5% | 1.7%       |
| 和歌山県 | 29   | 7   | 24.1% | 0.8%       |
| 鳥取県  | 19   | 12  | 63.2% | 1.4%       |
| 島根県  | 21   | 13  | 61.9% | 1.5%       |
| 岡山県  | 29   | 11  | 37.9% | 1.3%       |
| 広島県  | 21   | 12  | 57.1% | 1.4%       |
| 山口県  | 19   | 9   | 47.4% | 1.0%       |
| 徳島県  | 24   | 5   | 20.8% | 0.6%       |
| 香川県  | 16   | 5   | 31.3% | 0.6%       |
| 愛媛県  | 19   | 12  | 63.2% | 1.4%       |
| 高知県  | 33   | 12  | 36.4% | 1.4%       |
| 福岡県  | 63   | 28  | 44.4% | 3.2%       |
| 佐賀県  | 20   | 10  | 50.0% | 1.2%       |
| 長崎県  | 22   | 9   | 40.9% | 1.0%       |
| 熊本県  | 46   | 24  | 52.2% | 2.8%       |
| 大分県  | 17   | 9   | 52.9% | 1.0%       |
| 宮崎県  | 27   | 18  | 66.7% | 2.1%       |
| 鹿児島  | 44   | 13  | 29.5% | 1.5%       |
| 沖縄県  | 41   | 13  | 31.7% | 1.5%       |
| 合計   | 1741 | 866 | 49.7% |            |

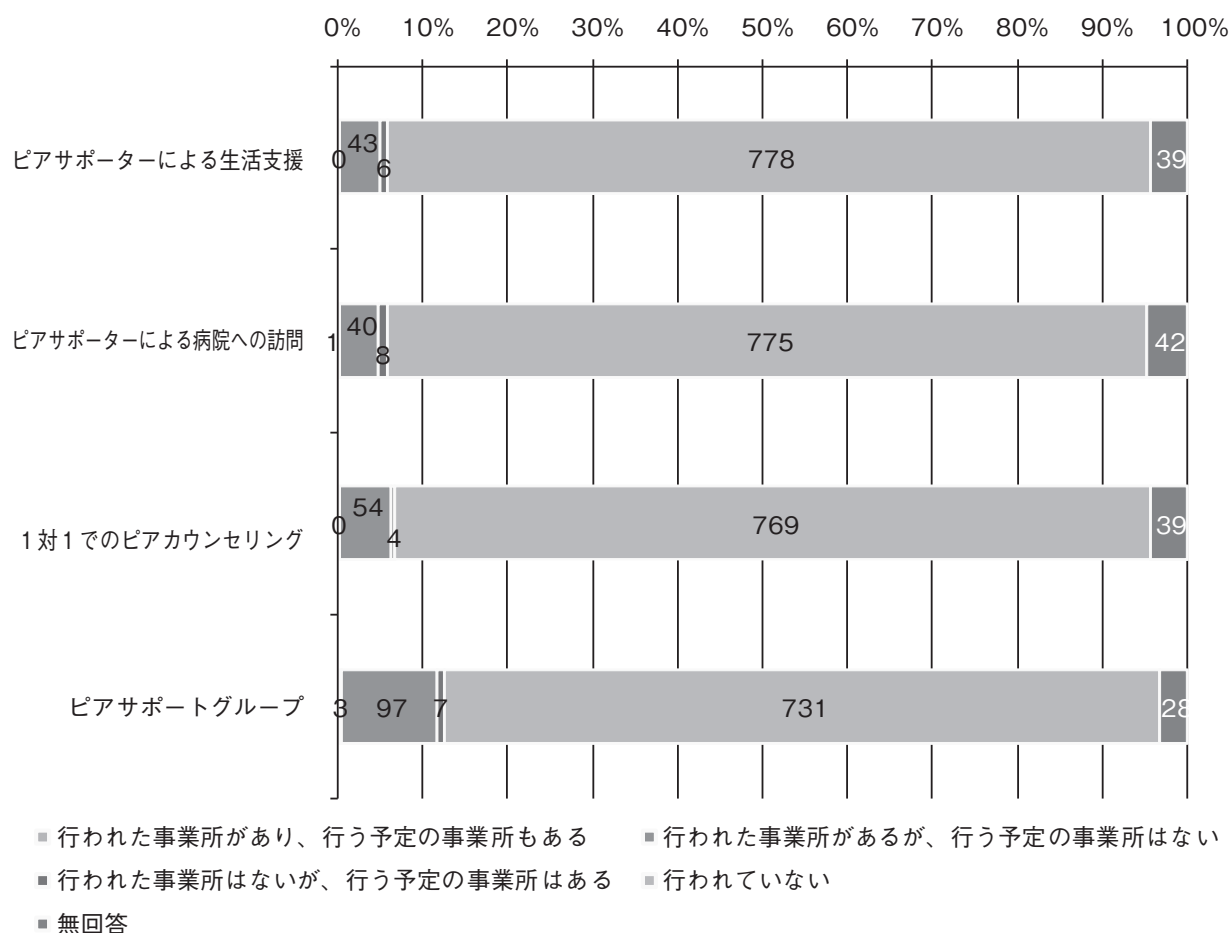


図 1 自治体ごとのピアサポート活動の実施状況 (n=866)

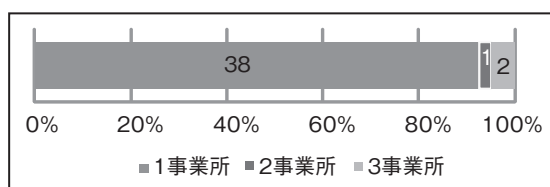


図 2 ピアサポーターによる生活支援を実施している事業所数 (n=41)

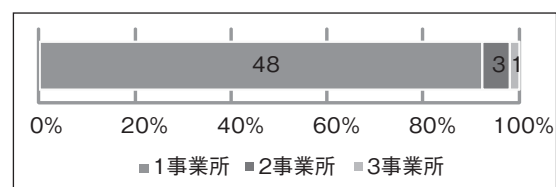


図 4 1対1でのピアカウンセリングを実施している事業所数 (n=52)

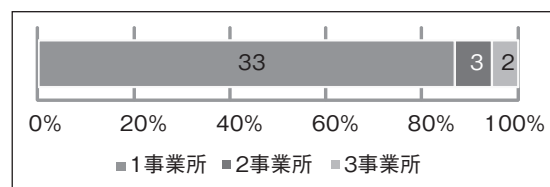


図 3 ピアサポーターによる病院への訪問を実施している事業所数 (n=38)

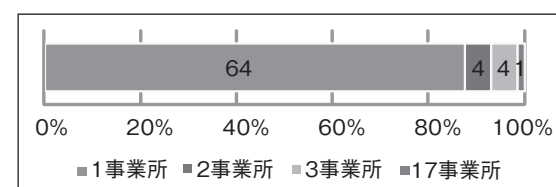


図 5 ピアサポートグループを組織している事業所数 (n=73)

表2 ピアサポーターによる生活支援の実施状況  
(n=866)

|      | 回答数 | 実施事業<br>所のある<br>自治体数 | 都道府県別<br>回答に占め<br>る割合 | 実施自治体<br>全体に占め<br>る割合 |
|------|-----|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 北海道  | 82  | 8                    | 9.8%                  | 18.6%                 |
| 青森県  | 26  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 岩手県  | 22  | 1                    | 4.5%                  | 2.3%                  |
| 宮城県  | 15  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 秋田県  | 14  | 1                    | 7.1%                  | 2.3%                  |
| 山形県  | 16  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福島県  | 18  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 茨城県  | 26  | 2                    | 7.7%                  | 4.7%                  |
| 栃木県  | 15  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 群馬県  | 14  | 1                    | 7.1%                  | 2.3%                  |
| 埼玉県  | 41  | 3                    | 7.3%                  | 7.0%                  |
| 千葉県  | 28  | 1                    | 3.6%                  | 2.3%                  |
| 東京都  | 44  | 6                    | 13.6%                 | 14.0%                 |
| 神奈川県 | 24  | 1                    | 4.2%                  | 2.3%                  |
| 新潟県  | 14  | 1                    | 7.1%                  | 2.3%                  |
| 富山県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 2.3%                  |
| 石川県  | 5   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福井県  | 6   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 山梨県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長野県  | 35  | 1                    | 2.9%                  | 2.3%                  |
| 岐阜県  | 20  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 静岡県  | 26  | 2                    | 7.7%                  | 4.7%                  |
| 愛知県  | 38  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 三重県  | 12  | 1                    | 8.3%                  | 2.3%                  |
| 滋賀県  | 8   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 京都府  | 13  | 1                    | 7.7%                  | 2.3%                  |
| 大阪府  | 25  | 4                    | 16.0%                 | 9.3%                  |
| 兵庫県  | 19  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 奈良県  | 15  | 1                    | 6.7%                  | 2.3%                  |
| 和歌山県 | 7   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 鳥取県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 島根県  | 13  | 1                    | 7.7%                  | 2.3%                  |
| 岡山県  | 11  | 2                    | 18.2%                 | 4.7%                  |
| 広島県  | 12  | 1                    | 8.3%                  | 2.3%                  |
| 山口県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 2.3%                  |
| 徳島県  | 5   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 香川県  | 5   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 愛媛県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 高知県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福岡県  | 28  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 佐賀県  | 10  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長崎県  | 9   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 熊本県  | 24  | 1                    | 4.2%                  | 2.3%                  |
| 大分県  | 9   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 宮崎県  | 18  | 1                    | 5.6%                  | 2.3%                  |
| 鹿児島  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 沖縄県  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 合計   | 866 | 43                   | 5.0%                  |                       |

表3 ピアサポーターによる病院への訪問の実施状況  
(n=866)

|      | 回答数 | 実施事業<br>所のある<br>自治体数 | 都道府県別<br>回答に占め<br>る割合 | 実施自治体<br>全体に占め<br>る割合 |
|------|-----|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 北海道  | 82  | 9                    | 11.0%                 | 22.0%                 |
| 青森県  | 26  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 岩手県  | 22  | 1                    | 4.5%                  | 2.4%                  |
| 宮城県  | 15  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 秋田県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 山形県  | 16  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福島県  | 18  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 茨城県  | 26  | 1                    | 3.8%                  | 2.4%                  |
| 栃木県  | 15  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 群馬県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 埼玉県  | 41  | 5                    | 12.2%                 | 12.2%                 |
| 千葉県  | 28  | 1                    | 3.6%                  | 2.4%                  |
| 東京都  | 44  | 7                    | 15.9%                 | 17.1%                 |
| 神奈川県 | 24  | 3                    | 12.5%                 | 7.3%                  |
| 新潟県  | 14  | 1                    | 7.1%                  | 2.4%                  |
| 富山県  | 9   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 石川県  | 5   | 1                    | 20.0%                 | 2.4%                  |
| 福井県  | 6   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 山梨県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長野県  | 35  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 岐阜県  | 20  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 静岡県  | 26  | 1                    | 3.8%                  | 2.4%                  |
| 愛知県  | 38  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 三重県  | 12  | 2                    | 16.7%                 | 4.9%                  |
| 滋賀県  | 8   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 京都府  | 13  | 1                    | 7.7%                  | 2.4%                  |
| 大阪府  | 25  | 4                    | 16.0%                 | 9.8%                  |
| 兵庫県  | 19  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 奈良県  | 15  | 1                    | 6.7%                  | 2.4%                  |
| 和歌山県 | 7   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 鳥取県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 島根県  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 岡山県  | 11  | 1                    | 9.1%                  | 2.4%                  |
| 広島県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 山口県  | 9   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 徳島県  | 5   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 香川県  | 5   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 愛媛県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 高知県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福岡県  | 28  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 佐賀県  | 10  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長崎県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 2.4%                  |
| 熊本県  | 24  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 大分県  | 9   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 宮崎県  | 18  | 1                    | 5.6%                  | 2.4%                  |
| 鹿児島  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 沖縄県  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 合計   | 866 | 41                   | 4.7%                  |                       |



表4 1対1でのピアカウンセリングの実施状況  
(n=866)

|      | 回答数 | 実施事業<br>所のある<br>自治体数 | 都道府県別<br>回答に占め<br>る割合 | 実施自治体<br>全体に占め<br>る割合 |
|------|-----|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 北海道  | 82  | 6                    | 7.3%                  | 11.1%                 |
| 青森県  | 26  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 岩手県  | 22  | 1                    | 4.5%                  | 1.9%                  |
| 宮城県  | 15  | 1                    | 6.7%                  | 1.9%                  |
| 秋田県  | 14  | 1                    | 7.1%                  | 1.9%                  |
| 山形県  | 16  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福島県  | 18  | 2                    | 11.1%                 | 3.7%                  |
| 茨城県  | 26  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 栃木県  | 15  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 群馬県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 埼玉県  | 41  | 2                    | 4.9%                  | 3.7%                  |
| 千葉県  | 28  | 1                    | 3.6%                  | 1.9%                  |
| 東京都  | 44  | 14                   | 31.8%                 | 25.9%                 |
| 神奈川県 | 24  | 1                    | 4.2%                  | 1.9%                  |
| 新潟県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 富山県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 1.9%                  |
| 石川県  | 5   | 1                    | 20.0%                 | 1.9%                  |
| 福井県  | 6   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 山梨県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長野県  | 35  | 1                    | 2.9%                  | 1.9%                  |
| 岐阜県  | 20  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 静岡県  | 26  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 愛知県  | 38  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 三重県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 滋賀県  | 8   | 1                    | 12.5%                 | 1.9%                  |
| 京都府  | 13  | 1                    | 7.7%                  | 1.9%                  |
| 大阪府  | 25  | 3                    | 12.0%                 | 5.6%                  |
| 兵庫県  | 19  | 1                    | 5.3%                  | 1.9%                  |
| 奈良県  | 15  | 2                    | 13.3%                 | 3.7%                  |
| 和歌山県 | 7   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 鳥取県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 島根県  | 13  | 1                    | 7.7%                  | 1.9%                  |
| 岡山県  | 11  | 2                    | 18.2%                 | 3.7%                  |
| 広島県  | 12  | 2                    | 16.7%                 | 3.7%                  |
| 山口県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 1.9%                  |
| 徳島県  | 5   | 2                    | 40.0%                 | 3.7%                  |
| 香川県  | 5   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 愛媛県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 高知県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福岡県  | 28  | 3                    | 10.7%                 | 5.6%                  |
| 佐賀県  | 10  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長崎県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 1.9%                  |
| 熊本県  | 24  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 大分県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 1.9%                  |
| 宮崎県  | 18  | 1                    | 5.6%                  | 1.9%                  |
| 鹿児島  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 沖縄県  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 合計   | 866 | 54                   | 6.2%                  |                       |

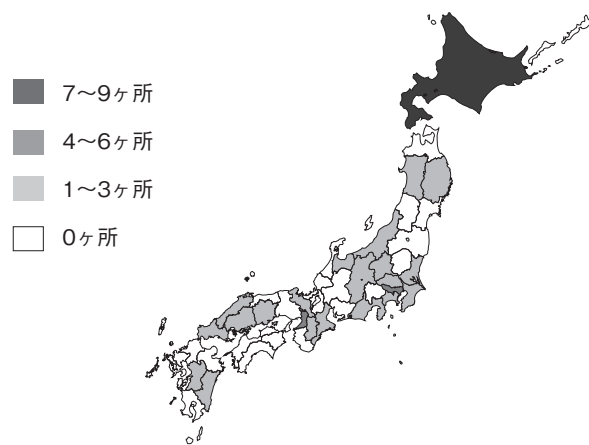


図6 ピアサポーターによる生活支援を実施している事業所のある自治体の分布

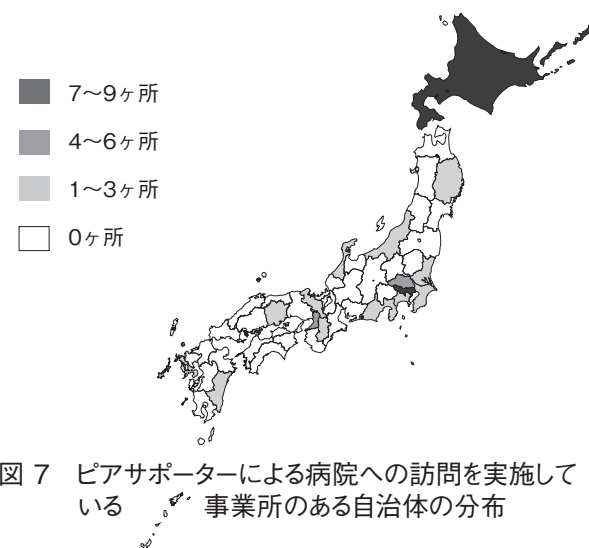


図7 ピアサポーターによる病院への訪問を実施している事業所のある自治体の分布

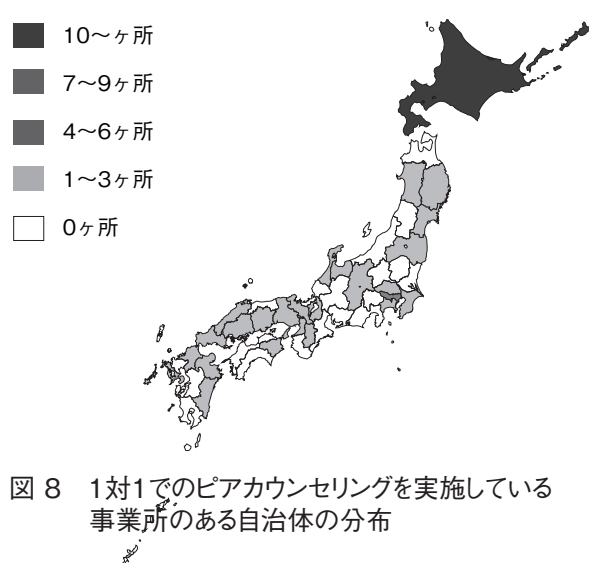


図8 1対1でのピアカウンセリングを実施している事業所のある自治体の分布



表5 ピアサポートグループの組織状況 (n=866)

|      | 回答数 | 実施事業<br>所のある<br>自治体数 | 都道府県別<br>回答に占め<br>る割合 | 実施自治体<br>全体に占め<br>る割合 |
|------|-----|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 北海道  | 82  | 8                    | 9.8%                  | 8.0%                  |
| 青森県  | 26  | 1                    | 3.8%                  | 1.0%                  |
| 岩手県  | 22  | 7                    | 31.8%                 | 7.0%                  |
| 宮城県  | 15  | 1                    | 6.7%                  | 1.0%                  |
| 秋田県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 山形県  | 16  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 福島県  | 18  | 2                    | 11.1%                 | 2.0%                  |
| 茨城県  | 26  | 2                    | 7.7%                  | 2.0%                  |
| 栃木県  | 15  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 群馬県  | 14  | 1                    | 7.1%                  | 1.0%                  |
| 埼玉県  | 41  | 7                    | 17.1%                 | 7.0%                  |
| 千葉県  | 28  | 2                    | 7.1%                  | 2.0%                  |
| 東京都  | 44  | 12                   | 27.3%                 | 12.0%                 |
| 神奈川県 | 24  | 9                    | 37.5%                 | 9.0%                  |
| 新潟県  | 14  | 1                    | 7.1%                  | 1.0%                  |
| 富山県  | 9   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 石川県  | 5   | 1                    | 20.0%                 | 1.0%                  |
| 福井県  | 6   | 1                    | 16.7%                 | 1.0%                  |
| 山梨県  | 14  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長野県  | 35  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 岐阜県  | 20  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 静岡県  | 26  | 1                    | 3.8%                  | 1.0%                  |
| 愛知県  | 38  | 1                    | 2.6%                  | 1.0%                  |
| 三重県  | 12  | 2                    | 16.7%                 | 2.0%                  |
| 滋賀県  | 8   | 2                    | 25.0%                 | 2.0%                  |
| 京都府  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 大阪府  | 25  | 6                    | 24.0%                 | 6.0%                  |
| 兵庫県  | 19  | 2                    | 10.5%                 | 2.0%                  |
| 奈良県  | 15  | 3                    | 20.0%                 | 3.0%                  |
| 和歌山県 | 7   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 鳥取県  | 12  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 島根県  | 13  | 2                    | 15.4%                 | 2.0%                  |
| 岡山県  | 11  | 2                    | 18.2%                 | 2.0%                  |
| 広島県  | 12  | 3                    | 25.0%                 | 3.0%                  |
| 山口県  | 9   | 2                    | 22.2%                 | 2.0%                  |
| 徳島県  | 5   | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 香川県  | 5   | 1                    | 20.0%                 | 1.0%                  |
| 愛媛県  | 12  | 2                    | 16.7%                 | 2.0%                  |
| 高知県  | 12  | 1                    | 8.3%                  | 1.0%                  |
| 福岡県  | 28  | 3                    | 10.7%                 | 3.0%                  |
| 佐賀県  | 10  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 長崎県  | 9   | 1                    | 11.1%                 | 1.0%                  |
| 熊本県  | 24  | 4                    | 16.7%                 | 4.0%                  |
| 大分県  | 9   | 3                    | 33.3%                 | 3.0%                  |
| 宮崎県  | 18  | 3                    | 16.7%                 | 3.0%                  |
| 鹿児島  | 13  | 0                    | 0.0%                  | 0.0%                  |
| 沖縄県  | 13  | 1                    | 7.7%                  | 1.0%                  |
| 合計   | 866 | 100                  | 11.5%                 |                       |

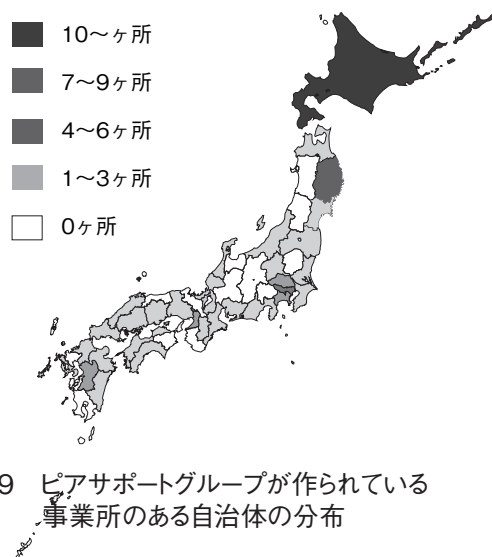


図9 ピアサポートグループが作られている事業所のある自治体の分布

表6 ピアサポート活動のクロス集計

| ピアサポーターによる<br>生活支援 | ピアサポーターによる<br>病院への訪問 | 1対1でのピアカウンセリ<br>ングピアサポートグループ | n | %       |
|--------------------|----------------------|------------------------------|---|---------|
| ○                  | ○                    | ○                            | ○ | 10 1.2% |
| ○                  | ○                    | ○                            | × | 2 0.2%  |
| ○                  | ○                    | ×                            | ○ | 5 0.6%  |
| ○                  | ×                    | ○                            | ○ | 6 0.7%  |
| ×                  | ○                    | ○                            | ○ | 3 0.3%  |
| ○                  | ○                    | ×                            | × | 7 0.8%  |
| ○                  | ×                    | ○                            | × | 4 0.5%  |
| ○                  | ×                    | ×                            | ○ | 4 0.5%  |
| ×                  | ○                    | ○                            | × | 1 0.1%  |
| ×                  | ○                    | ×                            | ○ | 7 0.8%  |
| ×                  | ×                    | ○                            | ○ | 6 0.7%  |
| ○                  | ×                    | ×                            | × | 1 0.1%  |
| ×                  | ○                    | ×                            | × | 3 0.3%  |
| ×                  | ×                    | ○                            | × | 17 2.0% |
| ×                  | ×                    | ×                            | ○ | 42 4.8% |

表7 ピアサポート活動のクロス集計

|                      |      | ピアサポーターによる病院<br>への訪問 |      |      |       | 1対1でのピアカウンセリ<br>ング |      |      |       | ピアサポートグループ |      |      |       |
|----------------------|------|----------------------|------|------|-------|--------------------|------|------|-------|------------|------|------|-------|
|                      |      | 実施あり                 |      | 実施なし |       | 実施あり               |      | 実施なし |       | 実施あり       |      | 実施なし |       |
|                      |      | n                    | %    | n    | %     | n                  | %    | n    | %     | n          | %    | n    | %     |
| ピアサポーターによる<br>生活支援   | 実施あり | 25                   | 2.9% | 15   | 1.7%  | 23                 | 2.7% | 18   | 2.1%  | 26         | 3.0% | 14   | 1.6%  |
|                      | 実施なし | 14                   | 1.6% | 767  | 88.6% | 27                 | 3.1% | 754  | 87.1% | 58         | 6.7% | 723  | 83.5% |
| ピアサポーターによる<br>病院への訪問 | 実施あり |                      |      |      |       | 16                 | 1.8% | 22   | 2.5%  | 27         | 3.1% | 13   | 1.5%  |
|                      | 実施なし |                      |      |      |       | 33                 | 3.8% | 750  | 86.6% | 58         | 6.7% | 725  | 83.7% |
| 1対1でのピアカウ<br>ンセリング   | 実施あり |                      |      |      |       |                    |      |      |       | 28         | 3.2% | 24   | 2.8%  |
|                      | 実施なし |                      |      |      |       |                    |      |      |       | 58         | 6.7% | 714  | 82.4% |

表8 退院促進による訪問事業と各ピアサポート活動のクロス集計

|          |    |     | 退院促進による訪問 |       |     |       |
|----------|----|-----|-----------|-------|-----|-------|
|          |    |     | あり        |       | なし  |       |
| 全数       |    |     | n         | %     | n   | %     |
| ピアサポーター  | あり | 43  | 17        | 39.5% | 26  | 60.5% |
| による生活支援  | なし | 751 | 17        | 2.3%  | 734 | 97.7% |
| ピアサポーター  | あり | 41  | 24        | 58.5% | 17  | 41.5% |
| による病院への  | なし | 749 | 11        | 1.5%  | 738 | 98.5% |
| 訪問       |    |     |           |       |     |       |
| 1対1でのピアカ | あり | 53  | 10        | 18.9% | 43  | 81.1% |
| ウンセリング   | なし | 739 | 23        | 3.1%  | 716 | 96.9% |
| ピアサポーター  | あり | 97  | 20        | 20.6% | 77  | 79.4% |
| グループ     | なし | 705 | 14        | 2.0%  | 691 | 98.0% |

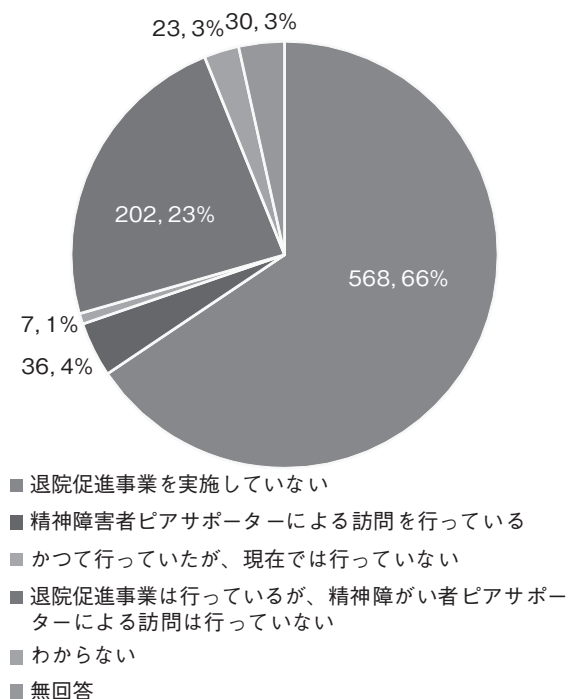


図 10 自治体における退院促進事業による  
病院への訪問の有無 (n=866)

表9 ピアサポート人材育成に対する自治体からの援助 (n=866)

|                           | n  | %    |
|---------------------------|----|------|
| 人材育成研修に使う場所の提供            | 12 | 1.4% |
| ピアサポートセンター等設置推進事業に基づく資金援助 | 10 | 1.2% |
| 自治体独自の資金援助                | 9  | 1.0% |
| その他                       |    |      |
| 相談支援事業委託の中で実施している         | 8  | 0.9% |
| 地域活動支援センター I 型の事業として実施    | 5  | 0.6% |
| 公共施設使用料の一部減免、無償貸与         | 2  | 0.2% |
| 資金援助                      | 2  | 0.2% |
| ピアサポーターの雇用                | 2  | 0.2% |
| ピアサポーター養成研修の実施            | 2  | 0.2% |
| ピアサポーター養成に向けた学習会の開催       | 1  | 0.1% |
| ピアサポーターの養成                | 1  | 0.1% |
| (ピアサポーターとは限らない) 人材育成研修の実施 | 1  | 0.1% |
| ピアサポートグループ運営の人的支援と場の提供    | 1  | 0.1% |
| 人材育成研修に使う場所の提供            | 1  | 0.1% |
| ピア支援者の相談支援                | 1  | 0.1% |
| 圏域内の事業所に委託している            | 1  | 0.1% |
| ピアサポート活動周知への協力            | 1  | 0.1% |
| ミーティングへの職員の参加             | 1  | 0.1% |
| ボランティア講座                  | 1  | 0.1% |

表10 その他のピアサポート活動に関する自由記述欄の回答内容

| カテゴリー         | 自由記述欄の回答内容                                                                                                                                                                                   |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 就労ピアグループ      | 就労ピアグループ                                                                                                                                                                                     |
| 体験発表          | 体験発表・会議                                                                                                                                                                                      |
| ピアカウンセリング     | プログラム活動におけるピアカウンセリング<br>障害者巡回相談支援事業におけるピアカウンセリング                                                                                                                                             |
| ピアサポーターの養成・研修 | ピアカウンセリング養成講座<br>ピアカウンセリング学習会、ピアのつどい(ピアカウンセラーの振り返りの場)                                                                                                                                        |
| 上記以外          | ピアカウンセリング学習会<br>精神障がい者家庭相談員<br>ピアサポーターによる家庭訪問<br>ギャンブル依存症の会<br>相談支援体制整備特別支援事業(ピアサポート強化事業)<br>ニュース発行<br>自立生活プログラムの実施<br>相談支援事業による生活支援<br>ふれあいトーク<br>オープンスペースにて意図的に声かけをしてもらっている<br>ピアサポーター養成参加 |

## 地活1次調査

### 地域活動支援センターの属性

2687の地域活動支援センターのうち、1093ヶ所(40.7%)から回答が得られた。回答のあった地域活動支援センターの所在地を表11にまとめた。もっとも多いのは神奈川県(77ヶ所、7.0%)であった。次いで、東京都(57ヶ所、5.2%)、北海道(56ヶ所、5.1%)、千葉県(56ヶ所、5.1%)、長野県(50ヶ所、4.6%)、大阪府(50ヶ所、4.6%)の順に多かった。

地域活動支援センターのある自治体の規模を図11に示した。10万人以上～50万人未満の自治体に設置されている地域活動支援センターが最も多く、全体の35%を占めていた。100万人以上の自治体に設置されている地域活動支援センターは154ヶ所で、全体の14%であった。

地域活動支援センターの運営法人を図12、表12にまとめた。もっとも多かったのは特定非営利活動法人で、全体の41%を占めていた。

相談支援事業の実施状況と保健医療福祉の専門職の雇用状況を図13、図14に示し、両者のクロス集計を表13に示した。48%の地域活動支援センターで相談支援事業を実施しており、49%の地域活動支援センターで保健医療福祉の専門職を雇用していた。相談支援事業を実施しており、かつ保健医療福祉の専門職を雇用している地域活動支援センターは393ヶ所であった。

地域活動支援センターの開所した年度を図15にまとめた。平成19年に開所したセンターが最も多く、375ヶ所(34%)であった。平成21年に開所しており、開所から1年以上経っていないセンターも70ヶ所(6%)あった。また、開所からの月数(平成22年1月時点)を図16にまとめた。もっとも多いのは36ヶ月から39ヶ月、すなわち地域活動支援センターが制度化されたときに認定を受けたセンターが最も多く、369ヶ所(38%)であった。なお、開所からの年、月いずれかに回答が無かった場合や、いずれにも回答が無かった場合は図16から除外した。

回答のあった地域活動支援センターの概要を表14にまとめた。平成21年9月の開所日数の平均は20.4日(標準偏差は3.8日)であった。その分布状況は図17にまとめた。もっとも多かったのは15日以上20日未満開所していたセンター

で528ヶ所(48%)であった。30日間すべて開所していたというセンターも44ヶ所(4%)あった。1ヶ月の来所者延べ人数のうち、主たる障害が精神障害である利用者は平均183名(標準偏差は219.1名)であった。その分布状況は図18にまとめた。なお、知的障害の利用者、身体障害の利用者の分布状況は図19、図20にまとめた。総利用者数は平均224名(標準偏差は196.4名)であった。分布状況は図21にまとめた。総利用者数に占める精神障害者の割合については、図22にまとめた。0～10%という地域活動支援センターが156ヶ所ある一方で、90～100%という地域活動支援センターも264ヶ所あり、全体の4割以上を占めていた。常勤職員の平均は2.81名(標準偏差1.78名)であり、非常勤職員の平均は常勤換算で1.56名(標準偏差1.37名)であった。なお、それぞれの分布状況は図23、図24にまとめた。

### 地域活動支援センターの活動内容

地域活動支援センターで行っている活動の内容と活動頻度を図25にまとめた。最も活動頻度が多かったのは電話相談で、504ヶ所の地域活動支援センターがほぼ毎日行っていると回答していた。次に多かったのは下請け作業で、345ヶ所の地域活動支援センターがほぼ毎日行っていると回答していた。自主製品の製造販売をほぼ毎日行っているという地域活動支援センターも265ヶ所あった。一方で、下請け作業や自主製品の製造販売は行っていないという地域活動支援センターもそれぞれ576ヶ所、518ヶ所あった。当事者同士の交流活動や相互支援活動を「ほぼ毎日」もしくは「週2,3回程度」支援している地域活動支援センターはそれぞれ157ヶ所、50ヶ所あった。

### ピアサポート活動の実施状況

精神障害のある方が担い手、受け手となるピアサポート活動の実施状況を表15と図26にまとめた。ピアサポーターによる生活支援を行っている事業所の都道府県別分布は表16と図27に、ピアサポーターによる病院への訪問を行っている事業所の都道府県別分布は表17と図28に、1対1でのピアカウンセリングを行っている事業所の都道府県別分布は表18と図29に、ピ

ピアサポートグループを行っている事業所の都道府県別分布は表19と図30に示した。ピアサポート活動のクロス集計の結果を表20と表21に示した。精神障害者同士のピアサポーターによる生活支援を行っている地域活動支援センターは137ヶ所(12.6%)あり、ピアサポーターによる病院への訪問を行っている地域活動支援センターは97ヶ所(8.9%)あった。1対1でのピアカウンセリングを行っている地域活動支援センターは125ヶ所(11.5%)あり、ピアサポートグループを行っている地域活動支援センターは165ヶ所(15.1%)あった。4種類のピアサポート活動のいずれかを行っている地域活動支援センターは262ヶ所(11.3%)あり、すべて行っていると回答した地域活動支援センターは39ヶ所(3.6%)あった。

#### 地域活動支援センターの属性によるピアサポート活動の実施状況の違い

ピアサポーターによる生活支援実施の有無による事業所の属性の違いを表22、表23に示した。ピアサポーターによる生活支援が実施されている地域活動支援センターでは自治体の規模が大きく、相談支援事業を行っている割合が高く、保健医療福祉の専門職を雇用している割合が高かった。また、相談支援事業を実施していて、専門職も雇用している、いわゆる地域活動支援センター1型に相当する地域活動支援センターでピアサポーターによる生活支援が多く実施されている傾向もみられた。さらに、ピアサポーターによる生活支援を行っている地域活動支援センターほど、開所日数が長く、精神障害者の利用者数が多く、全利用者に占める精神障害者の割合が多かった。一方、常勤職員数、非常勤職員数と生活支援実施の有無に有意な関連はみられなかった。

ピアサポーターによる生活支援実施の有無による事業所の活動内容の違いを表24に示した。ピアサポーターによる生活支援を行っている地域活動支援センターでは入院されている障害のある方への訪問、ひきこもりの方への訪問、定期的なサロン活動、イベント(季節の行事、食事会など)の開催、会報の発行やホームページの運営、講演会の開催、掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援、電話相談、メンバー

ミーティングの開催、来客・訪問者の見学案内を月1回以上実施している傾向がみられた。なお、下請け作業、自主製品の製造販売を行っている地域活動支援センターとピアサポーターによる生活支援実施の有無に有意な関連はみられなかった。

ピアサポーターによる病院への訪問実施の有無による事業所の属性の違いを表25、表26に示した。ピアサポーターによる病院への訪問を行っている地域活動支援センターでは自治体の規模が大きく、相談支援事業を行っている割合が高く、保健医療福祉の専門職を雇用している割合が高かった。また、相談支援事業を実施していて、専門職も雇用している、いわゆる地域活動支援センター1型に相当する地域活動支援センターでピアサポーターによる病院への訪問が多く実施されている傾向もみられた。さらに、ピアサポーターによる病院への訪問を行っている事業所ほど、開所日数が長く、精神障害者の利用者数が多く、全利用者に占める精神障害者の割合が多かった。また、ピアサポーターによる病院への訪問を行っている地域活動支援センターほど、常勤職員数が多い傾向がみられた一方で、非常勤職員数と病院訪問実施の有無に有意な関連はみられなかった。

ピアサポーターによる病院への訪問実施の有無による事業所の活動内容の違いを表27に示した。ピアサポーターによる病院への訪問を行っている地域活動支援センターでは入院されている障害のある方への訪問、定期的なサロン活動、会報の発行やホームページの運営、講演会の開催、掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援、電話相談を月1回以上実施している傾向がみられた。一方、下請け作業、自主製品の製造販売を行っている地域活動支援センターでは、ピアサポーターによる病院への訪問を行っていないという傾向がみられた。

1対1でのピアカウンセリング実施の有無による事業所の属性の違いを表28、表29に示した。1対1でのピアカウンセリングが実施されている地域活動支援センターでは自治体の規模が大きく、相談支援事業を行っている割合が高く、保健医療福祉の専門職を雇用している割合が高かった。また、相談支援事業を実施していて、専門職も雇用している、いわゆる地域活動支援



センター1型に相当する地域活動支援センターで1対1でのピアカウンセリングが多く実施されている傾向もみられた。さらに、1対1でのピアカウンセリングを行っている地域活動支援センターほど、開所日数が長く、精神障害者の利用者数が多く、全利用者に占める精神障害者の割合が多かった。

1対1でのピアカウンセリング実施の有無による事業所の活動内容の違いを表30に示した。1対1でのピアカウンセリングを行っている事業所では入院されている障害のある方への訪問、ひきこもりの方への訪問、定期的なサロン活動、イベント(季節の行事、食事会など)の開催、会報の発行やホームページの運営、講演会の開催、掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援、電話相談、メンバーミーティングの開催、来客・訪問者の見学案内を月1回以上実施している傾向がみられた。一方、下請け作業を行っている地域活動支援センターでは、1対1でのピアカウンセリングを行っていないという傾向がみられた。

ピアサポートグループの有無による事業所の属性の違いを表31、表32に示した。ピアサポートグループが作られている地域活動支援センターでは自治体の規模が大きく、相談支援事業を行っている割合が高く、保健医療福祉の専門職を雇用している割合が高かった。また、相談支援事業を実施していて、専門職も雇用している、いわゆる地域活動支援センター1型に相当する地域活動支援センターでピアサポートグループが多く組織されている傾向もみられた。さらに、ピアサポートグループが作られている地域活動支援センターほど、開所日数が長く、精神障害者の利用者数が多く、全利用者に占める精神障害者の割合、常勤職員数が多かった。

ピアサポートグループの有無による事業所の活動内容の違いを表33に示した。ピアサポートグループが作られている地域活動支援センターでは入院されている障害のある方への訪問、ひきこもりの方への訪問、定期的なサロン活動、イベント(季節の行事、食事会など)の開催、会報の発行やホームページの運営、講演会の開催、掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援、電話相談、メンバーミーティングの開催、来客・訪問者の見学案内を月1回以上実施して

いる傾向がみられた。一方、下請け作業、自主製品の製造販売を行っている地域活動支援センターでは、ピアサポートグループが作られていないという傾向がみられた。

#### その他のピアサポート活動

4種類のピアサポート活動以外に行われているピアサポート活動について自由記述で尋ねた。この自由記述を以下にまとめた。

#### 4種類のピアサポート活動に類すると思われるもの

4種類のピアサポート活動に類すると思われる活動が報告された。以下にその例を挙げる。

〈ピアサポーターによる生活支援〉

ピアヘルパーの派遣事業を法人として取り組んでいる。

当事者の家族の要請により「ひきこもり」の当事者を訪問。ピアグループへの「お誘い」(定例会月一回)などを行っている。

当作業所に通っていた人をいま指導員として雇用しています。休みがちの方、入院中の方等に時に出向き、話し合ったりしています。車を運転できますので通院にも同行、対応したり活動をしているのが現状です。もちろん私たち指導員も気を付けております。

ひきこもりの仲間へ手紙を書いたりしています。

精神障害の方-精神障害の方：学習支援(勉強を教えたり、一緒に遊んだり)又、障害のあるなしに関わらず、不登校や引きこもりの方への学習支援や自宅への訪問なども行っています。

以前、ひきこもりの方の自宅へ当事者の方がピアサポーターとして訪問したことがある。

引きこもりの方への通院時のお誘いサービス。

薬物依存症リハビリ施設として当事者が運営を行っています。回復を求める薬物依存症者に24時間ピアサポートを行い、相談業務も行っています。

〈ピアサポーターによる病院への訪問〉

病院への訪問



ピアサポーター事業にて病院訪問

入院中の仲間（精神病院）へ定期的にお見舞いに行ったり

退院促進事業として、通所者が保健所からの依頼を受け、病院へ出向き患者さんと対話を行っている。（年1回程度）

精神障がいのある方同士で、ピアサポーターという形ではなく、友人として入院先へ訪問をしてお話をしたり、「退院するの待っているよ」とメッセージを伝えに行っている。

#### 〈1対1でのピアカウンセリング〉

当事者会が、ピア相談（電話）時間を設けています（毎水曜日13：00～15：00）この時間帯以外にもTel相談を受けたり、相談を受けたり流動的に運営。

精神障害の方-精神障害の方：電話での相談

精神→知的 利用者家族を含めた統合生活相談。

#### 〈ピアサポートグループ〉

精神障害者自助グループがあります。ミーティングや討論・勉強会など月1回程度定例会を開催しています。お互いに相談し合ったり助け合うことを目的にしています。

職員が計画・実施を手伝いながらのグループ活動（精神）を月2回。

ピアサポートグループによる高齢者施設などの訪問。

グループでのピアカウンセリング。精神と知的が同時に話し合っている。

グループセラピー（ミーティング）

SAミーティング。統合失調症の方の自己研究グループ。

SAミーティング。大学の教授を毎回迎えて、定められた決まりに沿って問題ごとをテーマに皆で話し合う。

町内に、当事者の方が主催している1/月のおしゃべりをする会があります。

一人暮らしをしている精神障害のある方同士が、月2回集い、茶話会を行っています。当センターで、集う場を提供しています。

月に2回開催している座談会では、精神障

がいのある方同士で日常生活や健康管理、季節の行事の企画など様々なテーマでの話し合いがもたれています。

精神障害者当事者会の方が隔月で来所、ピアカウンセリングとして茶話会形式で行われています。

月1回、3障害合同のサロンへ参加、その中で当事者同士で相談（あれば）受けておられる方もいます。

精神障がい者の方たち同士の憩いの場での交流。

障害者の居場所作りとして相互のむつみ合いを主として9時～3時まで過ごしている。その中で支援員が社会性を身につけるよう言葉や、やさしさを指導している。主に知的障害者である。

サロン（食堂）の運営。地域住民やセンター利用者がお客として利用し、センター利用者が調理補助や接客を行うことにより、地域との交流や障害のある方同士の相互支援活動を行っています。

座談会を実施している（お茶やコーヒーをのみなながら）。精神がいの方同士である。ただ、活動には職員も参加している。

現在ピアサポーターの設置やピアカウンセリングの実施はしておりませんが、利用者の方にテーマを挙げていただいて、一つのテーマについて、参加者で語り合う、センター独自の茶話会を行っています。メンバーは精神障がいの方が主ですが、中には、知的障害と重複の方もいらっしゃいます。

メンバーには、当事者の友達が欲しいというニーズがあり、憩いの場で、自由に交流している。双方向の対等な関係の中で体調管理やストレスの対処法、就労に関する情報交換などを行っている。

メンバーさん同士の定期的な食事会の開催  
ひとりぐらしの方たちへ食事会支援。

ピア同士の交流会など行っています。

障がいの者のサークルへの積極的参加呼びかけ。調理、ボウリング、知的Bレベル生活支援、サークルの運営ボランティアをスタッフがやっている。

利用者が主体となり（活動内容、企画を利用者が考えている）行っているサークル活動

がある。[韓国語サークル、プラモデルサークル、歌声サークル、バンド]

メンバーによる見学オリエンテーション、ゲーム企画、DVD上映

本人たちの企画による本人たちのみの清掃奉仕、カラオケ、勉強会など。

法人内の事業所の利用者さん同士で月2～3回、ミニバレーを行って交流を深めています。

ピアサポート事業：障がい者の方を対象にパソコンを使用するの自習活動を支援する場を提供している。身体障がい者や健常者の方がボランティアで、精神、知的、身体障がい者の方を指導している。

パソコン教室3クラスのうち1つは障害者が先生となり、もうひとつも助手になります。

当センターの当事者たちで作ったロックバンドが地域の医療機関へポスターを配布して音楽仲間を集ったり、デイケアへ交流演奏を行っている。本年度は保健所中心のフェスティバルで一般客の前で演奏することが決まっている。地域の人に対してWRAPの呼びかけも行っている。

同社協運営の地域活動支援センター（知的・身体）の利用者と一緒にコンサート活動をしている。

当事者を講師としたプログラムの実施（英会話教室、就労体験談など）。精神障害者から精神障害者へのプログラム。

当事者の方同士が集まり、年間計画を立てイベントや学習会などを行っています（主に知的障がいをお持ちの方です）

当事者会が月1回開かれており、当事者会で行くレクリエーション、市内の他障害の当事者グループとの連携について話し合いをしています。

統合失調症、アスペルガーのメンバーを中心に語学の習得のグループを作って、週数回程度講座を開いている。その他に、健常者の指導による剣道グループなどが活動中でそれらのグループ間で実質的なピアカウンセリングがおこなわれている。

テニス、茶話会、呑み会、勉強会、キャンプ、外出レク、等を当時社会が中心となって

行っている。

月2回（火曜日）のパソコン教室は講師に身体障がいの方（車イス）をお願いしており、受講者は、身体と精神障がいの方となっている。

精神障害者同士でソフトバレーやフットサル、ポエムや鉄道等といったテーマのサークルを自主運営しています。

精神障害者当事者の会を設立し、当事者間の交流、レク、研修等を実施している。

精神障害者同士、ソフトバレーサークル活動を行っていて、助言したり、対戦相手を探す（自主活動）。

精神障害者が毎朝行われているラジオ体操、ストレッチ体操に重い知的障害者にきちんと付き添い、声かけをし指導・支援している。

精神障がいの方が精神障がいの方への活動、絵画教室、英会話教室、ヨガ教室、お茶飲み交流会。

精神障がい者バレーボールチームの運営の支援。

スポーツ活動、障害種別、有無問わず。

身体障害の方が身体あるいは精神障害の方々に対して、パソコンソフト（word,excel）を教えたり、年賀状ソフト、画像処理ソフト（J-trim）、CGソフト（photoshop）などを教えている。

障害のある方（精神障害）に講師になっていただいて、キーホルダーづくり等の創作活動を二ヵ月に一回実施。

障害団体での定期交流を行い日常生活訓練を合同で行ったりバリアフリースポーツ教室を共同で運営し地域との交流も計画している。

障害者独自による、イベント参加及び自主活動等。

障害者自立支援法等別対策「相談支援体制整備特別支援事業ピアサポート強化事業」を元にした「パソコン教室」を実施している。

肢体、聴覚、視覚の障害別のグループが常時集まって食事会（料理会）やパッチワーク、布ぞうり作り等を開いています。

サークル活動を行っている。これは主に身障手帳保持者だけで運営され、講師はサーク

ルの中で見つけ、お願いをしており、ここにはセンター職員の内容への介入はなく、職員は場所の管理と送迎バスの運行、調整にかかっている。

サークル活動(ボランティアと身体障がいのある方)

交流。身体障害者の会とセンター利用者&職員とのベタンク大会。年1回。身体の方から招待。

休日の活動(カラオケ、ライブ)等、利用者同志での活動をしている 知的→知的

イベントの参加(福祉まつりや文化祭等でバザーを行う)当事者同士での旅行や食事に外出する時の支援。ミーティング。茶話会。

IT支援

1. ピアノ研修(月2面) 2. 革製品研修(月2面) 3. フラワー(アート)セラピー研修(月毎1面) 4. 農産品援護(年2面) 例:大根堀り、白菜堀り

就労グループミーティング(精神障がい→精神・知的)

毎月第二日曜に当事者主体のアルコールグループミーティング。精神—精神。

#### 4種類のピアサポートの分類に当てはまらないもの

〈体験発表〉

〈現在進行形のピアサポート〉

メンバーミーティングの際や随時、同様な悩みを持った人同士の話し合いの場を設定する。生活上の問題と感じていることを記入するノートを置き、それぞれ工夫している事を記入してもらったり、見てもらったりしている。(まだ、ピアサポートグループにはなっていませんが、いずれなれば良いな、と考えています)

精神障がい同士のピアサポートグループがあるが、4~5人程度での活動を続けている。お互いで体調不良時に支えあったり、悩みを共有したり、ということをやっているが、小集団での活動に慣れてきている面もあり、活動の輪を広げることを避けている。新しく興味を持ってやってきた当事者を拒否したりと「？」な印象。

現状では、登録者相互の関係づくりを強化するため、ミーティングに力を入れている。ピアサポート活動としては、施設外で、(休所日に)食事や外出をするなどの付き合いが増加しており、当センターを通して知り合った方々の交流はある。今後は、施設に來れない方々(顔のつながりがない方)の認識を深めるために、自分たちの暮らしを自覚していく機会をサポートしてゆく予定である。

同じ障がいのある方で年齢の高い方に、若い方への、これまでの経験を通じて会話など、お勧めしています。職員とばかり関わるよりも、当事者の方との交流により、成長なさることもあるので、意図的にそれとなく交流されるよう支援をしています。

〈自然発生的なピアサポート〉

プログラムや職員主体では行っていないが、メンバー同士電話したり、生活支援をしている状況。

フリースペースの提供にて、フロアで自然発生的に行われるピア交流。病識が曖昧だったり、発病間もない精神障がいの方に、再発を繰り返してきた精神障がいの方が自身の体験を元に薬の必要性を伝えたり、障がい受容について語り合ったりと内容は様々。

普通の交流会や日中活動中にお互いに話しながらコミュニケーションをとったり、相談になったりという交流を行なっています。

フォーマルな形での相互支援活動は、特にありませんが、日常の活動の中で利用者さん同士が、相談し合ったり、障がいの"軽い"方が、"重い"方のお世話を自主的にやってくさるということはあります。(回答になっていないかもしれませんが……)

日々の活動を行う中で、あるいは余暇活動の中で、自然な形で相互にピアサポートがなされていると思います。あまり形にこだわると弊害も多いと感じます。

ピアスタッフによる企画(行事)、情報収集(グループミーティング)などを行い、日常生活の交流をしながらの支援をしている。

ピアサポートではありませんが、交流を通じて生活の質の向上を図っています。職員が中心となり。



ピアサポート機能は日々のグループSSTの中で行っています。ご家族サロンの開催の中でご家族のピアサポート機能がうまれています。

サロン活動の中で、知的障がいの方から知的障がいの方へピアサポート的なやり取りは行われている。

日常生活をお互いに助け合っています。職員ボランティアはできるだけ手を出さないのが基本。

地域活動支援センター内で日常的に個別に行っている。

登録はしていないが、日常的にピアサポートは行っている。

当センターでは当事者同士の支え合い、助け合いに重点を置いており、日常なお茶入れや異動から自主サークルの運営や当事者同士での生活相談、情報交換etcの相互支援活動となっております。ただあくまでもフォーマルでなく、日常的にという形になっております。当センター利用の方はほとんどが身体障害者の方であり、身体⇄身体というケースが多くなっています。

統合失調症、アスペルガーのメンバーを中心に語学の習得のグループを作って、週数回程度講座を開いている。その他に、健常者の指導による剣道グループなどが活動中でそれらのグループ間で実質的なピアカウンセリングがおこなわれている。

ピアサポートまでには、至っていないが、同一建物内に児童デイ等、学齢児との交流の機会が多々あり、機会があるごとにピアサポートの機会が多々ある。

センターで支援する活動ではありませんが、気の合う利用者様で食事会など行っているようです。障害種別関係なく行っているようですが、80%が身体障がいですので、身障の方々での交流が多いです。

セルフヘルプグループを当事者が立ち上げ、運営している。月2回の集会を持ち、催しをしたり、講演会など開催。

精神障がいの方同士で普段から医師・受診回数・内容・薬の飲み方・効き方・生活について、話題にし情報交換・意見交換をしている。

利用している中で、利用者同士で情報交換を行っている。

グループミーティングや日常会話、活動の中で、情報交換、余暇活動などを各自が行っています。

はっきりした「活動」として取り決めてはいませんが、サロンのような雰囲気の中での何かしらの相互作用は発生しているのではないかと思います。

活動というのではないが、交流の場で精神障がいの方同士が話をされ、お互い病気のしんどさ、辛さなどを分かち合っておられる。

同じ障がいのある方で年齢の高い方に、若い方への、これまでの経験を通じて会話など、お勧めしています。職員とばかり関わるよりも、当事者の方との交流により、成長なさることもあるので、意図的にそれとなく交流されるよう支援をしています。

訓練中に利用者の方相互に支援しているようです。

インフォーマルな支えあい盛んだと思う

明確に相互支援活動として位置付けているものはありませんが、日々の活動に相互支援的な要素は含まれていると思っています。

また、ピアサポートを行いたい但实际上には行えていないという意見もみられた。

ピアサポートシステムを導入したい気持は大。現実には実施していません。

当方では、力を入れたいと思っているのですが、残念ながらやっておりません。部分的にサポートカウンセリングになっている場面を見受けませんが、担い手が恒常的にサービス提供できない。また、雇用関係を結ばねばならないということもあり、まだまだこれからといった感じです。

1/月、当事者中心の話し合い、スタッフも参加して立場を越えての話し合いの場を設けていますが、ピアサポーターの担い手となる方がおられないのが現状です。

ぴあ活動を月1回行っていたが、参加メンバーが少なくなり、いったん中止し、ぴあサポート研修に参加して方向性を考えていきたいということになっています。

表11 都道府県別の回答数  
(n=1093)

|     | 回答数  |      |
|-----|------|------|
|     | n    | %    |
| 北海道 | 56   | 5.1% |
| 青森  | 12   | 1.1% |
| 岩手  | 34   | 3.1% |
| 宮城  | 37   | 3.4% |
| 秋田  | 10   | 0.9% |
| 山形  | 4    | 0.4% |
| 福島  | 23   | 2.1% |
| 茨城  | 14   | 1.3% |
| 栃木  | 13   | 1.2% |
| 群馬  | 26   | 2.4% |
| 埼玉  | 45   | 4.1% |
| 千葉  | 56   | 5.1% |
| 東京  | 57   | 5.2% |
| 神奈川 | 77   | 7.0% |
| 新潟  | 44   | 4.0% |
| 富山  | 16   | 1.5% |
| 石川  | 13   | 1.2% |
| 福井  | 6    | 0.5% |
| 山梨  | 15   | 1.4% |
| 長野  | 50   | 4.6% |
| 岐阜  | 14   | 1.3% |
| 静岡  | 18   | 1.6% |
| 愛知  | 20   | 1.8% |
| 三重  | 3    | 0.3% |
| 滋賀  | 5    | 0.5% |
| 京都  | 19   | 1.7% |
| 大阪  | 50   | 4.6% |
| 兵庫  | 22   | 2.0% |
| 奈良  | 9    | 0.8% |
| 和歌山 | 5    | 0.5% |
| 鳥取  | 6    | 0.5% |
| 島根  | 17   | 1.6% |
| 岡山  | 40   | 3.7% |
| 広島  | 33   | 3.0% |
| 山口  | 16   | 1.5% |
| 徳島  | 18   | 1.6% |
| 香川  | 13   | 1.2% |
| 愛媛  | 22   | 2.0% |
| 高知  | 10   | 0.9% |
| 福岡  | 31   | 2.8% |
| 佐賀  | 10   | 0.9% |
| 長崎  | 20   | 1.8% |
| 熊本  | 27   | 2.5% |
| 大分  | 13   | 1.2% |
| 宮崎  | 15   | 1.4% |
| 鹿児島 | 13   | 1.2% |
| 沖縄  | 16   | 1.5% |
|     | 1093 |      |

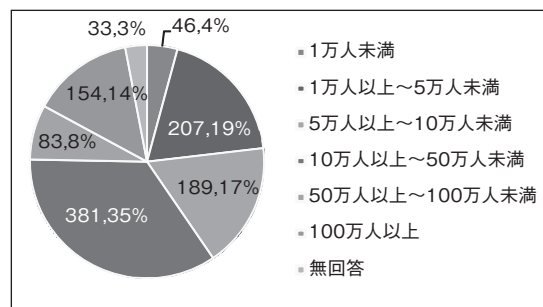


図11 地域活動支援センターのある自治体の規模 (n=1093)

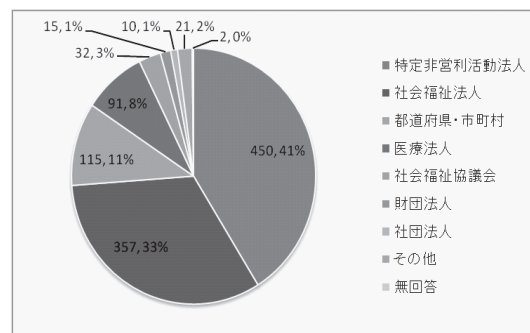


図12 地域活動センターの設置主体 (n=1093)

表12 その他の運営法人

| 名称       | n | %    |
|----------|---|------|
| 有限会社     | 4 | 0.4% |
| 家族会      | 3 | 0.3% |
| 運営委員会    | 2 | 0.2% |
| 社会医療法人   | 2 | 0.2% |
| 任意団体     | 2 | 0.2% |
| 医療生協法人   | 1 | 0.1% |
| 営利法人     | 1 | 0.1% |
| 学校法人     | 1 | 0.1% |
| 株式会社     | 1 | 0.1% |
| 精神障害者家族会 | 1 | 0.1% |
| 手をつなぐ育成会 | 1 | 0.1% |
| 当事者会     | 1 | 0.1% |
| 無認可作業所   | 1 | 0.1% |

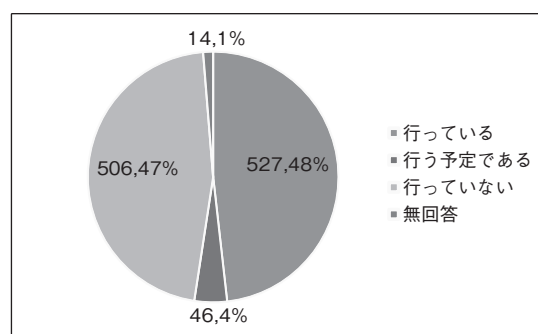


図13 相談支援事業の実施状況 (n=1090)



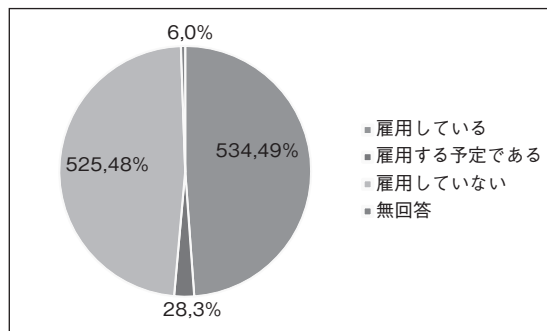


図 14 保健医療福祉の専門職雇用 (n=1090)

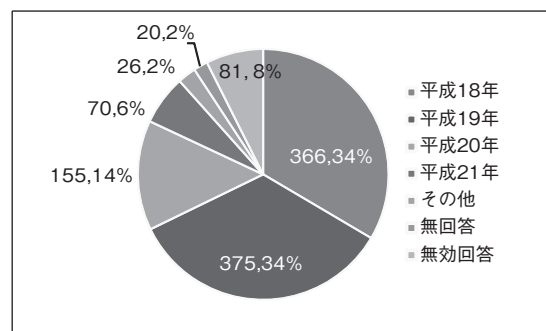


図 15 開所年 (n=1093)

表 13 相談支援事業の実施状況と保健医療福祉の専門職雇用のクロス集計

|       |         | 相談支援事業の実施状況 |         |        |
|-------|---------|-------------|---------|--------|
|       |         | 行っている       | 行う予定である | 行っていない |
| 専門職雇用 | 行っている   | 393         | 12      | 120    |
|       | 行う予定である | 12          | 6       | 27     |
|       | 行っていない  | 123         | 10      | 367    |

表 14 地域活動支援センターの概要

|                  | n    | 平均    | 標準偏差  | 中央値   | 最小値  | 最大値    |
|------------------|------|-------|-------|-------|------|--------|
| 開所日数             | 1075 | 20.4  | 3.8   | 19    | 4    | 30     |
| 1ヶ月の来所者延べ人数      |      |       |       |       |      |        |
| 主たる障害が精神障がいの方    | 924  | 183.0 | 219.1 | 122   | 0    | 1993   |
| 主たる障害が知的障がいの方    | 824  | 52.0  | 94.2  | 10    | 0    | 1212   |
| 主たる障害が身体障がいの方    | 770  | 40.5  | 175.0 | 1     | 0    | 4114   |
| 総利用者数            | 674  | 224.0 | 196.4 | 179   | 0    | 1116   |
| うち、精神障がいの方が占める割合 | 648  | 59.1% | 40.9% | 77.7% | 0.0% | 100.0% |
| 職員数              |      |       |       |       |      |        |
| 常勤職員             | 1074 | 2.81  | 1.78  | 2     | 0    | 15     |
| 非常勤職員            | 900  | 1.56  | 1.37  | 1     | 0    | 11     |

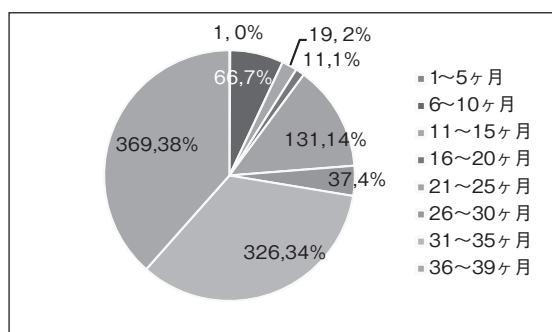


図 16 開所からの月数 (n=960)

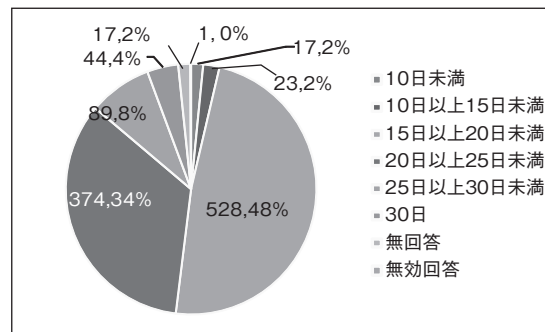


図 17 平成 21 年 9 月の開所日数 (n=1092)

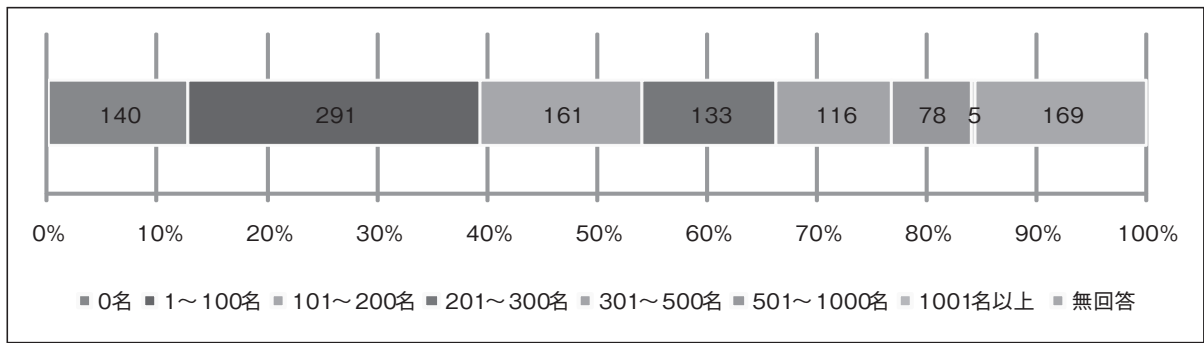


図 18 主たる障害が精神障害の方の利用者数 (n=1093)

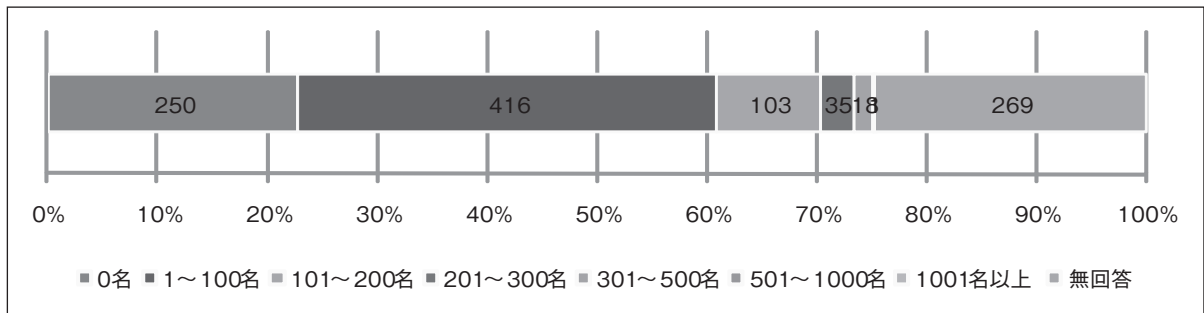


図 19 主たる障害が知的障害の方の利用者数 (n=1093)

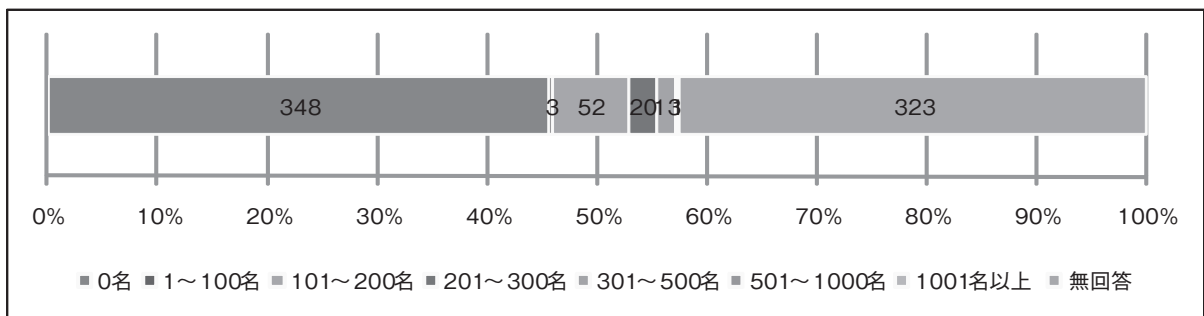


図 20 主たる障害が身体障害の方の利用者数 (n=1093)

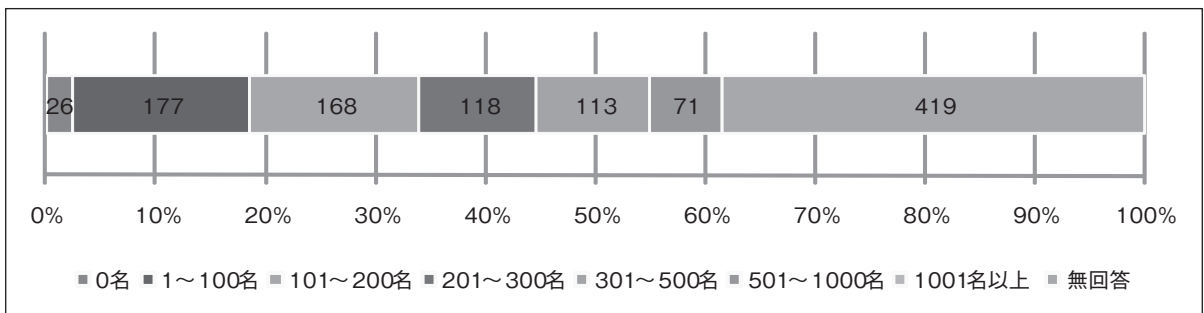


図 21 総利用者数 (n=1093)

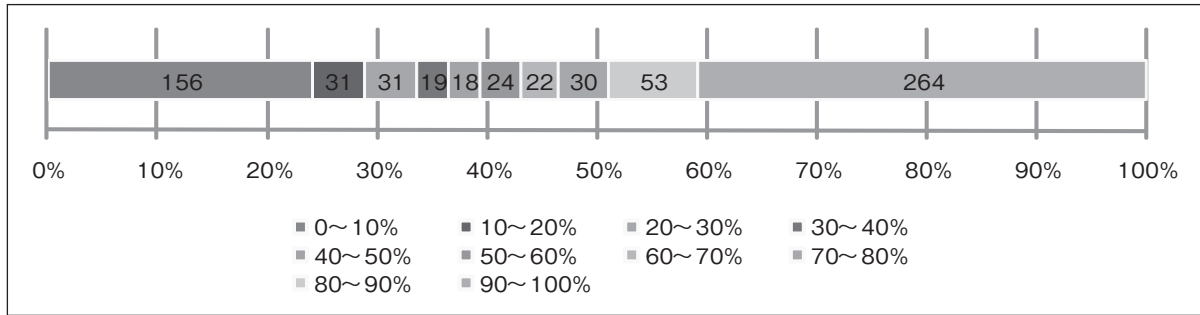


図 22 総利用者数に占める精神障害者の割合 (n=648)

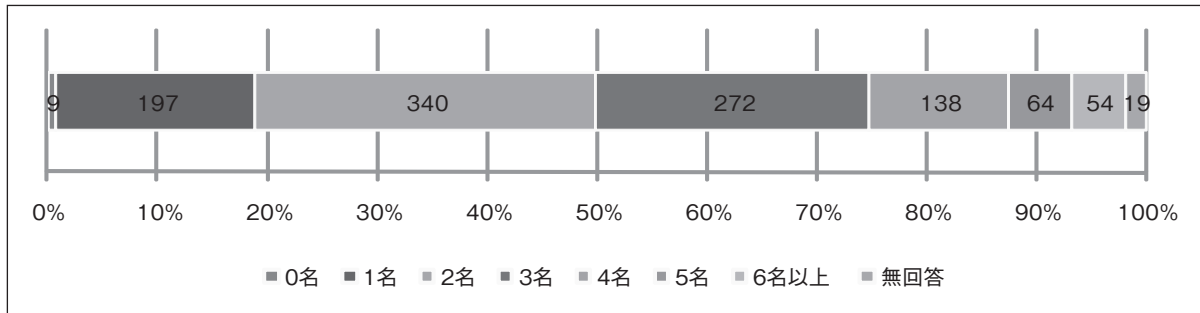


図 23 常勤職員数 (n=1093)

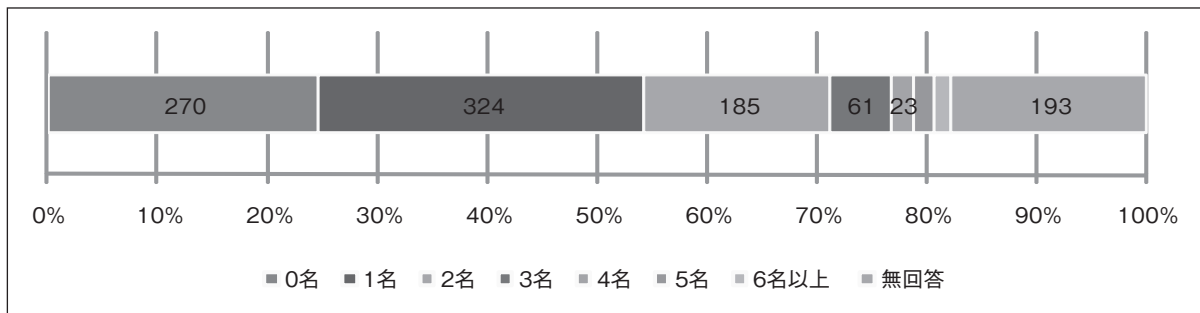


図 24 非常勤職員数 (n=1093)

表 15 精神障害者が担い手、受け手となるピアサポート活動の実施状況

| ピアサポーターによる生活支援 | n   | %     | ピアサポーターによる病院への訪問 | n  | %    |
|----------------|-----|-------|------------------|----|------|
| 精神障がいのある方同士    | 137 | 12.6% | 精神障がいのある方同士      | 97 | 8.9% |
| 精神障がいのある方が担い手  |     |       | 精神障がいのある方が担い手    |    |      |
| 受け手が知的障がいのある方  | 27  | 2.5%  | 受け手が知的障がいのある方    | 4  | 0.4% |
| 受け手が身体障がいのある方  | 11  | 1.0%  | 受け手が身体障がいのある方    | 1  | 0.1% |
| 精神障がいのある方が受け手  |     |       | 精神障がいのある方が受け手    |    |      |
| 担い手が知的障がいのある方  | 14  | 1.3%  | 担い手が知的障がいのある方    | 1  | 0.1% |
| 担い手が身体障がいのある方  | 12  | 1.1%  | 担い手が身体障がいのある方    | 2  | 0.2% |

| 1対1でのピアカウンセリング | n   | %     | ピアサポートグループ    | n   | %     |
|----------------|-----|-------|---------------|-----|-------|
| 精神障がいのある方同士    | 125 | 11.5% | 精神障がいのある方同士   | 165 | 15.1% |
| 精神障がいのある方が担い手  |     |       | 精神障がいのある方が担い手 |     |       |
| 受け手が知的障がいのある方  | 26  | 2.4%  | 受け手が知的障がいのある方 | 23  | 2.1%  |
| 受け手が身体障がいのある方  | 13  | 1.2%  | 受け手が身体障がいのある方 | 10  | 0.9%  |
| 精神障がいのある方が受け手  |     |       | 精神障がいのある方が受け手 |     |       |
| 担い手が知的障がいのある方  | 5   | 0.5%  | 担い手が知的障がいのある方 | 13  | 1.2%  |
| 担い手が身体障がいのある方  | 13  | 1.2%  | 担い手が身体障がいのある方 | 10  | 0.9%  |

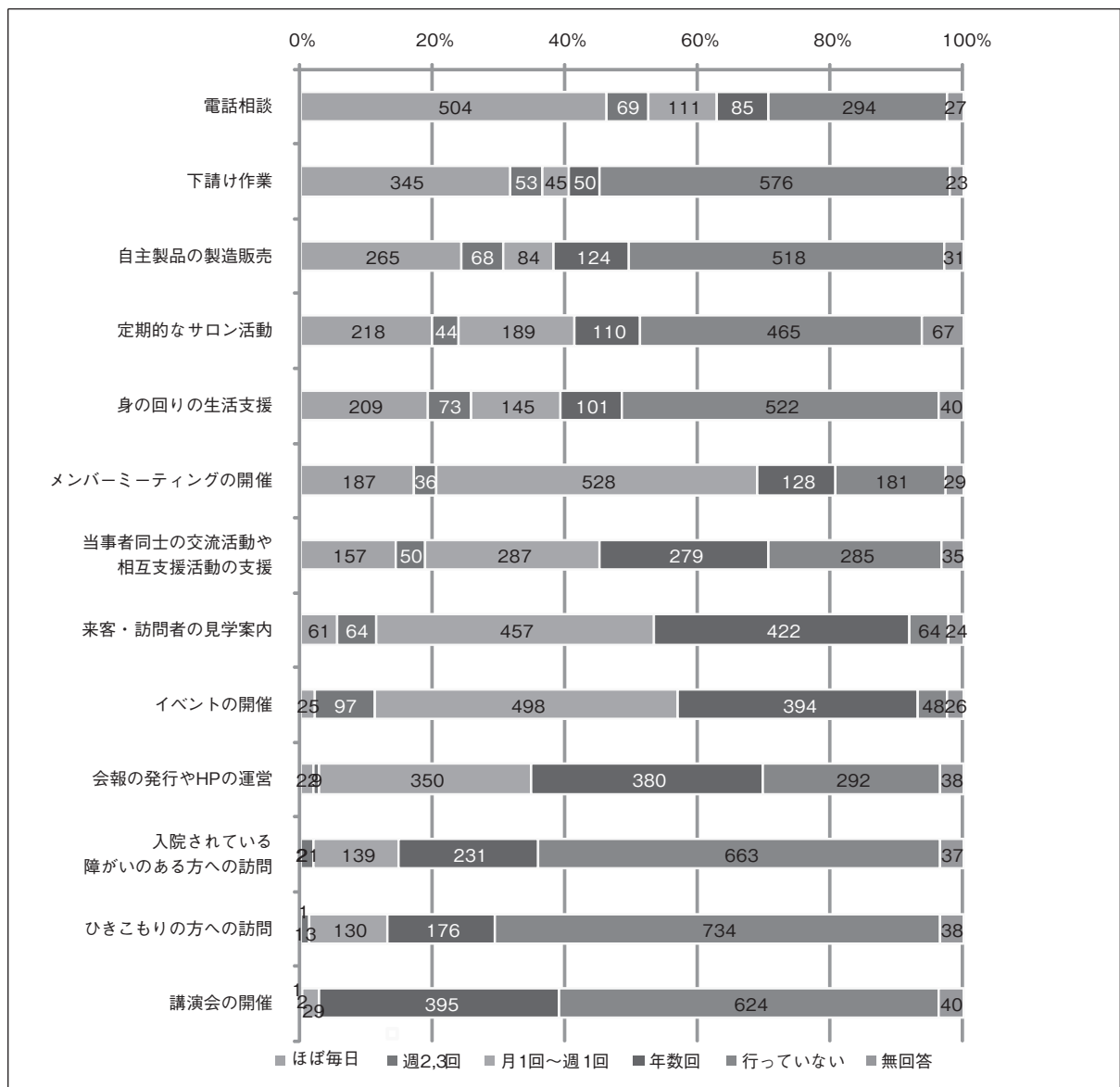


図 25 地域活動支援センターで行っている活動の内容と活動頻度 (n=1093)

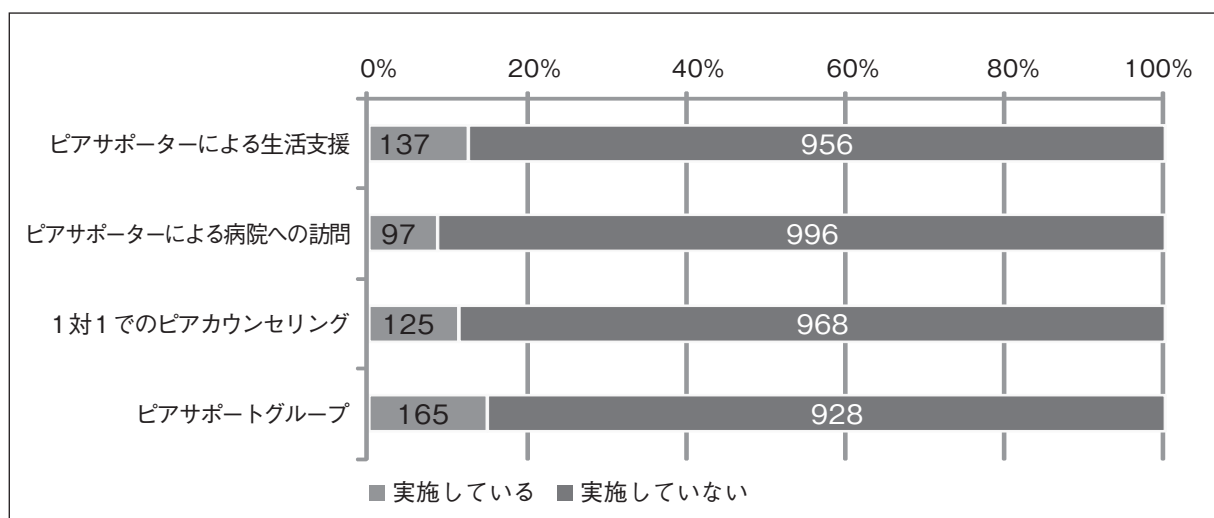


図 26 精神障がいのある方同士のピアサポート活動の実施状況 (n=1093)

表16 ピアサポーターによる生活支援を実施している  
地域活動支援センターの都道府県別分布  
(n=137)

| 都道府県 | 回答数  | 実施数 | %     |
|------|------|-----|-------|
| 北海道  | 56   | 18  | 32.1% |
| 青森   | 12   | 1   | 8.3%  |
| 岩手   | 34   | 1   | 2.9%  |
| 宮城   | 37   | 5   | 13.5% |
| 秋田   | 10   | 2   | 20.0% |
| 山形   | 4    | 2   | 50.0% |
| 福島   | 23   | 4   | 17.4% |
| 茨城   | 14   | 5   | 35.7% |
| 栃木   | 13   | 3   | 23.1% |
| 群馬   | 26   | 1   | 3.8%  |
| 埼玉   | 45   | 5   | 11.1% |
| 千葉   | 56   | 6   | 10.7% |
| 東京   | 57   | 6   | 10.5% |
| 神奈川  | 77   | 5   | 6.5%  |
| 新潟   | 44   | 4   | 9.1%  |
| 富山   | 16   | 3   | 18.8% |
| 石川   | 13   | 0   | 0.0%  |
| 福井   | 6    | 0   | 0.0%  |
| 山梨   | 15   | 1   | 6.7%  |
| 長野   | 50   | 2   | 4.0%  |
| 岐阜   | 14   | 1   | 7.1%  |
| 静岡   | 18   | 3   | 16.7% |
| 愛知   | 20   | 2   | 10.0% |
| 三重   | 3    | 0   | 0.0%  |
| 滋賀   | 5    | 0   | 0.0%  |
| 京都   | 19   | 2   | 10.5% |
| 大阪   | 50   | 9   | 18.0% |
| 兵庫   | 22   | 1   | 4.5%  |
| 奈良   | 9    | 1   | 11.1% |
| 和歌山  | 5    | 1   | 20.0% |
| 鳥取   | 6    | 1   | 16.7% |
| 島根   | 17   | 3   | 17.6% |
| 岡山   | 40   | 5   | 12.5% |
| 広島   | 33   | 5   | 15.2% |
| 山口   | 16   | 1   | 6.3%  |
| 徳島   | 18   | 0   | 0.0%  |
| 香川   | 13   | 3   | 23.1% |
| 愛媛   | 22   | 2   | 9.1%  |
| 高知   | 10   | 0   | 0.0%  |
| 福岡   | 31   | 7   | 22.6% |
| 佐賀   | 10   | 1   | 10.0% |
| 長崎   | 20   | 2   | 10.0% |
| 熊本   | 27   | 5   | 18.5% |
| 大分   | 13   | 4   | 30.8% |
| 宮崎   | 15   | 3   | 20.0% |
| 鹿児島  | 13   | 0   | 0.0%  |
| 沖縄   | 16   | 1   | 6.3%  |
| 合計   | 1093 | 137 | 12.5% |

表17 ピアサポーターによる病院への訪問を実施して  
いる地域活動支援センターの都道府県別分布  
(n=97)

| 都道府県 | 回答数  | 実施数 | %     |
|------|------|-----|-------|
| 北海道  | 56   | 17  | 30.4% |
| 青森   | 12   | 0   | 0.0%  |
| 岩手   | 34   | 1   | 2.9%  |
| 宮城   | 37   | 2   | 5.4%  |
| 秋田   | 10   | 1   | 10.0% |
| 山形   | 4    | 0   | 0.0%  |
| 福島   | 23   | 5   | 21.7% |
| 茨城   | 14   | 0   | 0.0%  |
| 栃木   | 13   | 0   | 0.0%  |
| 群馬   | 26   | 1   | 3.8%  |
| 埼玉   | 45   | 5   | 11.1% |
| 千葉   | 56   | 1   | 1.8%  |
| 東京   | 57   | 7   | 12.3% |
| 神奈川  | 77   | 8   | 10.4% |
| 新潟   | 44   | 1   | 2.3%  |
| 富山   | 16   | 3   | 18.8% |
| 石川   | 13   | 0   | 0.0%  |
| 福井   | 6    | 0   | 0.0%  |
| 山梨   | 15   | 0   | 0.0%  |
| 長野   | 50   | 3   | 6.0%  |
| 岐阜   | 14   | 1   | 7.1%  |
| 静岡   | 18   | 1   | 5.6%  |
| 愛知   | 20   | 1   | 5.0%  |
| 三重   | 3    | 0   | 0.0%  |
| 滋賀   | 5    | 0   | 0.0%  |
| 京都   | 19   | 2   | 10.5% |
| 大阪   | 50   | 11  | 22.0% |
| 兵庫   | 22   | 2   | 9.1%  |
| 奈良   | 9    | 1   | 11.1% |
| 和歌山  | 5    | 0   | 0.0%  |
| 鳥取   | 6    | 0   | 0.0%  |
| 島根   | 17   | 3   | 17.6% |
| 岡山   | 40   | 3   | 7.5%  |
| 広島   | 33   | 4   | 12.1% |
| 山口   | 16   | 0   | 0.0%  |
| 徳島   | 18   | 0   | 0.0%  |
| 香川   | 13   | 0   | 0.0%  |
| 愛媛   | 22   | 2   | 9.1%  |
| 高知   | 10   | 0   | 0.0%  |
| 福岡   | 31   | 4   | 12.9% |
| 佐賀   | 10   | 0   | 0.0%  |
| 長崎   | 20   | 1   | 5.0%  |
| 熊本   | 27   | 1   | 3.7%  |
| 大分   | 13   | 1   | 7.7%  |
| 宮崎   | 15   | 3   | 20.0% |
| 鹿児島  | 13   | 0   | 0.0%  |
| 沖縄   | 16   | 1   | 6.3%  |
| 合計   | 1093 | 97  | 8.9%  |



表18 1対1でのピアカウンセリングを行っている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=125)

| 都道府県 | 回答数  | 実施数 | %     |
|------|------|-----|-------|
| 北海道  | 56   | 16  | 28.6% |
| 青森   | 12   | 0   | 0.0%  |
| 岩手   | 34   | 1   | 2.9%  |
| 宮城   | 37   | 4   | 10.8% |
| 秋田   | 10   | 1   | 10.0% |
| 山形   | 4    | 0   | 0.0%  |
| 福島   | 23   | 5   | 21.7% |
| 茨城   | 14   | 2   | 14.3% |
| 栃木   | 13   | 1   | 7.7%  |
| 群馬   | 26   | 0   | 0.0%  |
| 埼玉   | 45   | 4   | 8.9%  |
| 千葉   | 56   | 5   | 8.9%  |
| 東京   | 57   | 12  | 21.1% |
| 神奈川  | 77   | 9   | 11.7% |
| 新潟   | 44   | 0   | 0.0%  |
| 富山   | 16   | 0   | 0.0%  |
| 石川   | 13   | 0   | 0.0%  |
| 福井   | 6    | 0   | 0.0%  |
| 山梨   | 15   | 1   | 6.7%  |
| 長野   | 50   | 2   | 4.0%  |
| 岐阜   | 14   | 1   | 7.1%  |
| 静岡   | 18   | 3   | 16.7% |
| 愛知   | 20   | 1   | 5.0%  |
| 三重   | 3    | 0   | 0.0%  |
| 滋賀   | 5    | 0   | 0.0%  |
| 京都   | 19   | 2   | 10.5% |
| 大阪   | 50   | 7   | 14.0% |
| 兵庫   | 22   | 3   | 13.6% |
| 奈良   | 9    | 2   | 22.2% |
| 和歌山  | 5    | 1   | 20.0% |
| 鳥取   | 6    | 1   | 16.7% |
| 島根   | 17   | 3   | 17.6% |
| 岡山   | 40   | 5   | 12.5% |
| 広島   | 33   | 2   | 6.1%  |
| 山口   | 16   | 1   | 6.3%  |
| 徳島   | 18   | 1   | 5.6%  |
| 香川   | 13   | 3   | 23.1% |
| 愛媛   | 22   | 2   | 9.1%  |
| 高知   | 10   | 0   | 0.0%  |
| 福岡   | 31   | 9   | 29.0% |
| 佐賀   | 10   | 0   | 0.0%  |
| 長崎   | 20   | 2   | 10.0% |
| 熊本   | 27   | 3   | 11.1% |
| 大分   | 13   | 3   | 23.1% |
| 宮崎   | 15   | 4   | 26.7% |
| 鹿児島  | 13   | 1   | 7.7%  |
| 沖縄   | 16   | 2   | 12.5% |
| 合計   | 1093 | 125 | 11.4% |

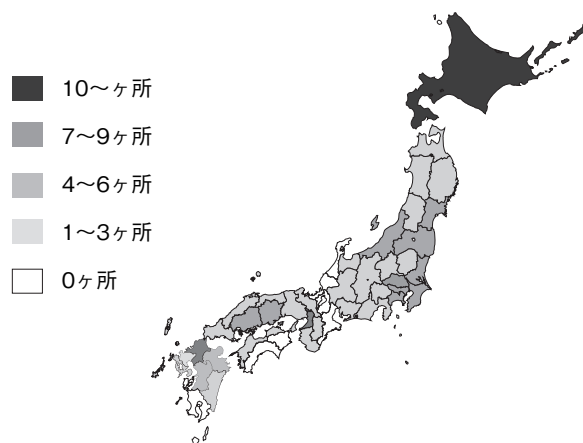


図 27 ピアサポーターによる生活支援を行っている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=137)

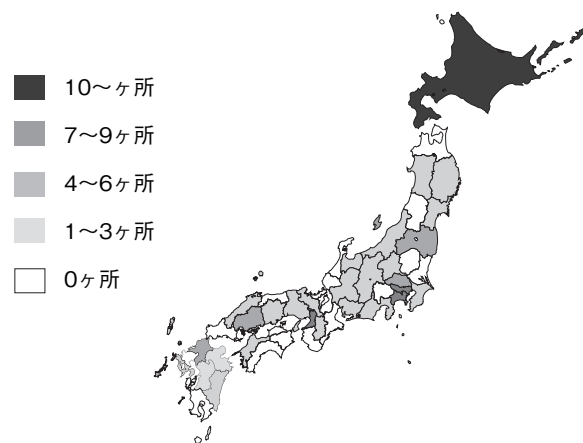


図 28 ピアサポーターによる病院への訪問を行っている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=97)

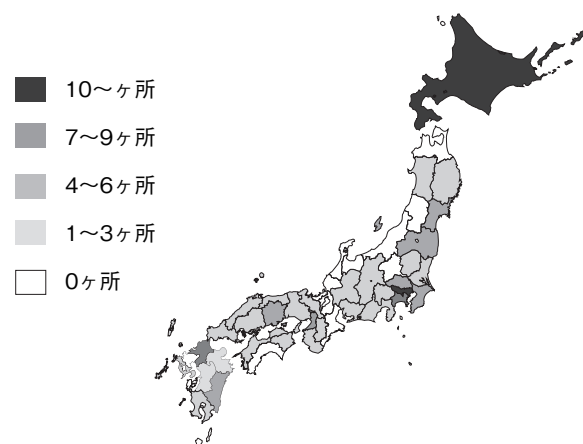


図 29 1対1でのピアカウンセリングを行っている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=125)

表19 ピアサポートグループが作られている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=165)

| 都道府県 | 回答数  | 実施数 | %     |
|------|------|-----|-------|
| 北海道  | 56   | 15  | 26.8% |
| 青森   | 12   | 1   | 8.3%  |
| 岩手   | 34   | 4   | 11.8% |
| 宮城   | 37   | 4   | 10.8% |
| 秋田   | 10   | 3   | 30.0% |
| 山形   | 4    | 2   | 50.0% |
| 福島   | 23   | 4   | 17.4% |
| 茨城   | 14   | 2   | 14.3% |
| 栃木   | 13   | 2   | 15.4% |
| 群馬   | 26   | 1   | 3.8%  |
| 埼玉   | 45   | 7   | 15.6% |
| 千葉   | 56   | 9   | 16.1% |
| 東京   | 57   | 14  | 24.6% |
| 神奈川  | 77   | 11  | 14.3% |
| 新潟   | 44   | 5   | 11.4% |
| 富山   | 16   | 2   | 12.5% |
| 石川   | 13   | 0   | 0.0%  |
| 福井   | 6    | 0   | 0.0%  |
| 山梨   | 15   | 2   | 13.3% |
| 長野   | 50   | 3   | 6.0%  |
| 岐阜   | 14   | 2   | 14.3% |
| 静岡   | 18   | 4   | 22.2% |
| 愛知   | 20   | 2   | 10.0% |
| 三重   | 3    | 0   | 0.0%  |
| 滋賀   | 5    | 1   | 20.0% |
| 京都   | 19   | 3   | 15.8% |
| 大阪   | 50   | 8   | 16.0% |
| 兵庫   | 22   | 5   | 22.7% |
| 奈良   | 9    | 2   | 22.2% |
| 和歌山  | 5    | 1   | 20.0% |
| 鳥取   | 6    | 2   | 33.3% |
| 島根   | 17   | 3   | 17.6% |
| 岡山   | 40   | 4   | 10.0% |
| 広島   | 33   | 7   | 21.2% |
| 山口   | 16   | 1   | 6.3%  |
| 徳島   | 18   | 0   | 0.0%  |
| 香川   | 13   | 3   | 23.1% |
| 愛媛   | 22   | 4   | 18.2% |
| 高知   | 10   | 0   | 0.0%  |
| 福岡   | 31   | 8   | 25.8% |
| 佐賀   | 10   | 0   | 0.0%  |
| 長崎   | 20   | 1   | 5.0%  |
| 熊本   | 27   | 6   | 22.2% |
| 大分   | 13   | 1   | 7.7%  |
| 宮崎   | 15   | 2   | 13.3% |
| 鹿児島  | 13   | 1   | 7.7%  |
| 沖縄   | 16   | 3   | 18.8% |
| 合計   | 1093 | 165 | 15.1% |

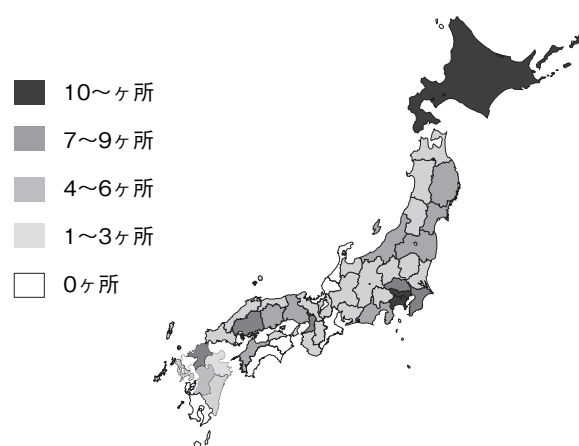


図 30 ピアサポーターグループが作られている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=165)

表20 精神障害者同士のピアサポート活動のクロス集計 (n=1093)

| ピアサポーターによる生活支援 | ピアサポーターによる病院内への訪問 | 1対1でのピアカウンセリング | ピアサポートグループ | n  | %    |
|----------------|-------------------|----------------|------------|----|------|
| ○              | ○                 | ○              | ○          | 39 | 3.6% |
| ○              | ○                 | ○              | ×          | 11 | 1.0% |
| ○              | ○                 | ×              | ○          | 11 | 1.0% |
| ○              | ×                 | ○              | ○          | 14 | 1.3% |
| ×              | ○                 | ○              | ○          | 6  | 0.5% |
| ○              | ○                 | ×              | ×          | 8  | 0.7% |
| ○              | ×                 | ○              | ×          | 16 | 1.5% |
| ○              | ×                 | ×              | ○          | 9  | 0.8% |
| ×              | ○                 | ○              | ×          | 2  | 0.2% |
| ×              | ○                 | ×              | ○          | 10 | 0.9% |
| ×              | ×                 | ○              | ○          | 13 | 1.2% |
| ○              | ×                 | ×              | ×          | 27 | 2.5% |
| ×              | ○                 | ×              | ×          | 10 | 0.9% |
| ×              | ×                 | ○              | ×          | 23 | 2.1% |
| ×              | ×                 | ×              | ○          | 63 | 5.8% |

表21 精神障害者同士のピアサポート活動のクロス集計 (n=1093)

|                  |    | ピアサポーターによる病院への訪問 |      |     |       | 1対1でのピアカウンセリング |      |     |       | ピアサポートグループ |      |     |       |
|------------------|----|------------------|------|-----|-------|----------------|------|-----|-------|------------|------|-----|-------|
|                  |    | あり               |      | なし  |       | あり             |      | なし  |       | あり         |      | なし  |       |
|                  |    | n                | %    | n   | %     | n              | %    | n   | %     | n          | %    | n   | %     |
| ピアサポーターによる生活支援   | あり | 69               | 6.3% | 66  | 6.0%  | 80             | 7.3% | 55  | 5.0%  | 73         | 6.7% | 62  | 5.7%  |
|                  | なし | 28               | 2.6% | 926 | 84.7% | 44             | 4.0% | 910 | 83.3% | 92         | 8.4% | 862 | 78.9% |
| ピアサポーターによる病院への訪問 | あり |                  |      |     |       | 58             | 5.3% | 39  | 3.6%  | 66         | 6.0% | 31  | 2.8%  |
|                  | なし |                  |      |     |       | 66             | 6.0% | 927 | 84.8% | 99         | 9.1% | 893 | 81.7% |
| 1対1でのピアカウンセリング   | あり |                  |      |     |       |                |      |     |       | 72         | 6.6% | 52  | 4.8%  |
|                  | なし |                  |      |     |       |                |      |     |       | 93         | 8.5% | 872 | 79.8% |

表22 ピアサポーターによる生活支援実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

|            |                | 全体  |    | 実施している |     | 生活支援<br>実施していない |   | p 値    |
|------------|----------------|-----|----|--------|-----|-----------------|---|--------|
|            |                | n   | %  | n      | %   | n               | % |        |
| 自治体の規模     | 1万人未満          | 46  | 4  | 8.7%   | 42  | 91.3%           |   | < .05  |
|            | 1万人以上～5万人未満    | 206 | 20 | 9.7%   | 186 | 90.3%           |   |        |
|            | 5万人以上～10万人未満   | 189 | 23 | 12.2%  | 166 | 87.8%           |   |        |
|            | 10万人以上～50万人未満  | 381 | 51 | 13.4%  | 330 | 86.6%           |   |        |
|            | 50万人以上～100万人未満 | 83  | 8  | 9.6%   | 75  | 90.4%           |   |        |
|            | 100万人以上        | 154 | 28 | 18.2%  | 126 | 81.8%           |   |        |
| 相談支援事業     | 行っている          | 526 | 92 | 17.5%  | 434 | 82.5%           |   | < .001 |
|            | 行う予定/行っていない    | 552 | 42 | 7.6%   | 510 | 92.4%           |   |        |
| 専門職の雇用     | 雇用している         | 534 | 94 | 17.6%  | 440 | 82.4%           |   | < .001 |
|            | 雇用予定/雇用していない   | 552 | 43 | 7.8%   | 509 | 92.2%           |   |        |
| 相談支援と専門職雇用 | 1型相当           | 393 | 74 | 18.8%  | 319 | 81.2%           |   | < .001 |
|            | 1型相当以外         | 691 | 61 | 8.8%   | 630 | 91.2%           |   |        |
| 運営法人       | 社会福祉法人         | 357 | 48 | 13.4%  | 309 | 86.6%           |   |        |
|            | 医療法人           | 91  | 12 | 13.2%  | 79  | 86.8%           |   |        |
|            | 特定非営利活動法人      | 449 | 62 | 13.8%  | 387 | 86.2%           |   |        |
|            | 社団法人           | 10  | 1  | 10.0%  | 9   | 90.0%           |   |        |
|            | 財団法人           | 15  | 6  | 40.0%  | 9   | 60.0%           |   |        |
|            | 社会福祉協議会        | 32  | 0  | 0.0%   | 32  | 100.0%          |   |        |
|            | 都道府県・市町村       | 115 | 6  | 5.2%   | 109 | 94.8%           |   |        |

表23 ピアサポーターによる生活支援実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

|                 | 生活支援の有無 | n   | 平均    | 標準偏差  | 中央値   | 最小値   | 最大値  | p 値   |       |
|-----------------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
|                 |         |     |       |       |       |       |      | U     | t     |
| 開設後の期間          | あり      | 112 | 32.1  | 9.7   | 37    | 7     | 39   | <.05  | -     |
|                 | なし      | 848 | 31.1  | 8.9   | 33    | 3     | 39   |       |       |
| 開所日数            | あり      | 134 | 21.5  | 4.0   | 21    | 8     | 30   | <.001 | <.01  |
|                 | なし      | 940 | 20.2  | 3.8   | 19    | 4     | 30   |       |       |
| 主たる障害が精神障害の利用者数 | あり      | 131 | 286.8 | 286.7 | 250   | 1     | 1993 | <.001 | <.001 |
|                 | なし      | 792 | 166.0 | 201.0 | 95.5  | 0     | 1136 |       |       |
| 全利用者に占める精神障害者数  | あり      | 79  | 86.6% | 19.1% | 92.7% | 11.0% | 100% | <.001 | <.001 |
|                 | なし      | 569 | 55.3% | 41.7% | 67.7% | 0.0%  | 100% |       |       |
| 常勤職員数           | あり      | 137 | 3.0   | 1.7   | 3     | 0     | 13   | -     | -     |
|                 | なし      | 936 | 2.8   | 1.8   | 2     | 0     | 17   |       |       |
| 非常勤職員数          | あり      | 113 | 1.7   | 1.4   | 1.2   | 0     | 9    | -     | -     |
|                 | なし      | 787 | 1.5   | 1.8   | 1     | 0     | 32   |       |       |

表24 ピアサポーターによる生活支援実施の有無による地域活動支援センターの活動内容の違い

|                          | 実施の有無 | 全体   | 実施している |       | 生活支援<br>実施していない |       | p 値   |
|--------------------------|-------|------|--------|-------|-----------------|-------|-------|
|                          |       |      | n      | %     | n               | %     |       |
| 【訪問】入院されている障がいのある方への訪問   | 月1回以上 | 162  | 50     | 30.9% | 112             | 69.1% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 893  | 84     | 9.4%  | 809             | 90.6% |       |
| 【訪問】ひきこもりの方への訪問          | 月1回以上 | 144  | 31     | 21.5% | 113             | 78.5% | <.01  |
|                          | 月1回未満 | 909  | 100    | 11.0% | 809             | 89.0% |       |
| 【交流】定期的なサロン活動            | 月1回以上 | 451  | 91     | 20.2% | 360             | 79.8% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 574  | 39     | 6.8%  | 535             | 93.2% |       |
| 【交流】イベント(季節の行事、食事会など)の開催 | 月1回以上 | 619  | 101    | 16.3% | 518             | 83.7% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 442  | 33     | 7.5%  | 409             | 92.5% |       |
| 【発信】会報の発行やホームページの運営      | 月1回以上 | 381  | 63     | 16.5% | 318             | 83.5% | <.01  |
|                          | 月1回未満 | 671  | 70     | 10.4% | 601             | 89.6% |       |
| 【発信】講演会の開催               | 月1回以上 | 32   | 11     | 34.4% | 21              | 65.6% | <.01  |
|                          | 月1回未満 | 1018 | 119    | 11.7% | 899             | 88.3% |       |
| 【生活】掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援 | 月1回以上 | 426  | 78     | 18.3% | 348             | 81.7% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 623  | 53     | 8.5%  | 570             | 91.5% |       |
| 【生活】電話相談                 | 月1回以上 | 683  | 124    | 18.2% | 559             | 81.8% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 379  | 12     | 3.2%  | 367             | 96.8% |       |
| 【作業】下請け作業(箱折、洗浄など)       | 月1回以上 | 442  | 49     | 11.1% | 393             | 88.9% | -     |
|                          | 月1回未満 | 626  | 85     | 13.6% | 541             | 86.4% |       |
| 【作業】自主製品の製造販売            | 月1回以上 | 416  | 50     | 12.0% | 366             | 88.0% | -     |
|                          | 月1回未満 | 642  | 85     | 13.2% | 557             | 86.8% |       |
| 【運営】メンバーミーティングの開催        | 月1回以上 | 750  | 112    | 14.9% | 638             | 85.1% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 309  | 21     | 6.8%  | 288             | 93.2% |       |
| 【運営】来客・訪問者の見学案内          | 月1回以上 | 581  | 96     | 16.5% | 485             | 83.5% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 486  | 37     | 7.6%  | 449             | 92.4% |       |

表25 ピアサポーターによる病院への訪問実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

|            |                |     | 実施している |       | 病院訪問<br>実施していない |       | p 値   |
|------------|----------------|-----|--------|-------|-----------------|-------|-------|
|            |                |     | n      | %     | n               | %     |       |
| 自治体の規模     | 1万人未満          | 46  | 2      | 4.3%  | 44              | 95.7% | <.001 |
|            | 1万人以上～5万人未満    | 207 | 16     | 7.8%  | 191             | 92.3% |       |
|            | 5万人以上～10万人未満   | 189 | 9      | 4.8%  | 180             | 95.2% |       |
|            | 10万人以上～50万人未満  | 381 | 36     | 9.4%  | 345             | 90.6% |       |
|            | 50万人以上～100万人未満 | 83  | 9      | 10.8% | 74              | 89.2% |       |
|            | 100万人以上        | 154 | 22     | 14.3% | 132             | 85.7% |       |
| 相談支援事業     | 行っている          | 527 | 63     | 12.0% | 464             | 88.0% | <.001 |
|            | 行う予定/行っていない    | 552 | 31     | 5.6%  | 521             | 94.4% |       |
| 専門職の雇用     | 雇用している         | 534 | 70     | 13.1% | 464             | 86.9% | <.001 |
|            | 雇用予定/雇用していない   | 553 | 27     | 4.9%  | 526             | 95.1% |       |
| 相談支援と専門職雇用 | 1型相当           | 393 | 58     | 14.8% | 335             | 85.2% | <.001 |
|            | 1型相当以外         | 692 | 37     | 5.4%  | 655             | 94.7% |       |
| 運営法人       | 社会福祉法人         | 357 | 35     | 9.8%  | 322             | 90.2% | <.001 |
|            | 医療法人           | 91  | 9      | 9.9%  | 82              | 90.1% |       |
|            | 特定非営利活動法人      | 450 | 43     | 9.6%  | 407             | 90.4% |       |
|            | 社団法人           | 10  | 1      | 10.0% | 9               | 90.0% |       |
|            | 財団法人           | 15  | 2      | 13.3% | 13              | 86.7% |       |
|            | 社会福祉協議会        | 32  | 1      | 3.1%  | 31              | 96.9% |       |
|            | 都道府県・市町村       | 115 | 5      | 4.3%  | 110             | 95.7% |       |

表26 ピアサポーターによる病院への訪問実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

|                 | 病院訪問<br>の有無 | n   | 平均    | 標準偏差  | 中央値   | 最小値   | 最大値  | p 値   |       |
|-----------------|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
|                 |             |     |       |       |       |       |      | U     | t     |
| 開設後の期間          | あり          | 80  | 32.2  | 10.3  | 39    | 9     | 39   | <.01  | -     |
|                 | なし          | 880 | 31.2  | 8.9   | 33    | 3     | 39   |       |       |
| 開所日数            | あり          | 95  | 21.8  | 3.6   | 21    | 13    | 30   | <.001 | <.001 |
|                 | なし          | 980 | 20.3  | 3.8   | 19    | 4     | 30   |       |       |
| 主たる障害が精神障害の利用者数 | あり          | 90  | 286.2 | 216.5 | 255   | 2     | 1107 | <.001 | <.001 |
|                 | なし          | 834 | 171.9 | 216.6 | 105   | 0     | 1993 |       |       |
| 全利用者に占める精神障害者数  | あり          | 52  | 91.3% | 14.3% | 99.2% | 31.0% | 100% | <.001 | <.001 |
|                 | なし          | 596 | 56.3% | 41.3% | 70.2% | 0.0%  | 100% |       |       |
| 常勤職員数           | あり          | 97  | 3.1   | 1.7   | 3     | 1     | 13   | <.05  | -     |
|                 | なし          | 977 | 2.8   | 1.8   | 2     | 0     | 17   |       |       |
| 非常勤職員数          | あり          | 83  | 1.5   | 1.2   | 1.2   | 0     | 7    | -     | -     |
|                 | なし          | 817 | 1.6   | 1.8   | 1     | 0     | 32   |       |       |

表27 ピアサポーターによる病院への訪問実施の有無による地域活動支援センターの活動内容の違い

|                          | 実施の有無 | 全体   | 実施している |       | 病院訪問<br>実施していない |       | p 値   |
|--------------------------|-------|------|--------|-------|-----------------|-------|-------|
|                          |       |      | n      | %     | n               | %     |       |
| 【訪問】入院されている障がいのある方への訪問   | 月1回以上 | 162  | 49     | 30.2% | 113             | 69.8% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 894  | 47     | 5.3%  | 847             | 94.7% |       |
| 【訪問】ひきこもりの方への訪問          | 月1回以上 | 144  | 17     | 11.8% | 127             | 88.2% | -     |
|                          | 月1回未満 | 910  | 77     | 8.5%  | 833             | 91.5% |       |
| 【交流】定期的なサロン活動            | 月1回以上 | 451  | 62     | 13.7% | 389             | 86.3% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 575  | 31     | 5.4%  | 544             | 94.6% |       |
| 【交流】イベント(季節の行事、食事会など)の開催 | 月1回以上 | 620  | 61     | 9.8%  | 559             | 90.2% | -     |
|                          | 月1回未満 | 442  | 34     | 7.7%  | 408             | 92.3% |       |
| 【発信】会報の発行やホームページの運営      | 月1回以上 | 381  | 50     | 13.1% | 331             | 86.9% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 672  | 44     | 6.5%  | 628             | 93.5% |       |
| 【発信】講演会の開催               | 月1回以上 | 32   | 7      | 21.9% | 25              | 78.1% | <.05  |
|                          | 月1回未満 | 1019 | 88     | 8.6%  | 931             | 91.4% |       |
| 【生活】掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援 | 月1回以上 | 427  | 47     | 11.0% | 380             | 89.0% | <.05  |
|                          | 月1回未満 | 623  | 45     | 7.2%  | 578             | 92.8% |       |
| 【生活】電話相談                 | 月1回以上 | 684  | 89     | 13.0% | 595             | 87.0% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 379  | 6      | 1.6%  | 373             | 98.4% |       |
| 【作業】下請け作業(箱折、洗浄など)       | 月1回以上 | 443  | 24     | 5.4%  | 419             | 94.6% | <.01  |
|                          | 月1回未満 | 626  | 70     | 11.2% | 556             | 88.8% |       |
| 【作業】自主製品の製造販売            | 月1回以上 | 417  | 27     | 6.5%  | 390             | 93.5% | <.05  |
|                          | 月1回未満 | 642  | 69     | 10.7% | 573             | 89.3% |       |
| 【運営】メンバーミーティングの開催        | 月1回以上 | 751  | 75     | 10.0% | 676             | 90.0% | -     |
|                          | 月1回未満 | 309  | 19     | 6.1%  | 290             | 93.9% |       |
| 【運営】来客・訪問者の見学案内          | 月1回以上 | 582  | 65     | 11.2% | 517             | 88.8% | <.05  |
|                          | 月1回未満 | 486  | 30     | 6.2%  | 456             | 93.8% |       |



表28 1対1でのピアカウンセリング実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

|            |                |     | ピアカウンセリング |       |         |        | p 値    |
|------------|----------------|-----|-----------|-------|---------|--------|--------|
|            |                |     | 実施している    |       | 実施していない |        |        |
|            |                |     | n         | %     | n       | %      |        |
| 自治体の規模     | 1万人未満          | 46  | 3         | 6.5%  | 43      | 93.5%  | < .001 |
|            | 1万人以上～5万人未満    | 207 | 14        | 6.8%  | 193     | 93.2%  |        |
|            | 5万人以上～10万人未満   | 189 | 19        | 10.1% | 170     | 89.9%  |        |
|            | 10万人以上～50万人未満  | 381 | 53        | 13.9% | 328     | 86.1%  |        |
|            | 50万人以上～100万人未満 | 83  | 8         | 9.6%  | 75      | 90.4%  |        |
|            | 100万人以上        | 154 | 25        | 16.2% | 129     | 83.8%  |        |
| 相談支援事業     | 行っている          | 527 | 84        | 16.0% | 443     | 84.1%  | < .001 |
|            | 行う予定/行っていない    | 552 | 39        | 7.1%  | 513     | 92.9%  |        |
| 専門職の雇用     | 雇用している         | 534 | 83        | 15.5% | 451     | 84.5%  | < .001 |
|            | 雇用予定/雇用していない   | 553 | 42        | 7.6%  | 511     | 92.4%  |        |
| 相談支援と専門職雇用 | 1型相当           | 393 | 66        | 16.8% | 327     | 83.2%  | < .001 |
|            | 1型相当以外         | 692 | 57        | 8.2%  | 635     | 91.8%  |        |
| 運営法人       | 社会福祉法人         | 357 | 38        | 10.6% | 319     | 89.4%  | < .001 |
|            | 医療法人           | 91  | 10        | 11.0% | 81      | 89.0%  |        |
|            | 特定非営利活動法人      | 450 | 67        | 14.9% | 383     | 85.1%  |        |
|            | 社団法人           | 10  | 1         | 10.0% | 9       | 90.0%  |        |
|            | 財団法人           | 15  | 4         | 26.7% | 11      | 73.3%  |        |
|            | 社会福祉協議会        | 32  | 0         | 0.0%  | 32      | 100.0% |        |
|            | 都道府県・市町村       | 115 | 5         | 4.3%  | 110     | 95.7%  |        |

表29 1対1でのピアカウンセリング実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

| ピアカウンセリングの有無    |    | n   | 平均    | 標準偏差  | 中央値   | 最小値  | 最大値  | p 値   |       |
|-----------------|----|-----|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|
|                 |    |     |       |       |       |      |      | U     | t     |
| 開設後の期間          | あり | 103 | 32.6  | 8.9   | 39    | 7    | 39   | <.05  | -     |
|                 | なし | 857 | 31.1  | 9.0   | 33    | 3    | 39   |       |       |
| 開所日数            | あり | 124 | 21.5  | 3.7   | 21    | 13   | 30   | <.001 | <.01  |
|                 | なし | 951 | 20.3  | 3.8   | 19    | 4    | 30   |       |       |
| 主たる障害が精神障害の利用者数 | あり | 119 | 262.6 | 221.0 | 240   | 1    | 1136 | <.001 | <.001 |
|                 | なし | 805 | 171.2 | 216.5 | 104   | 0    | 1993 |       |       |
| 全利用者に占める精神障害者数  | あり | 66  | 87.0% | 19.8% | 93.8% | 4.0% | 100% | <.001 | <.001 |
|                 | なし | 582 | 56.0% | 41.5% | 68.8% | 0.0% | 100% |       |       |
| 常勤職員数           | あり | 125 | 2.9   | 1.7   | 3     | 1    | 16   | -     | -     |
|                 | なし | 949 | 2.8   | 1.8   | 2     | 0    | 17   |       |       |
| 非常勤職員数          | あり | 100 | 1.8   | 1.4   | 1.2   | 0    | 9    | <.05  | -     |
|                 | なし | 800 | 1.5   | 1.8   | 1     | 0    | 32   |       |       |

表30 1対1でのピアカウンセリング実施の有無による地域活動支援センターの活動内容の違い

|                          | 実施の有無   | 全体   | ピアカウンセリング |       |         |       | p 値   |
|--------------------------|---------|------|-----------|-------|---------|-------|-------|
|                          |         |      | 実施している    |       | 実施していない |       |       |
|                          |         |      | n         | %     | n       | %     |       |
| 【訪問】入院されている障がいのある方への訪問   | 月 1 回以上 | 162  | 44        | 27.2% | 118     | 72.8% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 894  | 79        | 8.8%  | 815     | 91.2% |       |
| 【訪問】ひきこもりの方への訪問          | 月 1 回以上 | 144  | 31        | 21.5% | 113     | 78.5% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 910  | 91        | 10.0% | 819     | 90.0% |       |
| 【交流】定期的なサロン活動            | 月 1 回以上 | 451  | 86        | 19.1% | 365     | 80.9% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 575  | 31        | 5.4%  | 544     | 94.6% |       |
| 【交流】イベント(季節の行事、食事会など)の開催 | 月 1 回以上 | 620  | 90        | 14.5% | 530     | 85.5% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 442  | 32        | 7.2%  | 410     | 92.8% |       |
| 【発信】会報の発行やホームページの運営      | 月 1 回以上 | 381  | 64        | 16.8% | 317     | 83.2% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 672  | 59        | 8.8%  | 613     | 91.2% |       |
| 【発信】講演会の開催               | 月 1 回以上 | 32   | 9         | 28.1% | 23      | 71.9% | <.01  |
|                          | 月 1 回未満 | 1019 | 113       | 11.1% | 906     | 88.9% |       |
| 【生活】掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援 | 月 1 回以上 | 427  | 61        | 14.3% | 366     | 85.7% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 623  | 59        | 9.5%  | 564     | 90.5% |       |
| 【生活】電話相談                 | 月 1 回以上 | 684  | 115       | 16.8% | 569     | 83.2% | <.05  |
|                          | 月 1 回未満 | 379  | 9         | 2.4%  | 370     | 97.6% |       |
| 【作業】下請け作業(箱折、洗浄など)       | 月 1 回以上 | 443  | 38        | 8.6%  | 405     | 91.4% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 626  | 85        | 13.6% | 541     | 86.4% |       |
| 【作業】自主製品の製造販売            | 月 1 回以上 | 417  | 42        | 10.1% | 375     | 89.9% | -     |
|                          | 月 1 回未満 | 642  | 81        | 12.6% | 561     | 87.4% |       |
| 【運営】メンバーミーティングの開催        | 月 1 回以上 | 751  | 112       | 14.9% | 639     | 85.1% | <.001 |
|                          | 月 1 回未満 | 309  | 11        | 3.6%  | 298     | 96.4% |       |
| 【運営】来客・訪問者の見学案内          | 月 1 回以上 | 582  | 90        | 15.5% | 492     | 84.5% | <.01  |
|                          | 月 1 回未満 | 486  | 34        | 7.0%  | 452     | 93.0% |       |

表31 ピアサポートグループ実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

|            |                |     | ピアサポートグループ |       |         |       | p 値    |
|------------|----------------|-----|------------|-------|---------|-------|--------|
|            |                |     | 実施している     |       | 実施していない |       |        |
|            |                |     | n          | %     | n       | %     |        |
| 自治体の規模     | 1万人未満          | 46  | 2          | 4.3%  | 44      | 95.7% | < .001 |
|            | 1万人以上～5万人未満    | 206 | 24         | 11.7% | 182     | 88.3% |        |
|            | 5万人以上～10万人未満   | 189 | 19         | 10.1% | 170     | 89.9% |        |
|            | 10万人以上～50万人未満  | 381 | 69         | 18.1% | 312     | 81.9% |        |
|            | 50万人以上～100万人未満 | 83  | 18         | 21.7% | 65      | 78.3% |        |
|            | 100万人以上        | 154 | 31         | 20.1% | 123     | 79.9% |        |
| 相談支援事業     | 行っている          | 526 | 126        | 24.0% | 400     | 76.0% | < .001 |
|            | 行う予定/行っていない    | 552 | 39         | 7.1%  | 513     | 92.9% |        |
| 専門職の雇用     | 雇用している         | 534 | 132        | 24.7% | 402     | 75.3% | < .001 |
|            | 雇用予定/雇用していない   | 552 | 33         | 6.0%  | 519     | 94.0% |        |
| 相談支援と専門職雇用 | 1型相当           | 393 | 112        | 28.5% | 281     | 71.5% | < .001 |
|            | 1型相当以外         | 691 | 53         | 7.7%  | 638     | 92.3% |        |
| 運営法人       | 社会福祉法人         | 357 | 65         | 18.2% | 292     | 81.8% | < .001 |
|            | 医療法人           | 91  | 24         | 26.4% | 67      | 73.6% |        |
|            | 特定非営利活動法人      | 449 | 56         | 12.5% | 393     | 87.5% |        |
|            | 社団法人           | 10  | 4          | 40.0% | 6       | 60.0% |        |
|            | 財団法人           | 15  | 2          | 13.3% | 13      | 86.7% |        |
|            | 社会福祉協議会        | 32  | 1          | 3.1%  | 31      | 96.9% |        |
|            | 都道府県・市町村       | 115 | 8          | 7.0%  | 107     | 93.0% |        |

表32 ピアサポートグループ実施の有無による地域活動支援センターの属性の違い

|                 | ピアサポートグループの有無 | n   | 平均    | 標準偏差  | 中央値   | 最小値   | 最大値  | p 値   |       |
|-----------------|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
|                 |               |     |       |       |       |       |      | U     | t     |
| 開設後の期間          | あり            | 136 | 32.5  | 10.0  | 39    | 7     | 39   | <.001 | -     |
|                 | なし            | 824 | 31.1  | 8.8   | 33    | 3     | 39   |       |       |
| 開所日数            | あり            | 162 | 22.1  | 3.7   | 21    | 11    | 30   | <.001 | <.001 |
|                 | なし            | 912 | 20.1  | 3.8   | 19    | 4     | 30   |       |       |
| 主たる障害が精神障害の利用者数 | あり            | 157 | 311.3 | 220.4 | 282   | 0     | 1136 | <.001 | <.001 |
|                 | なし            | 766 | 156.8 | 209.6 | 86.5  | 0     | 1993 |       |       |
| 全利用者に占める精神障害者数  | あり            | 97  | 91.6% | 15.8% | 98.6% | 10.0% | 100% | <.001 | <.001 |
|                 | なし            | 551 | 53.4% | 41.4% | 60.2% | 0.0%  | 100% |       |       |
| 常勤職員数           | あり            | 165 | 3.2   | 1.9   | 3     | 0     | 16   | <.001 | <.01  |
|                 | なし            | 908 | 2.7   | 1.7   | 2     | 0     | 17   |       |       |
| 非常勤職員数          | あり            | 140 | 1.4   | 1.2   | 1     | 0     | 7    | -     | -     |
|                 | なし            | 760 | 1.6   | 1.8   | 1     | 0     | 32   |       |       |

表33 ピアサポートグループ実施の有無による地域活動支援センターの活動内容の違い

|                          | 実施の有無 | 全体   | ピアサポートグループ |       |         |       | p 値   |
|--------------------------|-------|------|------------|-------|---------|-------|-------|
|                          |       |      | 実施している     |       | 実施していない |       |       |
|                          |       |      | n          | %     | n       | %     |       |
| 【訪問】入院されている障がいのある方への訪問   | 月1回以上 | 162  | 63         | 38.9% | 99      | 61.1% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 893  | 100        | 11.2% | 793     | 88.8% |       |
| 【訪問】ひきこもりの方への訪問          | 月1回以上 | 144  | 42         | 29.2% | 102     | 70.8% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 909  | 118        | 13.0% | 791     | 87.0% |       |
| 【交流】定期的なサロン活動            | 月1回以上 | 451  | 115        | 25.5% | 336     | 74.5% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 574  | 45         | 7.8%  | 529     | 92.2% |       |
| 【交流】イベント(季節の行事、食事会など)の開催 | 月1回以上 | 619  | 121        | 19.5% | 498     | 80.5% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 442  | 41         | 9.3%  | 401     | 90.7% |       |
| 【発信】会報の発行やホームページの運営      | 月1回以上 | 381  | 91         | 23.9% | 290     | 76.1% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 671  | 73         | 10.9% | 598     | 89.1% |       |
| 【発信】講演会の開催               | 月1回以上 | 32   | 13         | 40.6% | 19      | 59.4% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 1018 | 149        | 14.6% | 869     | 85.4% |       |
| 【生活】掃除・洗濯・食事などの身の回りの生活支援 | 月1回以上 | 426  | 84         | 19.7% | 342     | 80.3% | <.01  |
|                          | 月1回未満 | 623  | 74         | 11.9% | 549     | 88.1% |       |
| 【生活】電話相談                 | 月1回以上 | 683  | 152        | 22.3% | 531     | 77.7% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 379  | 10         | 2.6%  | 369     | 97.4% |       |
| 【作業】下請け作業(箱折、洗浄など)       | 月1回以上 | 442  | 40         | 9.0%  | 402     | 91.0% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 626  | 123        | 19.6% | 503     | 80.4% |       |
| 【作業】自主製品の製造販売            | 月1回以上 | 416  | 44         | 10.6% | 372     | 89.4% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 642  | 119        | 18.5% | 523     | 81.5% |       |
| 【運営】メンバーミーティングの開催        | 月1回以上 | 750  | 141        | 18.8% | 609     | 81.2% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 309  | 21         | 6.8%  | 288     | 93.2% |       |
| 【運営】来客・訪問者の見学案内          | 月1回以上 | 581  | 119        | 20.5% | 462     | 79.5% | <.001 |
|                          | 月1回未満 | 486  | 44         | 9.1%  | 442     | 90.9% |       |

## 地活2次調査

### 回答者の属性

473ヶ所の地域活動支援センターに調査票を送った結果、134ヶ所(28.2%)から回答が得られた。都道府県別の回答状況については表34に、回答者の属性については表35、表36にまとめた。また、回答者の勤務期間の分布は図31にまとめた。栃木県、群馬県など9つの県で回答が得られず、回収率が0%であった。回答者の48.5%が男性で、51.5%が女性であった。41.8%が施設長であり、66名の勤務期間が4年以内であった。

### ピアサポート活動の実施状況

ピアサポート活動の実施状況については図32に、各活動の実施年数については、図33、図34、図35、図36に示した。ピアサポーターによる生活支援を実施している地域活動支援センターは34ヶ所(25.4%)、ピアサポーターによる病院への訪問を実施している地域活動支援センターは42ヶ所(31.3%)、1対1でのピアカウンセリングを実施している地域活動支援センターは45ヶ所(33.6%)、ピアサポートグループが組織されている地域活動支援センターは90ヶ所(67.2%)であった。どの活動も始まってから1～2年目、3～4年目という地域活動支援センターが多くなっていた。

ピアサポーターによる生活支援を実施している地域活動支援センターの都道府県別分布を表38、図37に、ピアサポーターによる病院への訪問を実施している地域活動支援センターの都道府県別分布を表39、図38に、1対1でのピアカウンセリングを実施している地域活動支援センターの都道府県別分布を表40、図39に、ピアサポートグループが組織されている地域活動支援センターの都道府県別分布を表41、図40にまとめた。各ピアサポート活動のクロス集計を表42、表43にまとめた。4種類の活動すべてを行っている地域活動支援センターは10ヶ所(7.5%)あった。回答のあった134ヶ所の地域活動支援センターのうち、53ヶ所(39.6%)ではピアサポートグループのみが行われていた。

### ピアサポーターによる生活支援の実施状況

ピアサポーターによる生活支援を実施している地域活動支援センターの概要を表44にまとめた。ピアサポーターの数は平均3.4名(標準偏差2.7名)であり、全国の合計は114名であった。被訪問者数の平均は4.1名(標準偏差5.8名)であり、全国の合計は124名であった。

最低賃金以上の賃金を支払われながら活動を行っているピアサポーターは平均3.3名(標準偏差3.0名)であり、全国の合計は65名であった。また、地域活動支援センターで開いた養成講座を受けたピアサポーターの数は平均4.6名(標準偏差4.3名)であり、合計は32名であった。

養成・研修に関する自由記述では、研修の形式として「入会時の研修」、「他のピアサポーターからの指導」、「自治体主催の研修への参加」、「他団体主催の研修への参加」、「他団体を招いての研修の実施」、「他のピアグループの活動見学」、「ピア活動交流会への参加」が指摘された。研修の内容としては、「病気に対する基礎知識」、「ビジネスマナー」、「相談技法」、「保健・医療・福祉制度について」、「障害に関する研修及び接し方についての研修」、「対人援助法・抱え込まないこと・ポジティブルームの活用」、「ピアサポーターのグループワーク」が指摘された。

ピアサポーターによる生活支援の内容について尋ねた結果を図41にまとめた。最も実施が多かったのは日常生活における悩み事の相談で21ヶ所であり、次に多かったのは買い物などの外出で15ヶ所であった。

フォローアップのためのメンバーミーティング実施の有無については図42にまとめた。メンバーミーティングを行っている地域活動支援センターは23ヶ所であり、ピアサポーターによる生活支援を行っているとは回答した地域活動支援センターの68%であった。ミーティングに関する自由記述欄では、ミーティングの頻度として、「訪問後毎回」、「毎週」、「月に1回」、「月に2回」、「課題があればその都度」という回答があった。また、ミーティングの形式として、「訪問に同行したスタッフとのミーティング」、「ピアの仲間との定期的な報告会」、「職員会議とは別のピアスタッフ会議」、「ピアサポーター各人による活動状況の報告」、「電話での連絡」、「個別面接」、ミーティングの内容として



「活動報告」、「活動の振り返り」、「対策の検討」、「相談内容の共有」という指摘があった。

活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方を図43にまとめた。メンバーが中心となって企画・運営を行っているのは4ヶ所(13%)、スタッフと同じ程度、企画・運営を行っているのは15ヶ所(48%)であった。

今後の活動に対する意向を図44にまとめた。回数を増やしたいという地域活動支援センターは21ヶ所(64%)であり、現状のままでよいという地域活動支援センターは10ヶ所(30%)であった。回数を減らしたいという回答は無かった。

生活支援の実施にあたって感じている困難は表45にまとめた。最も多いのは「なり手が少ない」ことで16ヶ所(ピアサポーターによる生活支援を行っていると回答した地域活動支援センターの47.1%)から回答が得られていた。「代役をみつけることが難しい」という回答は13ヶ所(38.2%)から得られた。サポーターと支援対象者とのトラブル発生や守秘義務の徹底について困難を感じるという回答もそれぞれ4ヶ所から得られた。「その他」の回答は、「マンパワー不足のため、医療側からの要望に合わせてサポーターを配置することが難しい。ピアサポーターの成り手は多いが、役割に向かない人もいる」、「ピアサポーター同士のトラブル」、「ピアサポーターが当事者からの言動に傷つくことが多い」であった。「困難は感じていない」という回答もみられた。

#### ピアサポーターによる病院訪問の実施状況

病院訪問を実施している地域活動支援センターの概要を表46にまとめた。ピアサポーターの数は平均3.5名(標準偏差3.0名)であり、全国の合計は145名であった。被訪問者数の平均は25.0名(標準偏差63.7名)であり、全国の合計は800名であった。

最低賃金以上の賃金を支払われながら活動を行っているピアサポーターは平均3.7名(標準偏差3.1名)であり、全国の合計は101名であった。また、地域活動支援センターで開いた養成講座を受けたピアサポーターの数は平均5.7名(標準偏差5.9名)であり、合計は68名であった。

養成・研修に関する自由記述では、研修の形

式として「入会時の研修」、「他のピアサポーターからの指導」、「地域移行関連の研修会への参加」、「自治体主催の研修への参加」、「他団体主催の研修への参加」、「他団体を招いての研修の実施」、「ピアサポーター交流会への参加」が指摘された。研修の内容としては、「病気について」、「面接技術」、「障害特性」、「他地域活動の勉強」、「傾聴技術」、「ロールプレイ」、「病院で活動するにあたっての注意事項」、「体験談発表の練習」、「SST」、「ピアカウンセリング」、「対人援助法」、「抱え込まないこと」、「当事者同士が病気にかかった時の事、今どんな薬を飲んでいるか、自分の病気を知っているか、などを話し合う」といった内容が指摘された。

退院促進事業との関連について尋ねた結果を図45に示した。自治体の退院促進事業として実施されているケースが最も多く、24ヶ所(63%)であった。自治体とは無関係に実施しているという地域活動支援センターも2ヶ所(5%)あった。

フォローアップのためのメンバーミーティング実施の有無を図46にまとめた。メンバーミーティングを行っている地域活動支援センターは30ヶ所であり、ピアサポーターによる病院への訪問を行っていると回答した地域活動支援センターの79%であった。ミーティングに関する自由記述欄では、ミーティングの頻度として、「活動前後」、「記録記入時」、「訪問後毎回」、「毎週」、「月に1回」といった定期、「課題があればその都度」、「ピアサポーターの希望に応じて」という回答があった。また、ミーティングの形式として、「訪問に同行したスタッフとのミーティング」、「支援者のミーティングに参加」、「ピアの仲間との定期的な報告会」、「職員会議とは別のピアスタッフ会議」、「ピアサポーター各人による活動状況の報告」、「ピアサポーター活動記録の提出」、「電話での連絡」、ミーティングの内容として「活動報告」、「活動の振り返り」、「対策の検討」、「相談内容の共有」、「病棟との連携」、「不安だった点」、「ケースに対しての関わり方」、「支援時に実際に困ったこと」という指摘があった。

活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方を図47にまとめた。メンバーが中心となって企画・運営を行っているのは5ヶ所(13%)、ス

スタッフと同じ程度、企画・運営を行っているのは15ヶ所(38%)であった。

今後の活動に対する意向を図48にまとめた。回数を増やしたいという地域活動支援センターは26ヶ所(67%)であった。現状のままでよいという地域活動支援センターは7ヶ所(18%)であった。回数を減らしたいという回答は無かった。「その他」の回答として、「ピアサポーターとしての活動の場を個別でなく、院内説明会などの形で増やしたい」、「県にピアサポーターを予算化していくよう働きかける」、「新しい訪問先の開拓」といった回答がみられた。「全く手探り状態」という回答もあった。

病院訪問の実施にあたって感じている困難を表47にまとめた。最も多いのは「なり手が少ない」と「支援を希望する入院患者が少ない」ことで12ヶ所(28.6%)から回答が得られていた。「守秘義務の徹底」について困難を感じるという回答も10ヶ所(23.8%)から得られた。「その他」の回答内容は、「メッセージ活動を断られたり、今はニーズがないといわれたりする」、「仲間としての関係を壊さないことが難しい」、「グループプログラムのため自治体の退院促進事業対象者以外も含まれる」、「サポーター自身の病状への関わり」、「県事業として予算がついている間は運営可能だが、自主運営は厳しい」といったものであった。「始まったばかりで、まだわからない」という回答もみられた。

### 1対1のピアカウンセリングの実施状況

1対1でのピアカウンセリングを実施している地域活動支援センターの概要を表48にまとめた。ピアカウンセラーの数は平均3.2名(標準偏差2.9名)であり、全国の合計は134名であった。カウンセリングを実施した実人数の平均は19.7名(標準偏差25.9名)であり、全国の合計は571名であった。延べ人数でみると平均77.7名(標準偏差102.1名)で、全国の合計は2565名であった。

最低賃金以上の賃金を支払われながら活動を行っているピアサポーターは平均2.3名(標準偏差1.8名)であり、全国の合計は44名であった。また、地域活動支援センターで開いた養成講座を受けたピアサポーターの数は平均2.8名(標準偏差2.8名)であり、合計は45名であった。

養成・研修に関する自由記述では、研修の形式として「スタッフ会議の中で話し合い」、「自治体主催の研修への参加」、「他団体主催の研修への参加」、「他団体を招いての研修の実施」、「ピア活動交流会への参加」、「他のピアグループの活動見学」が指摘された。研修の内容としては、「相談場面のふり返し」、「保健・医療・福祉制度について」、「障害の特性」、「嗜癖問題」、「ビジネスマナー」、「カウンセリングに当たる際の守るべきこと」、「相談技法」、「動機づけ面接技法」、「グループファシリテーションの理論とスキル」といった内容が指摘された。「ピア・カウンセリング講座」「ピアカウンセラー養成講座」といったピアカウンセリングに特化した講座への参加も指摘された。

フォローアップのためのメンバーミーティング実施の有無を図49にまとめた。メンバーミーティングを行っている地域活動支援センターは27ヶ所であり、1対1でのピアカウンセリングを行っているとは回答した地域活動支援センターの69%であった。ミーティングの頻度として、「活動後」、定期という回答があった。また、ミーティングの形式として、「スタッフとの面接」、「ピアの仲間との定期的な報告会」、「相談事例検討会を通じたアドバイス」といった形式が挙げられた。ミーティングの内容として「相談内容」、「気分の把握シート活用による振り返り」、「傾聴の基本や面接・相談に関するマニュアルをもとに話し合う」、「電話や相談時の応対等についてのロールプレイ」、「カウンセラー自身の悩み」といった内容が挙げられた。

活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方は図50にまとめた。メンバーが中心となって企画・運営を行っているのは8ヶ所(20%)、スタッフと同じ程度、企画・運営を行っているのは17ヶ所(42%)であった。

今後の活動に対する意向を図51にまとめた。回数を増やしたいという地域活動支援センターは19ヶ所(46%)であったが、現状のままでよいとする回答も15ヶ所(37%)から得られた。回数を減らしたいという回答は無かった。「その他」という回答の中では、「予算面での対応が可能になれば、常勤ピアスタッフとして活用したい」、「補助金さえあれば、増員したい」といった回答がみられた一方で、「現在ピアカウンセ



ラーの体調の悪化により、休止中。どういうタイミングで再開するか思案中」といった回答もみられた。

ピアカウンセリングの実施にあたって感じている困難を表49にまとめた。最も多いのは「カウンセリング技術を身につけるのが難しい」で24ヶ所から回答が得られた。これはピアカウンセリングを実施していると回答した地域活動支援センターの57%に相当した。「守秘義務の徹底」について困難を感じるという回答も9ヶ所から得られた。「活動に対する代価を支払えない」という回答も10ヶ所から得られた。「カウンセラーの体調悪化」と「クライアントとカウンセラーのトラブル」は8ヶ所から、「守秘義務の徹底」は7ヶ所から得られた。「その他」の回答内容は、「ピアカウンセラー自身のメンタル面の消耗」、「離島ゆえ、資質向上のための研修、技術取得の場の確保が難しい」といったものであった。

### ピアサポートグループの実施状況

ピアサポートグループが組織されている地域活動支援センターの概要を表50にまとめた。ピアサポートグループのメンバーの数は平均11.2名(標準偏差12.5名)であり、全国の合計は940名であった。ピアサポートグループに参加した実人数の平均は23.2名(標準偏差31.3名)であり、全国の合計は1899名であった。延べ人数でみると平均178.1名(標準偏差605.7名)であり、合計は7401名であった。

最低賃金以上の賃金を支払われながら活動を行っているピアサポーターは平均2.3名(標準偏差4.2名)であり、全国の合計は50名であった。また、地域活動支援センターで開いた養成講座を受けたピアサポーターの数は平均5.1名(標準偏差5.5名)であり、合計は96名であった。養成・研修に関する自由記述欄では、養成・研修の形式として、「自団体での研修・勉強会」、「他団体の主催する講座・研修への参加」、「当事者同士のミーティング」、「フリートークの場を持つ」、「他のピアグループの活動見学」、「ピア活動交流会への参加」といった形式が指摘された。養成・研修のテーマとしては、「話を聴く時の技術(共感の仕方、問の取り方、質問の仕方、アドバイスの仕方等)」、「先駆的なピア

サポート活動の実際」、「ピアグループ、ピアカウンセリングの体験」、「生活上の悩みや課題」、「服薬や病状への対応方法」、「嗜癖問題」、「グループファシリテーションの理論とスキル」、「相談面談の技法」といった内容が挙げられた。「WRAP」や「べてるの当事者研究」、「JHC板橋の研修資料」、「AA」といった既存の理論や資料を参考に研修を行っているという例も挙げられた。一方で、「グループ活動そのものが研修、すなわち生活上の困難事例の解決技法となっている」という回答もみられた。

フォローアップのためのメンバーミーティング実施の有無については図52にまとめた。メンバーミーティングを行っている地域活動支援センターは38ヶ所であり、ピアサポートグループが作られていると回答した地域活動支援センターの45%であった。ミーティングに関する自由記述欄では、おもに活動後に振り返りの時間をもつようにしていること、その振り返りにはスタッフが入る場合もあれば、当事者だけで行う場合もあることが指摘された。「自主グループに対して担当スタッフを設け、ケースによっては、人間関係やプログラム内容に対して、助言程度の事を行っている」という事例も挙げられた。話し合う内容としては、「傾聴の仕方の振り返り」、「安心して話せる環境づくり」、「各人の関係づくり」、「なるべく全員から話を引き出したか」、「反省に基づく次回のテーマ決め」といった内容が指摘された。

活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方は図53にまとめた。メンバーが中心となって企画・運営を行っているのは47ヶ所(53%)、スタッフと同じ程度、企画・運営を行っているのは28ヶ所(31%)であった。

今後の活動に対する意向は図54にまとめた。回数を増やしたいという地域活動支援センターは29ヶ所(33%)であった。現状のままでよいという回答は36ヶ所(40%)から得られた。回数を減らしたいという回答も1ヶ所(1%)から得られた。「その他」の回答の中では、「メンバーの自主性に任せる」という回答がみられる一方で、「グループ活動の運営に携わるメンバーを増やしたい」といった回答もみられた。また、「メンバーの年齢層が高くなっており、今後の在り方についてメンバーも悩んでいる」という回答も

みられた。

ピアサポートグループの実施にあたって感じている困難は表51にまとめた。最も多いのは「グループワークの技術を身につけるのが難しい」で38ヶ所から回答が得られた。これはピアサポートグループ」を実施していると回答した地域活動支援センターの42%に相当した。「守秘義務の徹底」について困難を感じるという回答も15ヶ所(16.7%)から得られた。「活動に対する対価を支払えない」という回答も14ヶ所(15.6%)から得られた。「その他」の回答中には、「利用者主体で行事を考えたいが、利用者からの意見が少ない」、「メンバーを企画・運営に巻き込むこと。"参加はしたいが、運営は負担"との声がある」、「メンバー中心の運営ができない」、「スタッフへの依存度が高い」、「自主的な活動にまで発展していかない」、「活動に対し、口を出さないでいることが難しい」といったメンバー主体の運営の難しさを指摘するものや、「グループリーダーであるメンバーの精神的負担が大きい」、「グループメンバーにかかる負担の偏り」、「グループの世話人に負担が集中してしまっている」といった特定のメンバーへの負担の集中を指摘するものがみられた。「ピアサポーターの育成が上手く行えず、現在のピアサポーターが就労してしまうとその後続けられるのか不安がある」、「ピアカウンセラーに適切な人がいない(少ない)」、「特に女子の参加が少ないため、参加が望まれる」、「地域生活支援センターの特性から、グループ参加者が毎回異なる」、「どのようなものを行えば効果があるのか悩むときがある」といった指摘もみられた。

### その他のピアサポート活動

4種類のピアサポート活動以外に行われているピアサポート活動について自由記述で尋ねた。この自由記述を以下にまとめた。

### 4種類のピアサポート活動に類すると思われるもの

#### 〈1対1でのピアカウンセリング〉

地域での障害のある方々やひとりぐらしや高齢者の話を聞いて相談にのっている。

体調が悪く、落ち着かなかったり、さみしい、虚無感等があるメンバーに対し、相方の

都会を相談の上で行っているが、カウンセラー自身の体調によっては実施が困難な場合もある。

当事者スタッフによるピア相談・ピアカウンセリングを実施している。ピアカウンセリングのスキルアップのため、研修に参加している(月1度)

#### 〈ピアサポートグループ〉

当事業所の相談支援事業所と市で行っている各町を対象とした巡回相談に同行してもらい、会で行われる、フリートークの司会、進行を担当して頂いている。回の前後で振り返り、打ち合わせ当実施。(実施回数)5町巡回(内3町同行)各町4カ月に1回巡回(拡張年3回ずつ)3町×3回=9回実施

当センターでは、センタープログラムの一つとして、月に1度当事者同士が近況を報告したり、悩みを相談できる場を設けてきた。また、そうしたプログラムに多くのメンバーが関心をもち、参加してもらえるよう、バーベキューや月見などを企画し、メンバーが中心で運営してきたが、11月よりセンタープログラムではなく、当事者自主活動としての活動が始まり、職員の介入のないメンバーによるメンバーのための活動として、新たな動きを始めている。現状では、これまで同様、月に1度当事者同士が集まり、話し合いやイベントを企画しているが、参加者の拡大のための広告や、組織の規約の作成など、今後取り組んでいく課題はある。また、話し合いの進行・組織の運営についてなど、職員がアドバイザーとして関わっていく必要があると感じている

当事者活動支援：当事者が主体的に運営するバレーボール部の活動支援など

ハーモニカの演奏指導→ホスピスなどへの訪問演奏、手芸。

センター利用者による自主企画(カラオケ・食事会など)職員は極力手を出さず自主運営に任せています。月1回の利用者ミーティングにて、自主企画も含めた活動の振り返りをしています。

他にメンバーミーティングで困り事を出し合ったり、レクリエーションの予定や内容を決

めたりしている。朝の会、帰りの会の司会もメンバーが行う。

地域の自治会活動へ参加している。1対1の形ではないが、病院や刑務所を訪ねて、アルコール依存症(精神障害の一つ)の回復の道を知らせている。

憩いの場(サロン)活動

サロン(軽食カフェ)の運営

#### 4種類のピアサポートの分類に当てはまらないもの

〈体験発表〉

出前講座：病院入院者や地域の様々な団体に対し、病気や障害、社会資源等に関する講話や説明を行う。

中学校、高校、大学へ「精神障害者理解」として講演に行く

病院や社会福祉協議会などから講師依頼あり

②当事者のみで、グループを作り、講師派遣事業を行っている。地活のスタッフは、窓口となってマネージャー役をつとめる。

PSW養成所へのピアサポーター講演。

これまでの体験談を話してほしいとの依頼を受け、退院促進事業の一環としてや保健所などで講演やグループワークへの参加をしている。報酬については、依頼された機関による。活動についてのフォローとして、スタッフが原稿を一緒に考え、整理できるようサポートしている。また、どうすればうまく伝えられるのか勉強会を行い、実施後の振り返りも行うことで、経験が積み重ねていける様サポートしている。

当事者スタッフが中心となって病気を抱えながらの生活、体験を語る場としてのピア講座の開催を月1回のペースで行っている(現在65回)

保健所や精神保健福祉センターでのゼミナールや啓発などにピアスタッフとして参加し、発表、施設の紹介、自分の担当している講座の説明、活動内容を話したりして、家族や当事者をはじめ、一般の人達への病気に対する理解や協力を呼び掛ける運動もしている

〈現在進行形のピアサポート〉

月1回自助グループを話し合いというスタイルで始めたところ。7, 8人~3, 4人というグループ。1, 2人ということで、中止することもあり、苦戦している。

当センターでは、センタープログラムの一つとして、月に1度当事者同士が近況を報告したり、悩みを相談できる場を設けてきた。また、そうしたプログラムに多くのメンバーが関心をもち、参加してもらえよう、バーベキューや月見などを企画し、メンバーが中心で運営してきたが、11月よりセンタープログラムではなく、当事者自主活動としての活動が始まり、職員の介入のないメンバーによるメンバーのための活動として、新たな動きを始めている。現状では、これまで同様、月に1度当事者同士が集まり、話し合いやイベントを企画しているが、参加者の拡大のための広告や、組織の規約の作成など、今後取り組んでいく課題はある。また、話し合いの進行・組織の運営についてなど、職員がアドバイザーとして関わっていく必要があると感じている

〈自然発生的なピアサポート〉

自発的な日中活動を行うことの支援

70代の痴呆の女性と30代の障害を持つ女性(どちらもグループホームに入居され、日中は、同じ場所(パン・菓子製造で働かれている)が、仕事、生活を共にする中で、お互い支え、暮しておられます。30代の方は特に、毎日サービスを与えられ続ける毎日の中で、70代の女性に出会い、自らすすんで、その方の世話をされるという関係を自然に作ってこられたように見えます。障害者自立支援法の「自立」という意味は、どうも何でも自分一人ができることを獲得してゆくという意味合いが強すぎる様に思っていました。この2人の関係が、貴団体の言われるピアサポートと呼べるものかは少し不安ですが、私たちは、上記の2名の方の付き合いから、多くの事を学ばせてもらっているように思います。

#### クラブハウスモデルの認知度と地域活動支援センターの活動等の共通点

クラブハウスモデルの認知度を図55にまとめ



た。理念や活動内容まで知っている」と回答したのは36名(27%)であった。「初めてきいた」という者も30名(22%)いた。「理念や活動内容まで知っている」「名前は知っている」と回答した者にクラブハウスモデルを知った経緯を尋ねた結果を表52に示した。テレビや書籍、講演会を通して知った者が多く、見学したことがあるという者も11名(10.6%)いた。「その他」の知った経緯としては、学校での授業や学会、JHC板橋の研修会が挙げられた。

現在の地域活動支援センターの活動とクラブハウスモデルとの共通点に関して尋ねた結果を表53にまとめた。共通するという回答が最も多かったのは「いつでも退会、復帰可能」で75ヶ所(56.0%)から得られた。「運営はスタッフとメンバーの合議により決定」する点については11ヶ所(8.2%)から共通するという回答が得られた。「過渡的雇用」については、3ヶ所(2.2%)から共通するという回答が得られた。

表34 都道府県別の送付数と回答数

|      | 送付数 | 回答数 | 回答率    | 回答全体に占める割合 |
|------|-----|-----|--------|------------|
| 北海道  | 33  | 14  | 42.4%  | 10.4%      |
| 青森県  | 5   | 1   | 20.0%  | 0.7%       |
| 岩手県  | 12  | 2   | 16.7%  | 1.5%       |
| 宮城県  | 18  | 4   | 22.2%  | 3.0%       |
| 秋田県  | 7   | 2   | 28.6%  | 1.5%       |
| 山形県  | 4   | 2   | 50.0%  | 1.5%       |
| 福島県  | 15  | 6   | 40.0%  | 4.5%       |
| 茨城県  | 6   | 1   | 16.7%  | 0.7%       |
| 栃木県  | 4   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 群馬県  | 4   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 埼玉県  | 20  | 7   | 35.0%  | 5.2%       |
| 千葉県  | 21  | 5   | 23.8%  | 3.7%       |
| 東京都  | 30  | 14  | 46.7%  | 10.4%      |
| 神奈川県 | 26  | 7   | 26.9%  | 5.2%       |
| 新潟県  | 15  | 5   | 33.3%  | 3.7%       |
| 富山県  | 9   | 2   | 22.2%  | 1.5%       |
| 石川県  | 4   | 1   | 25.0%  | 0.7%       |
| 福井県  | 0   | 0   | -      | 0.0%       |
| 山梨県  | 6   | 2   | 33.3%  | 1.5%       |
| 長野県  | 9   | 1   | 11.1%  | 0.7%       |
| 岐阜県  | 6   | 1   | 16.7%  | 0.7%       |
| 静岡県  | 8   | 3   | 37.5%  | 2.2%       |
| 愛知県  | 8   | 2   | 25.0%  | 1.5%       |
| 三重県  | 2   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 滋賀県  | 4   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 京都府  | 9   | 3   | 33.3%  | 2.2%       |
| 大阪府  | 30  | 10  | 33.3%  | 7.5%       |
| 兵庫県  | 21  | 3   | 14.3%  | 2.2%       |
| 奈良県  | 7   | 2   | 28.6%  | 1.5%       |
| 和歌山県 | 2   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 鳥取県  | 3   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 島根県  | 6   | 3   | 50.0%  | 2.2%       |
| 岡山県  | 14  | 3   | 21.4%  | 2.2%       |
| 広島県  | 14  | 3   | 21.4%  | 2.2%       |
| 山口県  | 1   | 1   | 100.0% | 0.7%       |
| 徳島県  | 5   | 3   | 60.0%  | 2.2%       |
| 香川県  | 11  | 1   | 9.1%   | 0.7%       |
| 愛媛県  | 8   | 2   | 25.0%  | 1.5%       |
| 高知県  | 1   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 福岡県  | 10  | 6   | 60.0%  | 4.5%       |
| 佐賀県  | 2   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 長崎県  | 9   | 2   | 22.2%  | 1.5%       |
| 熊本県  | 11  | 4   | 36.4%  | 3.0%       |
| 大分県  | 6   | 1   | 16.7%  | 0.7%       |
| 宮崎県  | 13  | 1   | 7.7%   | 0.7%       |
| 鹿児島県 | 5   | 0   | 0.0%   | 0.0%       |
| 沖縄県  | 11  | 4   | 36.4%  | 3.0%       |
| 合計   | 475 | 134 | 28.2%  |            |

表35 地活2次調査の回答者の属性 (n=134)

|    |         | 回答者 |       |
|----|---------|-----|-------|
|    |         | n   | %     |
| 性別 | 男性      | 65  | 48.5% |
|    | 女性      | 69  | 51.5% |
| 年代 | 20歳代    | 25  | 18.7% |
|    | 30歳代    | 36  | 26.9% |
|    | 40歳代    | 16  | 11.9% |
|    | 50歳代    | 37  | 27.6% |
|    | 60歳代以上  | 20  | 14.9% |
| 職位 | 施設長     | 56  | 41.8% |
|    | 常勤職員    | 64  | 47.8% |
|    | 非常勤職員   | 9   | 6.7%  |
|    | 利用者     | 1   | 0.7%  |
|    | その他     |     |       |
|    | ピア・スタッフ | 1   | 0.7%  |
|    | センター長   | 1   | 0.7%  |
|    | 理事長     | 1   | 0.7%  |
|    | 無回答     | 1   | 0.8%  |

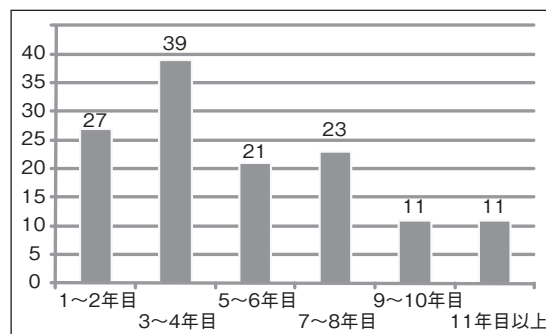


図31 回答者の勤務期間の分布 (n=110)

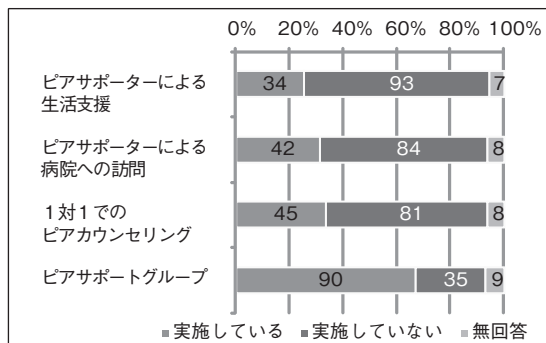


図32 ピアサポート活動の実施状況 (n=134)

表36 地活2次調査の回答者の属性 (n=134)

|          | n   | 平均   | 標準偏差 | 中央値 | 最小値 | 最大値 |
|----------|-----|------|------|-----|-----|-----|
| 勤務期間(月数) | 110 | 54.4 | 34.8 | 45  | 4   | 176 |

表37 各ピアサポート活動の活動期間

|                  | n  | 平均    | 活動期間(月) |     |     |     |
|------------------|----|-------|---------|-----|-----|-----|
|                  |    |       | 標準偏差    | 中央値 | 最小値 | 最大値 |
| ピアサポーターによる生活支援   | 13 | 26.31 | 33.19   | 13  | 1   | 101 |
| ピアサポーターによる病院への訪問 | 21 | 32.90 | 21.64   | 34  | 2   | 94  |
| 1対1でのピアカウンセリング   | 27 | 43.07 | 30.19   | 38  | 4   | 101 |
| ピアサポートグループ       | 49 | 53.27 | 55.02   | 38  | 5   | 336 |

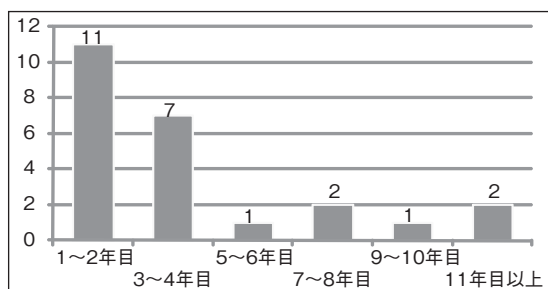


図33 ピアサポーターによる生活支援の地域活動支援センター別活動期間 (n=24)

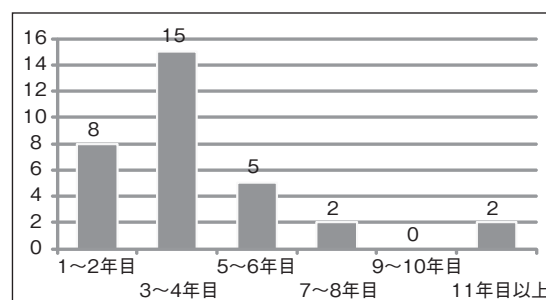


図34 ピアサポーターによる病院への訪問の地域活動支援センター別活動期間 (n=32)



表38 ピアサポーターによる生活支援を実施している  
地域活動支援センターの都道府県別分布状況  
(n=34)

|      | 回答数 | 実施事業所数 | 実施率    |
|------|-----|--------|--------|
| 北海道  | 14  | 6      | 42.9%  |
| 青森県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 岩手県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 宮城県  | 4   | 1      | 25.0%  |
| 秋田県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 山形県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 福島県  | 6   | 2      | 33.3%  |
| 茨城県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 栃木県  | 0   | 0      | -      |
| 群馬県  | 0   | 0      | -      |
| 埼玉県  | 7   | 1      | 14.3%  |
| 千葉県  | 5   | 1      | 20.0%  |
| 東京都  | 14  | 4      | 28.6%  |
| 神奈川県 | 7   | 0      | 0.0%   |
| 新潟県  | 5   | 1      | 20.0%  |
| 富山県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 石川県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 福井県  | 0   | 0      | -      |
| 山梨県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 長野県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 岐阜県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 静岡県  | 3   | 1      | 33.3%  |
| 愛知県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 三重県  | 0   | 0      | -      |
| 滋賀県  | 0   | 0      | -      |
| 京都府  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 大阪府  | 10  | 3      | 30.0%  |
| 兵庫県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 奈良県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 和歌山県 | 0   | 0      | -      |
| 鳥取県  | 0   | 0      | -      |
| 島根県  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 岡山県  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 広島県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 山口県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 徳島県  | 3   | 1      | 33.3%  |
| 香川県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 愛媛県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 高知県  | 0   | 0      | -      |
| 福岡県  | 6   | 3      | 50.0%  |
| 佐賀県  | 0   | 0      | -      |
| 長崎県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 熊本県  | 4   | 0      | 0.0%   |
| 大分県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 宮崎県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 鹿児島県 | 0   | 0      | -      |
| 沖縄県  | 4   | 0      | 0.0%   |
| 合計   | 134 | 34     | 25.4%  |

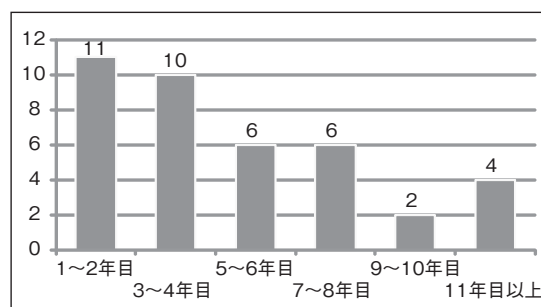


図35 1対1でのピアカウンセリングの  
地域活動支援センター別活動期間 (n=39)

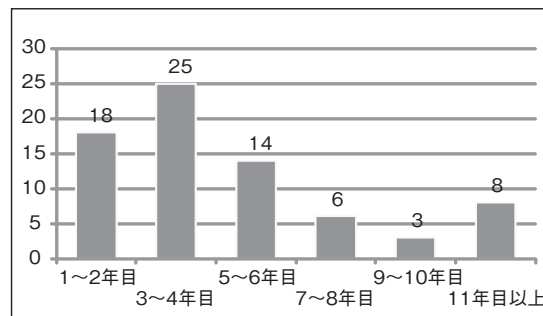


図36 ピアサポートグループの地域活動支援セ  
ンター別活動期間 (n=74)

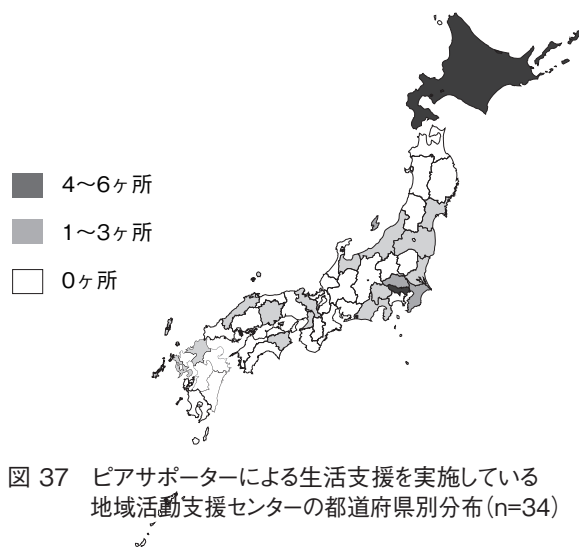


図37 ピアサポーターによる生活支援を実施している  
地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=34)

表39 ピアサポーターによる病院への訪問を実施している地域活動支援センターの都道府県別分布  
(n=42)

|      | 回答数 | 実施事業所数 | 実施率    |
|------|-----|--------|--------|
| 北海道  | 14  | 9      | 64.3%  |
| 青森県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 岩手県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 宮城県  | 4   | 1      | 25.0%  |
| 秋田県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 山形県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 福島県  | 6   | 1      | 16.7%  |
| 茨城県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 栃木県  | 0   | 0      | -      |
| 群馬県  | 0   | 0      | -      |
| 埼玉県  | 7   | 1      | 14.3%  |
| 千葉県  | 5   | 0      | 0.0%   |
| 東京都  | 14  | 4      | 28.6%  |
| 神奈川県 | 7   | 1      | 14.3%  |
| 新潟県  | 5   | 1      | 20.0%  |
| 富山県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 石川県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 福井県  | 0   | 0      | -      |
| 山梨県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 長野県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 岐阜県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 静岡県  | 3   | 1      | 33.3%  |
| 愛知県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 三重県  | 0   | 0      | -      |
| 滋賀県  | 0   | 0      | -      |
| 京都府  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 大阪府  | 10  | 8      | 80.0%  |
| 兵庫県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 奈良県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 和歌山県 | 0   | 0      | -      |
| 鳥取県  | 0   | 0      | -      |
| 島根県  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 岡山県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 広島県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 山口県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 徳島県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 香川県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 愛媛県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 高知県  | 0   | 0      | -      |
| 福岡県  | 6   | 3      | 50.0%  |
| 佐賀県  | 0   | 0      | -      |
| 長崎県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 熊本県  | 4   | 0      | 0.0%   |
| 大分県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 宮崎県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 鹿児島  | 0   | 0      | -      |
| 沖縄県  | 4   | 1      | 25.0%  |
| 合計   | 134 | 42     | 31.3%  |

表40 1対1でのピアカウンセリングを実施している地域活動支援センターの都道府県別分布  
(n=45)

|      | 回答数 | 実施事業所数 | 実施率    |
|------|-----|--------|--------|
| 北海道  | 14  | 4      | 28.6%  |
| 青森県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 岩手県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 宮城県  | 4   | 2      | 50.0%  |
| 秋田県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 山形県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 福島県  | 6   | 3      | 50.0%  |
| 茨城県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 栃木県  | 0   | 0      | -      |
| 群馬県  | 0   | 0      | -      |
| 埼玉県  | 7   | 1      | 14.3%  |
| 千葉県  | 5   | 0      | 0.0%   |
| 東京都  | 14  | 10     | 71.4%  |
| 神奈川県 | 7   | 2      | 28.6%  |
| 新潟県  | 5   | 0      | 0.0%   |
| 富山県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 石川県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 福井県  | 0   | 0      | -      |
| 山梨県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 長野県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 岐阜県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 静岡県  | 3   | 1      | 33.3%  |
| 愛知県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 三重県  | 0   | 0      | -      |
| 滋賀県  | 0   | 0      | -      |
| 京都府  | 3   | 1      | 33.3%  |
| 大阪府  | 10  | 3      | 30.0%  |
| 兵庫県  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 奈良県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 和歌山県 | 0   | 0      | -      |
| 鳥取県  | 0   | 0      | -      |
| 島根県  | 3   | 3      | 100.0% |
| 岡山県  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 広島県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 山口県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 徳島県  | 3   | 1      | 33.3%  |
| 香川県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 愛媛県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 高知県  | 0   | 0      | -      |
| 福岡県  | 6   | 5      | 83.3%  |
| 佐賀県  | 0   | 0      | -      |
| 長崎県  | 2   | 2      | 100.0% |
| 熊本県  | 4   | 0      | 0.0%   |
| 大分県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 宮崎県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 鹿児島  | 0   | 0      | -      |
| 沖縄県  | 4   | 1      | 25.0%  |
| 合計   | 134 | 45     | 33.6%  |

表41 ピアサポートグループが作られている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=90)

|      | 回答数 | 実施事業所数 | 実施率    |
|------|-----|--------|--------|
| 北海道  | 14  | 7      | 50.0%  |
| 青森県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 岩手県  | 2   | 2      | 100.0% |
| 宮城県  | 4   | 4      | 100.0% |
| 秋田県  | 2   | 2      | 100.0% |
| 山形県  | 2   | 2      | 100.0% |
| 福島県  | 6   | 2      | 33.3%  |
| 茨城県  | 1   | 0      | 0.0%   |
| 栃木県  | 0   | 0      | -      |
| 群馬県  | 0   | 0      | -      |
| 埼玉県  | 7   | 5      | 71.4%  |
| 千葉県  | 5   | 4      | 80.0%  |
| 東京都  | 14  | 11     | 78.6%  |
| 神奈川県 | 7   | 6      | 85.7%  |
| 新潟県  | 5   | 3      | 60.0%  |
| 富山県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 石川県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 福井県  | 0   | 0      | -      |
| 山梨県  | 2   | 2      | 100.0% |
| 長野県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 岐阜県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 静岡県  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 愛知県  | 2   | 0      | 0.0%   |
| 三重県  | 0   | 0      | -      |
| 滋賀県  | 0   | 0      | -      |
| 京都府  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 大阪府  | 10  | 5      | 50.0%  |
| 兵庫県  | 3   | 1      | 33.3%  |
| 奈良県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 和歌山県 | 0   | 0      | -      |
| 鳥取県  | 0   | 0      | -      |
| 島根県  | 3   | 2      | 66.7%  |
| 岡山県  | 3   | 3      | 100.0% |
| 広島県  | 3   | 3      | 100.0% |
| 山口県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 徳島県  | 3   | 0      | 0.0%   |
| 香川県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 愛媛県  | 2   | 1      | 50.0%  |
| 高知県  | 0   | 0      | -      |
| 福岡県  | 6   | 3      | 50.0%  |
| 佐賀県  | 0   | 0      | -      |
| 長崎県  | 2   | 2      | 100.0% |
| 熊本県  | 4   | 4      | 100.0% |
| 大分県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 宮崎県  | 1   | 1      | 100.0% |
| 鹿児島  | 0   | 0      | -      |
| 沖縄県  | 4   | 4      | 100.0% |
| 合計   | 134 | 90     | 67.2%  |

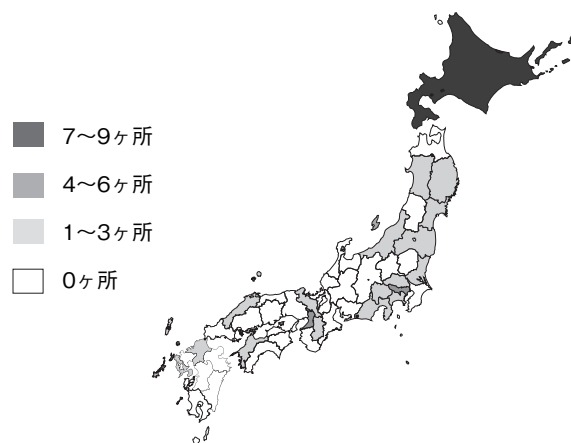


図 38 ピアサポーターによる病院への訪問を実施している地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=42)



図 39 1対1でのピアカウンセリングを実施している地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=45)

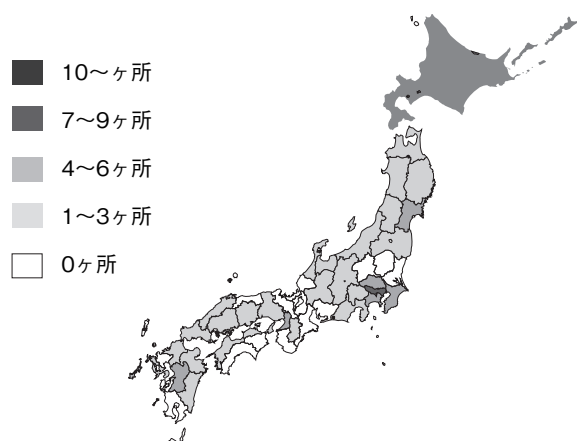


図 40 ピアサポートグループが作られている地域活動支援センターの都道府県別分布 (n=90)

表42 ピアサポート活動のクロス集計 (n=134)

| ピアサポーターによる生活支援 | ピアサポーターによる病院への訪問 | 1対1でのピアカウンセリング | ピアサポートグループ | n  | %     |
|----------------|------------------|----------------|------------|----|-------|
| ○              | ○                | ○              | ○          | 10 | 7.5%  |
| ○              | ○                | ○              | ×          | 3  | 2.2%  |
| ○              | ○                | ×              | ○          | 1  | 0.7%  |
| ○              | ×                | ○              | ○          | 4  | 3.0%  |
| ×              | ○                | ○              | ○          | 3  | 2.2%  |
| ○              | ○                | ×              | ×          | 7  | 5.2%  |
| ○              | ×                | ○              | ×          | 4  | 3.0%  |
| ○              | ×                | ×              | ○          | 1  | 0.7%  |
| ×              | ○                | ○              | ×          | 1  | 0.7%  |
| ×              | ○                | ×              | ○          | 7  | 5.2%  |
| ×              | ×                | ○              | ○          | 11 | 8.2%  |
| ○              | ×                | ×              | ×          | 2  | 1.5%  |
| ×              | ○                | ×              | ×          | 9  | 6.7%  |
| ×              | ×                | ○              | ×          | 8  | 6.0%  |
| ×              | ×                | ×              | ○          | 53 | 39.6% |

表43 ピアサポート活動のクロス集計 (n=134)

|                  |    | ピアサポーターによる病院への訪問 |       |    |       | 1対1でのピアカウンセリング |       |    |       | ピアサポートグループ |       |    |       |
|------------------|----|------------------|-------|----|-------|----------------|-------|----|-------|------------|-------|----|-------|
|                  |    | あり               |       | なし |       | あり             |       | なし |       | あり         |       | なし |       |
|                  |    | n                | %     | n  | %     | n              | %     | n  | %     | n          | %     | n  | %     |
| ピアサポーターによる生活支援   | あり | 22               | 16.4% | 11 | 8.2%  | 22             | 16.4% | 11 | 8.2%  | 16         | 11.9% | 16 | 11.9% |
|                  | なし | 20               | 14.9% | 73 | 54.5% | 23             | 17.2% | 70 | 52.2% | 74         | 55.2% | 19 | 14.2% |
| ピアサポーターによる病院への訪問 | あり |                  |       |    |       | 18             | 13.4% | 24 | 17.9% | 21         | 15.7% | 20 | 14.9% |
|                  | なし |                  |       |    |       | 27             | 20.1% | 57 | 42.5% | 69         | 51.5% | 15 | 11.2% |
| 1対1でのピアカウンセリング   | あり |                  |       |    |       |                |       |    |       | 28         | 20.9% | 62 | 46.3% |
|                  | なし |                  |       |    |       |                |       |    |       | 16         | 11.9% | 19 | 14.2% |

表44 ピアサポーターによる生活支援を実施している地域活動支援センターの属性 (n=34)

|              | n  | 平均   | 標準偏差 | 中央値 | 最小値 | 最大値 | 合計  |
|--------------|----|------|------|-----|-----|-----|-----|
| ピアサポーターの数    | 34 | 3.4  | 2.7  | 3   | 0   | 10  | 114 |
| 被訪問者数        | 30 | 4.1  | 5.8  | 2.5 | 0   | 30  | 124 |
| 延べ訪問回数       | 28 | 14.6 | 15.3 | 9.5 | 0   | 56  | 408 |
| 待遇           |    |      |      |     |     |     |     |
| 最低賃金以上の賃金支払い | 20 | 3.3  | 3.0  | 2   | 0   | 10  | 65  |
| 有償のボランティア    | 10 | 2.3  | 2.8  | 1.5 | 0   | 9   | 23  |
| 必要経費のみ       | 7  | 1.0  | 1.2  | 1   | 0   | 3   | 7   |
| 支払い無し        | 12 | 1.4  | 1.3  | 1   | 0   | 4   | 17  |
| 研修           |    |      |      |     |     |     |     |
| 養成講座を開いている   | 7  | 4.6  | 4.3  | 3   | 0   | 10  | 32  |
| 他団体の養成講座受講   | 18 | 3.1  | 2.5  | 2   | 0   | 10  | 55  |
| 研修会開催        | 9  | 3.6  | 3.1  | 4   | 0   | 10  | 32  |
| 育成無し         | 9  | 1.6  | 1.4  | 1   | 0   | 4   | 14  |

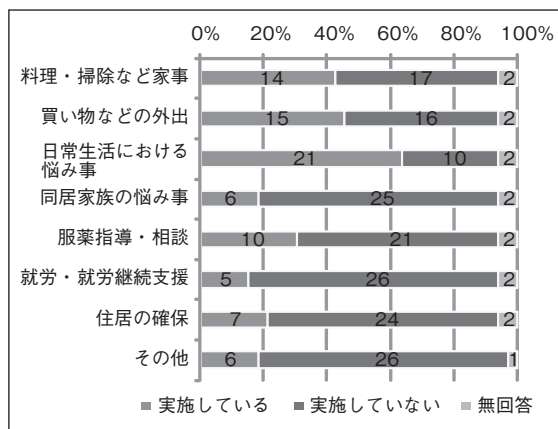


図 41 ピアサポーターによる生活支援で行われる支援の内容 (n=34)

表 45 ピアサポーターによる生活支援の実施にあたって感じている困難 (n=34)

|                     | 事業所数 |       |
|---------------------|------|-------|
|                     | n    | %     |
| なり手が少ない             | 16   | 47.1% |
| 代役をみつけることが難しい       | 13   | 38.2% |
| 運営に携わるスタッフの負担       | 8    | 23.5% |
| 活動に対する代価を支払えない      | 7    | 20.6% |
| 継続的な生活支援につながりにくい    | 6    | 17.6% |
| 訪問時の金銭的負担           | 5    | 14.7% |
| 支援を受ける希望者が少ない       | 5    | 14.7% |
| サポーターと支援対象者とのトラブル発生 | 4    | 11.8% |
| 支援対象者に対する関わり方がわからない | 4    | 11.8% |
| 守秘義務の徹底             | 4    | 11.8% |
| 家族など他者に断られることがある    | 2    | 5.9%  |
| その他                 | 3    | 8.8%  |

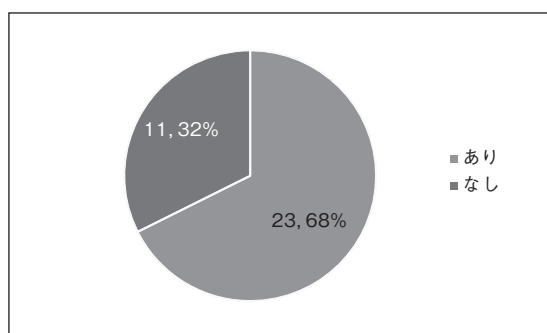


図 42 フォローアップのためのメンバーミーティングの有無 (n=34)

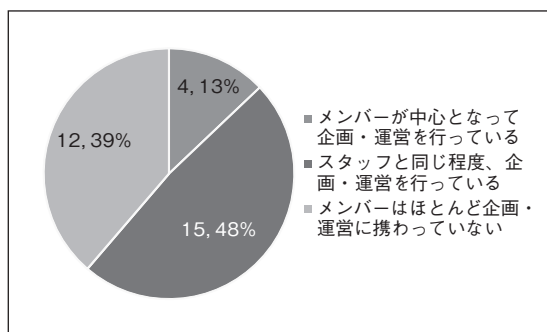


図 43 活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方 (n=31)

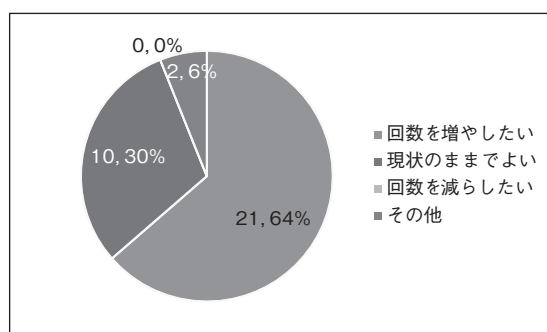


図 44 今後の活動に対する意向 (n=33)



表46 ピアサポーターによる病院への訪問を実施している地域活動支援センターの属性(n=42)

|              | n  | 平均   | 標準偏差 | 中央値 | 最小値 | 最大値 | 合計  |
|--------------|----|------|------|-----|-----|-----|-----|
| ピアサポーターの数    | 41 | 3.5  | 3.0  | 2   | 0   | 12  | 145 |
| 被訪問者数        | 32 | 25.0 | 63.7 | 2.5 | 0   | 260 | 800 |
| 延べ訪問回数       | 31 | 30.6 | 59.4 | 12  | 0   | 300 | 950 |
| 待遇           |    |      |      |     |     |     |     |
| 最低賃金以上の賃金支払い | 27 | 3.7  | 3.1  | 2   | 0   | 10  | 101 |
| 有償のボランティア    | 6  | 2.8  | 3.8  | 1   | 0   | 9   | 17  |
| 必要経費のみ       | 6  | 1.7  | 2.4  | 0.5 | 0   | 6   | 10  |
| 支払い無し        | 6  | 1.3  | 1.2  | 1.5 | 0   | 3   | 8   |
| 研修           |    |      |      |     |     |     |     |
| 養成講座を開いている   | 12 | 5.7  | 5.9  | 4   | 0   | 21  | 68  |
| 他団体の養成講座受講   | 18 | 3.6  | 3.2  | 2.5 | 0   | 10  | 65  |
| 研修会開催        | 13 | 4.6  | 3.2  | 4   | 0   | 10  | 60  |
| 育成無し         | 9  | 0.9  | 0.8  | 1   | 0   | 2   | 8   |

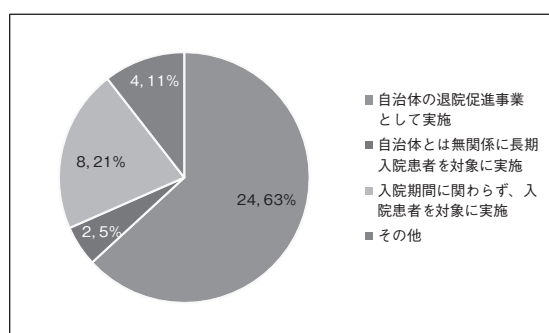


図 45 退院促進事業との関連 (n=38)

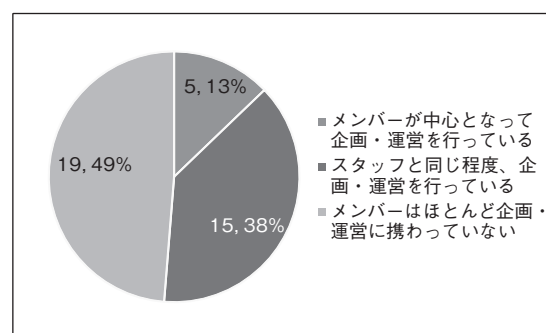


図 47 活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方 (n=39)

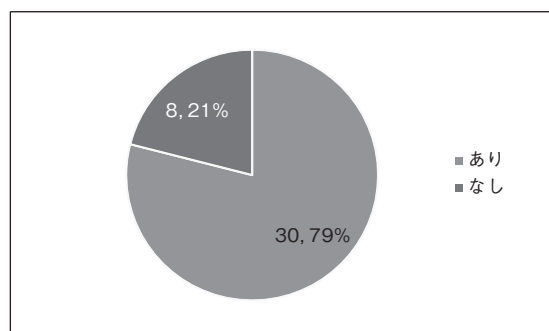


図 46 フォロアップのためのメンバーミーティングの有無 (n=38)

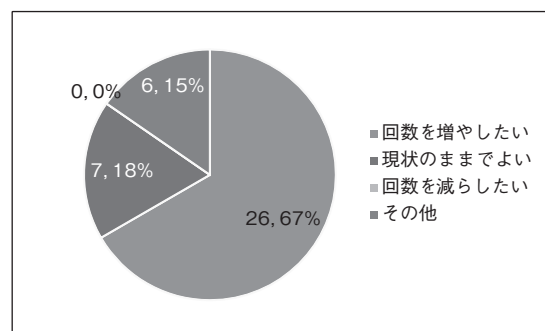


図 48 今後の活動に対する意向 (n=39)

表47 ピアサポーターによる病院への訪問の実施にあたって感じている困難 (n=42)

|                     | 事業所数 |       |
|---------------------|------|-------|
|                     | n    | %     |
| 支援を希望する入院患者が少ない     | 12   | 28.6% |
| なり手が少ない             | 11   | 26.2% |
| 守秘義務の徹底             | 10   | 23.8% |
| 継続的な訪問につながりにくい      | 9    | 21.4% |
| 代役をみつけることが難しい       | 9    | 21.4% |
| 運営に携わるスタッフの負担       | 8    | 19.0% |
| 家族など他者に断られることがある    | 6    | 14.3% |
| 活動に対する代価を支払えない      | 6    | 14.3% |
| 支援対象者に対する関わり方がわからない | 5    | 11.9% |
| 訪問時の金銭的負担           | 2    | 4.8%  |
| サポーターと支援対象者とのトラブル   | 2    | 4.8%  |
| その他                 | 0    | 0.0%  |

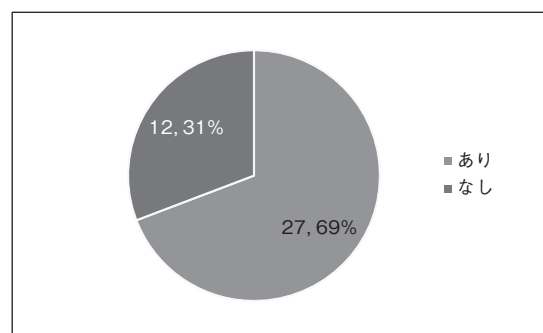


図 49 フォローアップのためのメンバーミーティングの有無 (n=39)

表48 1対1でのピアカウンセリングを実施している地域活動支援センターの属性 (n=45)

|                  | n  | 平均   | 標準偏差  | 中央値 | 最小値 | 最大値 | 合計   |
|------------------|----|------|-------|-----|-----|-----|------|
| ピアカウンセラーの数       | 42 | 3.2  | 2.9   | 2   | 0   | 15  | 134  |
| カウンセリングを実施した実人数  | 29 | 19.7 | 25.9  | 8   | 0   | 100 | 571  |
| カウンセリングを実施した延べ人数 | 33 | 77.7 | 102.1 | 29  | 0   | 367 | 2565 |
| 待遇               |    |      |       |     |     |     |      |
| 最低賃金以上の賃金支払い     | 19 | 2.3  | 1.8   | 2   | 0   | 8   | 44   |
| 有償のボランティア        | 16 | 2.8  | 2.8   | 2   | 0   | 9   | 45   |
| 必要経費のみ           | 9  | 1.8  | 2.4   | 1   | 0   | 7   | 16   |
| 支払い無し            | 9  | 1.3  | 1.6   | 1   | 0   | 4   | 7    |
| 研修               |    |      |       |     |     |     |      |
| 養成講座を開いている       | 12 | 3.1  | 3.1   | 2.5 | 0   | 9   | 37   |
| 他団体の養成講座受講       | 26 | 2.3  | 1.7   | 2   | 0   | 7   | 60   |
| 研修会開催            | 11 | 2.8  | 2.2   | 2   | 0   | 7   | 31   |
| 育成無し             | 9  | 1.3  | 1.6   | 1   | 0   | 4   | 12   |

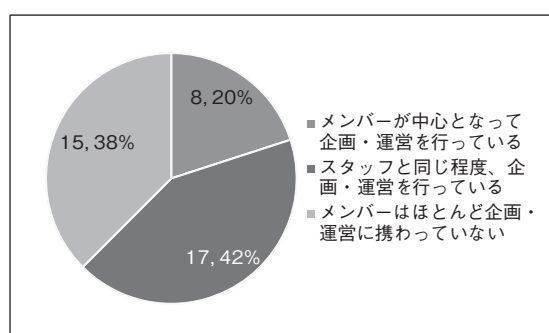


図 50 活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方 (n=40)

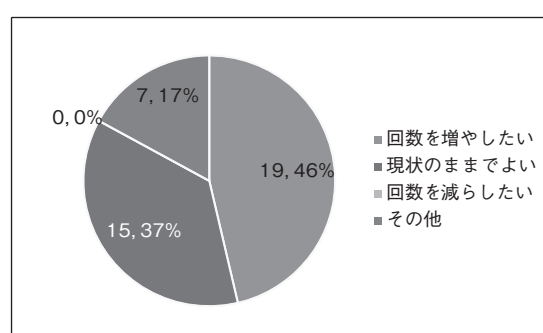


図 51 今後の活動に対する意向 (n=41)

表49 1対1でのピアカウンセリングの実施にあたって感じている困難 (n=45)

|                       | 事業所数 |       |
|-----------------------|------|-------|
|                       | n    | %     |
| カウンセリングの技術を身につけるのが難しい | 24   | 53.3% |
| なり手が少ない               | 12   | 26.7% |
| 運営に携わるスタッフの負担         | 11   | 24.4% |
| 活動に対する代価を支払えない        | 10   | 22.2% |
| カウンセリングを希望する方が少ない     | 9    | 20.0% |
| カウンセラーの体調悪化           | 9    | 20.0% |
| 守秘義務の徹底               | 8    | 17.8% |
| クライアントとカウンセラーのトラブル    | 7    | 15.6% |
| 暴力                    | 0    | 0.0%  |
| セクシャル・ハラスメント          | 0    | 0.0%  |
| その他                   | 4    | 8.9%  |

表50 ピアサポートグループを作っている地域活動支援センターの属性 (n=90)

|                 | n  | 平均    | 標準偏差  | 中央値 | 最小値 | 最大値  | 合計   |
|-----------------|----|-------|-------|-----|-----|------|------|
| メンバーの数          | 84 | 11.2  | 12.5  | 6   | 0   | 60   | 940  |
| グループ活動に参加した実人数  | 82 | 23.2  | 31.3  | 12  | 0   | 200  | 1899 |
| グループ活動に参加した延べ人数 | 84 | 178.1 | 605.7 | 65  | 0   | 5400 | 7401 |
| 待遇              |    |       |       |     |     |      |      |
| 最低賃金以上の賃金支払い    | 22 | 2.3   | 4.2   | 1   | 0   | 20   | 50   |
| 有償のボランティア       | 19 | 2.3   | 2.8   | 2   | 0   | 9    | 43   |
| 必要経費のみ          | 14 | 7.0   | 16.3  | 0   | 0   | 50   | 98   |
| 支払い無し           | 39 | 8.5   | 9.6   | 6   | 0   | 45   | 332  |
| 研修              |    |       |       |     |     |      |      |
| 養成講座を開いている      | 19 | 5.1   | 5.5   | 3   | 0   | 18   | 96   |
| 他団体の養成講座受講      | 25 | 3.9   | 9.8   | 2   | 0   | 50   | 98   |
| 研修会開催           | 19 | 5.8   | 7.3   | 4   | 0   | 30   | 110  |
| 育成無し            | 28 | 7.6   | 11.7  | 3.5 | 0   | 52   | 213  |

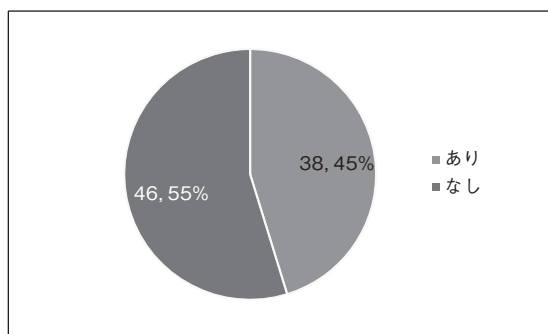


図 52 フォローアップのためのメンバーミーティングの有無 (n=84)

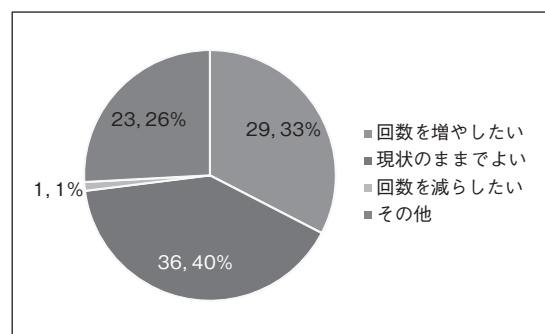


図 54 今後の活動に対する意向 (n=89)

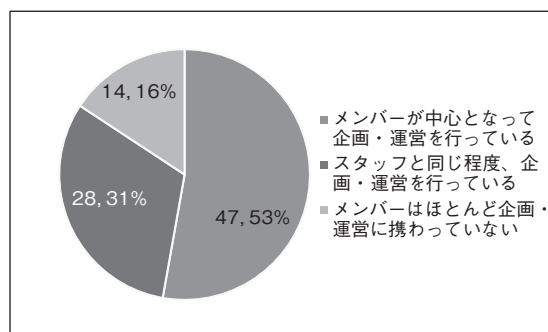


図 53 活動の企画・運営に対するメンバーの関わり方 (n=89)

表51 ピアサポートグループを実施するにあたって感じている困難 (n=86)

|                       | 事業所数 |       |
|-----------------------|------|-------|
|                       | n    | %     |
| グループワークの技術を身につけるのが難しい | 38   | 42.2% |
| 参加希望者が少ない             | 37   | 41.1% |
| メンバーの体調悪化             | 33   | 36.7% |
| メンバー同士のトラブル           | 17   | 18.9% |
| スタッフの負担               | 15   | 16.7% |
| 守秘義務の徹底               | 15   | 16.7% |
| 活動に対する対価を十分に支払えない     | 14   | 15.6% |
| その他                   | 16   | 17.8% |

表52 クラブハウスモデルを知った経緯 (n=85)

|                    | n  | %     |
|--------------------|----|-------|
| テレビや書籍で知った         | 23 | 22.1% |
| 講演会で知った            | 13 | 12.5% |
| 見学したことがある          | 11 | 10.6% |
| 作業所や社会復帰施設で知った     | 9  | 8.7%  |
| 行政の情報から知った         | 2  | 1.9%  |
| 当事者団体、患者会で知った      | 2  | 1.9%  |
| 病院、クリニックなど医療機関で知った | 1  | 1.0%  |
| 家族会で知った            | 0  | 0.0%  |
| その他                | 12 | 11.5% |

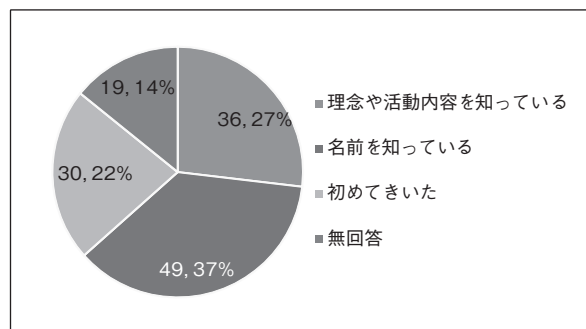


図 55 クラブハウスモデルの認知度 (n=134)

表53 地域活動支援センターの活動とクラブハウスモデルとの共通点 (n=134)

|                            | 事業所数 |       |
|----------------------------|------|-------|
|                            | n    | %     |
| いつでも退会、復帰可能                | 75   | 56.0% |
| 誰でもメンバーになれる                | 55   | 41.0% |
| 施設は公共交通機関を利用しやすい場所に立地している点 | 51   | 38.1% |
| 生活全体の支援                    | 33   | 24.6% |
| すべての空間がメンバーと職員に開放されている     | 19   | 14.2% |
| サービスの評価                    | 13   | 9.7%  |
| 運営はスタッフとメンバーの合議により決定       | 11   | 8.2%  |
| 独立した理事会                    | 11   | 8.2%  |
| クラブハウス内の仕事をメンバー全員で分担して行う点  | 10   | 7.5%  |
| 規約の共有                      | 10   | 7.5%  |
| 世界共通のサービスモデル               | 3    | 2.2%  |
| 過渡的雇用                      | 3    | 2.2%  |
| なし                         | 5    | 3.7%  |

## 考察

### 結果の解釈における注意点

#### ピアサポートの定義について

本調査では、精神障害者によるピアサポートをピアサポーターによる生活支援、ピアサポーターによる病院への訪問、1対1でのピアカウンセリング、ピアサポートグループという4つに分けて、自治体ごとの実施状況、地域活動支援センターでの実施状況を調べた。この分類では、特にピアサポートの担い手と受け手が精神障害者であることに着目している。一方で、ピアサポートにおいては、精神障害という体験を共有することから生まれる共感、そしてその共感をベースにした関係性の構築、ピアサポートを受ける者のリカバリーはもちろん、ピアサポーター自身のリカバリーにもつながる点などが重視されるが、そうした点は必ずしも反映されていない。したがって、精神障害者が担い手と受け手ではあるが、ピアサポートにおいて重要とされる考え方やマネジメントの仕方を取り入れていないような活動も本研究の分類には含まれることになる。(ピアサポート活動をどう定義するかによってその度合いは変わるが)ピアサポート活動を多めに見積もる可能性があるといえるだろう。

また、今回の分類には入らない形態のピアサポート活動が存在する可能性も考えられる。分類を作るに当たっては、研究班のメンバーを始め、さまざまな専門家の考えを参考にして、可能な限り幅広くピアサポート活動について尋ねられるようにしたもの、「その他のピアサポート活動」について尋ねた設問に対して少なからず回答が得られており、これらの回答内容を今後の調査研究においてどのように取り扱うか検討する必要があるだろう。加えて、本研究で分類したような形にはなっていないサポートについても考慮しなければならない。「ピアサポーターによる生活支援」や「1対1でのピアカウンセリング」のように明確な形にはななくても、精神障害という体験を共有する者同士が心理的に支えあったり、困ったときには力になったりするような関係は、精神障害者のリ

カバリーにおいて重要な役割を果たすことが考えられる。本研究の分類ではこうした「現在進行形の」活動を捉えることが難しい。以上の点を考えると、ピアサポート活動のついて少なく見積もっている可能性も考えられる。調査票の最後に設定した自由記述欄に「今回の分類では答えにくい」と記した回答者もあり、ピアサポートの分類については今後も継続的に検討していかなければならないといえる。

#### 各調査の回収率について

各調査の回収率は自治体調査で49.7% (1741自治体中866自治体)、地活1次調査では40.7% (2687事業所中1093事業所)、地活2次調査では28.2% (475事業所中134事業所)であった。自治体調査、地活1次調査に比して、地活2次調査の回収率が低かったのは質問の量が多かったことが影響したものと思われる。また、調査の時期が1月から2月となり、他の調査研究と重なってしまったことも影響したかもしれない。結果の解釈については慎重にならなければならないだろう。

#### 各調査の回答の偏りについて

ここでは全数調査であった自治体調査と地活1次調査の回答の偏りについて考察する。まず、自治体調査の都道府県別回収率をみると、石川県、和歌山県、徳島県、鹿児島県で20%台、福島県、滋賀県、香川県、沖縄県、福井県、高知県で30%台であった。これらの県でピアサポートの実施数を低く見積もっている可能性は否定できない。ピアサポートの実施状況を都道府県別に示したが、結果の活用には注意を要する。

地活1次調査については、主たる障害が精神障害である利用者が知的障害、身体障害の利用者に比べて多かった。地活1次調査の内容自体は精神障害者の利用の多い地域活動支援センターでなくとも回答できるものであったが、研究の課題名が「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」となっていることから、知的障害者、身体障害者が主に利用している地域活動支援センターでは回答が控えられた可能性は否定できない。ただし、



地域活動支援センターには精神障害者の作業所が移行したケースが多かったため、元来地域活動支援センターの利用者の中では精神障害の利用者が多くなっている可能性も考えられる。

### ピアサポートの実施状況について 各調査における実施率

ピアサポーターによる生活支援について、自治体調査では866自治体中43自治体(5.0%)が現在実施されていると回答し、地活1次調査では1093事業所中137事業所(12.5%)が実施していると回答した。ピアサポーターによる病院への訪問について、自治体調査では41自治体(4.7%)が現在実施されていると回答し、地活1次調査では97事業所(8.9%)が実施していると回答した。1対1でのピアカウンセリングについて、自治体調査では54自治体(6.2%)、地活1次調査では125事業所(11.4%)が実施していると回答した。ピアサポートグループについて、自治体調査では100自治体(11.5%)、地活1次調査では165事業所(15.1%)が実施していると回答した。ピアサポーターによる生活支援、ピアサポーターによる病院への訪問、1対1でのピアカウンセリングについてはおよそ20自治体中1自治体の割合で実施されており、地域活動支援センター10ヶ所中1ヶ所の割合で実施されている。そして、ピアサポートグループについては9自治体中1自治体の割合で、地域活動支援センター6～7事業所中1事業所の割合で実施されているといえる。割合自体は多いとはいえないものの、ピアサポート活動が全国に広まりを見せていること、そして地域活動支援センターの活動内容の一つとして位置付けられつつあることが明らかになったといえる。

### 都道府県別の実施状況

自治体調査において各ピアサポート活動を実施している自治体の多い都道府県上位5つを合計すると、ピアサポーターによる生活支援では全体の52.6%、ピアサポーターによる病院への訪問では全体の68.4%、1対1でのピアカウンセリングでは全体の50.0%、ピアサポートグループでは全体の42.0%を占めていた。地活1次調査において各ピアサポート活動を実施している事業所の多い都道府県上位5つを合計すると、

ピアサポーターによる生活支援で全体の33.6%、ピアサポーターによる病院への訪問で全体の49.5%、1対1でのピアカウンセリングで全体の42.4%、ピアサポートグループで全体の34.5%を占めていた。これらの値をみると、ピアサポーターによる病院への訪問では、他の活動に比べて都道府県別の集中度が高く、分布が偏っていることがみてとれる。この分布の偏りには、ピアサポーターによる病院への訪問と自治体の退院促進事業の関連が影響していると思われる。表8をみると、ピアサポーターによる病院への訪問を行っている事業所のある自治体の58.5%で退院促進事業による入院患者への訪問が行われていた。また、図44をみると、地活2次調査でピアサポーターによる病院への訪問を行っている地域活動支援センターうち63%が自治体の退院促進事業として行っていると回答していた。退院促進事業にピアサポーターによる病院への訪問を積極的に活用している都道府県とそうでない都道府県とでピアサポーターによる病院への訪問の実施状況には大きな開きがあり、それが上記のような分布の偏りとなって現れたことが考えられる。

### 地域活動支援センターの特徴とピアサポート活動の実施状況

地活1次調査をみると、すべてのピアサポート活動を通じて、自治体の規模が大きい地域活動支援センター、相談支援事業を行っている地域活動支援センター、専門職を雇用している地域活動支援センター、相談支援事業を行い、かつ専門職を雇用している地域活動支援センターでピアサポートを行っている傾向があった。また、ピアサポート活動を行っている地域活動支援センターほど、開設後の期間が長く、開所日数が長く、主たる障害が精神障害である利用者数が多く、全利用者に占める精神障害者の割合が高い傾向がみられた。各ピアサポート活動は比較的規模の大きな地域活動支援センターで実施されている傾向がみられたといえる。また、ピアサポーターによる病院への訪問とピアサポートグループに関しては、それぞれの活動を実施している地域活動支援センターほど常勤職員数が多い傾向がみられた。この2つの活動形態が特に他の2つの活動に比べて職員を要する

とはいきれないが、職員数が多い方がこれら2つの活動を実施しやすいという関係はあるかもしれない。

また、活動内容とピアサポートの実施状況を比べると、下請け作業、自主製品の販売を行っている地域活動支援センターでは、行っていない地域活動支援センターに比べてピアサポーターによる病院への訪問が行われていないという傾向がみられた。ピアサポーターによる病院への訪問のような活動と下請け作業、自主製品の販売といった活動を地域活動支援センターの枠内で両立させるのは難しいことを示唆しているのかもしれない。ただし、本研究は縦断研究ではないため、下請け作業、自主製品の販売を行っていたためにピアサポート活動を行っていないのか、ピアサポート活動をやっているために下請け作業、自主製品の販売を行っていないのか、前後関係や因果関係に言及することは不可能である。また、そもそもの成立経緯が地域活動支援センターによって大きく異なっており、そうした経緯が現在の活動を分ける要因になっている可能性も大いに考えられる。

#### ピアサポート活動の類型による実施状況の違い

表20をみると、ピアサポートグループだけをやっているという地域活動支援センターは63ヶ所と多くなっていた。また、ピアサポートグループと他の3つの活動のクロス集計をみると、ピアサポートグループは作られているがピアサポーターによる生活支援は行われていない、ピアサポートグループは作られているがピアサポーターによる病院への訪問は行われていない、ピアサポートグループは作られているが1対1でのピアカウンセリングは行われていないという地域活動支援センターが両方とも行っている地域活動支援センターよりも多くなっていた。これはピアサポーターによる生活支援とピアサポーターによる病院への訪問、ピアサポーターによる生活支援と1対1でのピアカウンセリングの組み合わせとは異なる結果である。こうした結果からは、ピアサポートグループが他の3つの活動とは少し異なる特徴をもっていることが推察される。地活2次調査のピアサポーターの待遇面に関する項目をみると、ピアサポートグループでは他の3つの活動に比べて最

低賃金以上の支払いを受けて働いている者や有償ボランティアとして働いている者が少なく、支払い無しという者が多かった。また、フォローアップのためのメンバーミーティングに関する結果をみると、ピアサポーターによる生活支援では68%、ピアサポーターによる病院への訪問では79%、1対1でのピアカウンセリングでは69%の地域活動支援センターが「行っている」と回答していたのに対して、ピアサポートグループでは45%の地域活動支援センターしか「行っている」と回答していなかった。さらに、企画・運営へのメンバーの関与度についての結果をみると、「メンバーが中心となって企画・運営を行っている」と「スタッフと同じ程度、企画・運営を行っている」を合わせた回答割合が、それぞれ61%、51%、62%、84%であり、ピアサポートグループにおいて高くなっていた。このことから、ピアサポートグループは他の3つの活動に比べて「支払いを受けて働いている者は少なく、フォローアップミーティングは行われていないが、企画・運営へのピアサポーターの関わりは強い」活動であるといえる。今回の研究では4分類の1つとして扱っているが、他の3つの活動とは性質が異なる可能性が示唆されたといえる。

#### ピアサポートを実施していく上での困難について

ここからは特に地活2次調査の結果から、ピアサポートを実施していく上で課題になることについて考察する。まず、「ピアサポーターのなり手(ピアカウンセラー、ピアサポートグループの参加者)が少ない」という課題がピアサポーターによる生活支援では47.1%、ピアサポーターによる病院への訪問では26.2%、1対1でのピアカウンセリングでは26.7%、ピアサポートグループでは41.1%の地域活動支援センターから指摘された。ピアサポート活動が全国に広がりつつある中で、ピアサポートを担う人材の確保には難しい面があることが明らかになったといえる。それでは精神障害者がピアサポートに携わる上でどのような障壁があるのだろうか。

まず、ピアサポートにおけるスキルの問題が挙げられる。ピアサポーターによる生活支援で

は11.8%、ピアサポーターによる病院への訪問では11.9%が「支援対象者に対する関わり方がわからない」と回答しており、1対1でのピアカウンセリングでは53.3%が「カウンセリングの技術を身につけるのが難しい」、ピアサポートグループでは42.2%が「グループワークの技術を身につけるのが難しい」と回答していた。こうした関わり方やカウンセリングの技術、グループワークの技術をどのように身につけ、磨いていくのかはピアサポートを行う上で最も重要な課題の一つである。一方で、研修に関する設問からは、こうしたスキルを身につけるために様々な研修が行われており、そこに少なからぬピアサポーターが参加していることが明らかになった。今後こうした研修の実施状況やその内容についても精査していく必要があるだろう。

第二に、サポーターと支援対象者のトラブルが挙げられる。ピアサポーターによる生活支援で11.8%、ピアサポーターによる病院への訪問で4.8%、1対1でのピアカウンセリングで15.6%の事業所がこのトラブルを困難として挙げている。また、ピアサポートグループでは18.9%が「メンバー同士のトラブル」を困難として挙げている。こうしたトラブルの中には顕在化しないものも多いことを考えると、実際にはより多くの地域活動支援センターでこうした問題が起きている可能性があるといえる。こうしたトラブルはピアサポーターの負担となり、やる気を失わせたり、体調を悪化させたりするかもしれない。それを防ぐための手段の1つが、フォローアップのためのミーティングである。このミーティングでピアサポーターの抱えている悩みや不安を共有し、解決に向けて話し合うことができれば、ある程度トラブルを解消したり、トラブルから来る心理的負担を軽減したりすることができるとも思われる。そうした話し合いが行われていることは、今回のミーティングの内容に関する自由記述欄に対する回答からも明らかであった。

一方、このフォローアップミーティングを行う上でも課題となるのが守秘義務である。精神障害のピアサポートでは支援対象者のかなり個人的な問題についても知ることとなる。そうした情報が気軽に漏らされてしまったら、ピアサポーターに対する信頼は失われ、ピアサポート

の価値そのものを貶めることになりかねない。支援対象者の情報に関しては慎重な取り扱いが求められる。一方で、ピアサポートを行っていく上ではピアサポーター自身が悩みや不安を抱え込むのではなく、スタッフや他のピアサポーターとそれを共有することも重要である。共有のためには、ある程度支援対象者の情報を開示しなければならないが、場合によってはそうした情報の開示そのものが守秘義務の違反にあたることもある。誰に対してどのような情報なら開示してもよいのか、といったことが明確でないとピアサポーター自身が迷ってしまうかもしれない。こうした点については、事業所単位で基準を設定していくことが必要だろう。

## まとめ

本研究では、日本全国の自治体、地域活動支援センターを対象に精神障害者のピアサポート活動に関する調査を実施した。これにより、ピアサポーターによる生活支援、ピアサポーターによる病院への訪問、1対1でのピアカウンセリングについてはおよそ20自治体中1自治体の割合で実施されており、地域活動支援センター10ヶ所中1ヶ所の割合で実施されていること、そして、ピアサポートグループについては9自治体中1自治体の割合で、地域活動支援センター6～7事業所中1事業所の割合で実施されていることが明らかになった。ピアサポート活動が全国に広まりを見せていること、そして地域活動支援センターの活動内容の一つとして位置付けられつつあることが明らかになったといえる。一方で、ピアサポートを行っている地域活動支援センターに対して詳細な質問紙調査を行ったところ、「ピアサポートのなり手が少ない」、「スキルを身につけるのが難しい」、「サポーターと支援対象者のトラブル」、「守秘義務の徹底」といった課題が広く認識されていることも明らかになった。今後は、こうした問題がピアサポーターに与える影響について明らかにするとともに、解決するための具体的な工夫や取り組みについても明らかにしていくことが求められる。



各自治体担当者各位

**「精神障がい者のピアサポート事業とピアサポート育成事業の実施状況に関する調査」  
にご協力下さい**

本調査は、全国の自治体における精神障がい者を対象としたピアサポート活動の実施状況を明らかにすることで、今後の普及の可能性、普及に当たって必要な支援態勢を提言することを目的としています。ピアサポート活動は精神障がい者の地域生活・地域移行を支え、QOLの向上を図る上で大変重要な活動であり、全国への普及展開が期待されています。しかし、その活動実態については情報が少ないのが現状です。本調査で全国での実施状況が明らかになれば、今後の政策や研究の大いに資することが期待できます。つきましては、貴自治体で地域精神保健福祉を担当されている方に、同封の質問紙にご回答いただければ幸いに存じます。

なお、本調査の結果は、報告書や専門誌等での発表、HPへの掲載等を予定しておりますが、集計された数値や記載していただいた内容のみを発表いたします。個人名や自治体名が特定されることはありません。

ご回答いただいた質問紙は、**12月15日までに、特定非営利活動法人メンタルケア協議会（FAX番号：03-5352-9030）宛にFAXにてお送りいただければと思います。**ご多忙の折に大変恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

平成21年11月16日

社会福祉法人 JHC 板橋会  
理事長 田村 文栄

註1.

本調査は、特定非営利活動法人メンタルケア協議会が、社会福祉法人JHC板橋会から委託を受けて実施しています。研究資金は平成21年度障害者自立支援研究プロジェクト「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」から拠出されています。

問い合わせ先： 特定非営利活動法人 メンタルケア協議会  
自立支援研究プロジェクト 2009 東京事務局  
担当：西村由紀、大久保豪

住所：東京都渋谷区代々木 1-55-14-1006

電話：03-6300-0074 Email：research@npo-jam.org

## 資料：質問紙への回答方法について

- 貴自治体で地域精神保健福祉を担当されていて、精神障がい者のピアサポート活動に詳しい方にご回答をお願いいたします。
- 調査では、下記の活動について貴自治体での実施の有無、実施予定の有無を伺っています。下記の活動例をお読みいただき、質問紙にご回答をいただければ幸いです。
- ご回答いただいた質問紙はメンタルケア協議会（FAX番号：03-5352-9030）までFAXにて12月15日までにお送り下さい。

### 活動1 ピアサポーターによる生活支援

貴センターに登録している障がいのある方が、当事者自身、家族、授産施設、相談支援事業所、グループホーム、デイケア等の依頼を受けて、または自主的に、障がいのある方のご自宅を訪問して、話し相手になったり、自宅の清掃や家事支援を行ったり、外出支援を行ったりする活動。ピア（ホーム）ヘルパーの活動は含みますが、入院されている方への訪問活動は活動2でお聞きしますので除いてお答えください。

### 活動2 ピアサポーターによる病院への訪問

貴センターに登録している障がいのある方が、当事者、家族、病院等の依頼を受けて、または自主的に、近隣病院に入院している障がいのある方の元を訪れ、入院生活や地域生活の相談に乗ったりする活動。

### 活動3 1対1でのピアカウンセリング

貴センターに登録している障がいのある方が、当事者自身、家族等の依頼を受けて、または自主的に、近隣に住む障がいのある方（センター利用者を含む）の日常生活に関する相談や人間関係に関する相談、就労に関する相談等を受ける活動。ここでは1対1などのフォーマルな形式でのカウンセリングに限ってお答えいただき、グループ・ミーティング形式での相談については活動4に含めてお答えください。

### 活動4 ピアサポートグループ

貴センターに登録している障がいのある方がピアサポートグループを結成し、定期的にグループミーティングを行って、人間関係の悩みや生活上の悩みなどの相談を行ったり、ピアサポーターによるパソコン教室や手芸教室など、自主グループ活動を行ったりする活動。

## 精神障がい者のピアサポート事業とピアサポート育成事業の実施状況に関する調査

問 1 貴自治体にある事業所では、2008年4月から2010年3月までの間に、精神障がい者によるピアサポート活動が行われましたか、あるいは行う予定はありますか。行われなかった場合は「0」を、行われた場合は「1」を、行う予定がある場合は「2」をお選びの上、**事業所数**をお答えください（1，2は複数回答可）。また、差し支えなければ、事業を実施された法人の名称とご連絡先をお教えてください。なお、ここでいう「精神障がい者によるピアサポート」とは、精神障がい者が別の精神障がい者を支援することを指します。精神障がい者が知的障がい者や身体障がい者を支援する場合は含みません。**各活動の具体的な内容については別紙資料をご覧ください。**

|                         | 行われ<br>ない | 行われた             | 行う予定             | 実施法人名  |
|-------------------------|-----------|------------------|------------------|--------|
| ピアサポーターによる生活支援          | 0         | 1. 行われた<br>( )ヶ所 | 2. 行う予定<br>( )ヶ所 | 「<br>」 |
| ピアサポーターによる病院への訪問        | 0         | 1. 行われた<br>( )ヶ所 | 2. 行う予定<br>( )ヶ所 | 「<br>」 |
| 1対1でのピアカウンセリング          | 0         | 1. 行われた<br>( )ヶ所 | 2. 行う予定<br>( )ヶ所 | 「<br>」 |
| ピアサポートグループ              | 0         | 1. 行われた<br>( )ヶ所 | 2. 行う予定<br>( )ヶ所 | 「<br>」 |
| その他 ※具体的にお書きください<br>( ) | 0         | 1. 行われた<br>( )ヶ所 | 2. 行う予定<br>( )ヶ所 | 「<br>」 |

問 2 現在、貴自治体にある事業所では退院促進事業の一環として精神障がい者ピアサポーターによる訪問活動を行っていらっしゃいますか。行っていない場合は、差し支えなければ法人名をお教えてください。

0. 退院促進事業を実施していない

1. 精神障がい者ピアサポーターによる訪問を行っている（法人名 「  
」）

2. かつて行っていたが、現在では行っていない

3. 退院促進事業は行っているが、精神障がい者ピアサポーターによる訪問は行っていない

4. わからない

問 3 貴自治体では、精神障がい者ピアサポートを担う人材の育成に対して何らかの公的な支援を行っていらっしゃいますか。下記のうち、**当てはまるもの全てに○をつけてください**。支援していらっしゃる場合は、差し支えなければ事業所数をお教えてください。

0. 行っていない

1. ピアサポートセンター等設置推進事業に基づく資金援助を行っている（事業所数 件）

2. 自治体独自に資金援助を行っている（事業所数 件）

3. 人材育成研修に使う場所を提供している（事業所数 件）

4. その他（ ）

ご回答を頂き、誠に有難うございました。空欄が無いかご確認の上、メンタルケア協議会へFAX（03-5352-9030）でお送りください。また、お手数ですが、下記にご回答頂いた方のご所属と連絡先、お名前をお書きください。

|            |        |
|------------|--------|
| ご所属 <自治体名> | <部署名>  |
| お名前        | 電話 ( ) |

アンケート送付先 FAX 番号:03-5352-9030



地域活動支援センター施設長各位

**「地域活動支援センターの活動内容に関する調査」  
にご協力下さい**

本調査は、全国の地域活動支援センターにおける活動とピアサポート活動の実施状況を明らかにすることを目的にしています。ピアサポート活動は精神障がいのある方の地域生活・地域移行を支え、QOLの向上を図る上で大変重要な活動であり、全国への普及展開が期待されています。しかし、その活動実態については情報が少ないのが現状です。また、活動を支える制度的な基盤も十分ではなく、今後の普及展開のためには、どのような支援策が必要なのかについて検討していく必要があります。本調査で地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の実施状況が明らかになれば、今後の政策や研究の基礎的な資料を作成する上で大変貴重な資料となることが期待できます。つきましては、貴センターの活動全体、特にピアサポート活動に詳しい方に、同封の質問紙にご回答いただければ幸いに存じます。

なお、本調査の結果は、報告書や専門誌等での発表、HPへの掲載等を予定しておりますが、集計された数値や記載していただいた内容のみを発表いたします。個人名やセンター名が特定されることはございません。また、必ずご回答いただかなければならないものではありませんが、可能な範囲でご回答いただければと考えています。

ご回答いただいた質問紙は、同封の返送用封筒にて、**1月12日（火）までに、特定非営利活動法人メンタルケア協議会宛**にお送りください。ご多忙の折に大変恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 11 月 16 日

社会福祉法人 JHC 板橋会  
理事長 田村 文栄

註 1.

本調査は、特定非営利活動法人メンタルケア協議会が、社会福祉法人JHC板橋会から委託を受けて実施しています。研究資金は平成21年度障害者自立支援研究プロジェクト「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」から拠出されています。

問い合わせ先： 特定非営利活動法人 メンタルケア協議会  
自立支援研究プロジェクト 2009 東京事務局  
担当：西村由紀、大久保豪

住所：東京都渋谷区代々木 1-55-14-1006

電話：03-6300-0074 Email：research@npj-jam.org

## 資料：質問紙への回答方法について

- 貴センターの活動全体を把握されていて、かつピアサポート活動の実施状況についても詳しい方にご回答をお願いいたします。
- 調査では、下記の活動について貴センターでの実施の有無を伺っています。下記の活動例をお読みいただき、質問紙にご回答をいただければ幸いです。
- ご回答いただいた質問紙は**12月15日までに**、同封の返送用封筒にてお送り下さい。

### 活動1 ピアサポーターによる生活支援

貴センターに登録している障がいのある方が、当事者自身、家族、授産施設、相談支援事業所、グループホーム、デイケア等の依頼を受けて、または自主的に、障がいのある方のご自宅を訪問して、話し相手になったり、自宅の清掃や家事支援を行ったり、外出支援を行ったりする活動。ピア（ホーム）ヘルパーの活動は含みますが、入院されている方への訪問活動は活動2でお聞きしますので除いてお答えください。

### 活動2 ピアサポーターによる病院への訪問

貴センターに登録している障がいのある方が、当事者、家族、病院等の依頼を受けて、または自主的に、近隣病院に入院している障がいのある方の元を訪れ、入院生活や地域生活の相談に乗ったりする活動。

### 活動3 1対1でのピアカウンセリング

貴センターに登録している障がいのある方が、当事者自身、家族等の依頼を受けて、または自主的に、近隣に住む障がいのある方（センター利用者を含む）の日常生活に関する相談や人間関係に関する相談、就労に関する相談等を受ける活動。ここでは1対1などのフォーマルな形式でのカウンセリングに限ってお答えいただき、グループ・ミーティング形式での相談については活動4に含めてお答えください。

### 活動4 ピアサポートグループ

貴センターに登録している障がいのある方がピアサポートグループを結成し、定期的にグループミーティングを行って、人間関係の悩みや生活上の悩みなどの相談を行ったり、ピアサポーターによるパソコン教室や手芸教室など、自主グループ活動を行ったりする活動。

## 地域活動支援センターの活動内容に関する調査

【ご回答の前に必ずお読み下さい】

- 本調査は、全国の地域活動支援センターにお送りしております。万が一該当しない場合は、大変申し訳ありませんが、余白にその旨と施設名、ご住所を記載してご返送頂ければ幸いです。
- 本調査は、貴センターにお勤めの方で、貴センターの活動内容全体に詳しい方にご回答をお願いいたします。
- 選択肢はもっとも近いものを選んで、全ての質問にご回答いただければと思います。
- ご記入がお済みになりましたら、返送用封筒にて **12月15日（火）**までにご投函下さい。

## 1. 貴センターについて伺います

問 1 所在地の都道府県をお答え下さい。

( ) 都・道・府・県

問2 貴センターのある自治体（市町村または東京 23 区）の人口規模をお答え下さい。

1. 1 万人未満                      2. 1 万人以上～5 万人未満                      3. 5 万人以上～10 万人未満  
4. 10 万人以上～50 万人未満                      5. 50 万人以上～100 万人未満                      6. 100 万人以上

問3 貴センターでは相談支援事業を行っていらっしゃいますか。

1. 行っている                      2. 行う予定である                      3. 行っていない

問4 貴センターでは精神保健福祉士など保健医療福祉の専門資格を有する方を雇用していらっしゃいますか。

1. 雇用している                  2. 雇用する予定である                  3. 雇用していない

問4 地域活動支援センターの認定を受けた時期をお答え下さい。

平成（        ）年（        ）月

問5 貴センターの設置主体について当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 社会福祉法人      2. 医療法人      3. 特定非営利活動法人      4. 社団法人  
5. 財団法人      6. 社会福祉協議会      7. 都道府県・市町村      8. その他（                      ）

問6 2009年9月の開所日数をお答え下さい。(半日は0.5日として計算)

日

問7 2009年9月に来所または訪問された延べ利用者数を障がい種別毎にお答え下さい(電話相談のみの利用は除く)。なお、0名の場合は回答欄に「0名」とお書き下さい。

|                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 主たる障がいが精神障がいの方 | 主たる障がいが知的障がいの方 | 主たる障がいが身体障がいの方 |
| ( 名 )          | ( 名 )          | ( 名 )          |

問8 現在貴センターにお勤めの方の人数をお答え下さい。なお、0名の場合は回答欄に「0名」とお書き下さい。

なお、非常勤職員は常勤換算でお答え下さい（週1日勤務されている方は0.2名として計算）。

|      |             |
|------|-------------|
| 常勤職員 | 非常勤職員（常勤換算） |
| （ 名） | （ 名）        |

裏の設問にもお答えください

地域活動支援センター施設長各位

**「地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の実態調査」  
にご協力下さい**

本質問紙は、2009年11月から12月にかけて行った調査で、精神障害者を対象としたピアサポート活動を実施しておられるとご回答くださった地域活動支援センターにお送りしています。前回の調査では、地域活動支援センターの活動全体とピアサポート活動の実施状況について伺いましたが、本調査ではピアサポート活動の実施状況やサポーターの育成状況、活動の運営方法などについて詳しく伺っています。つきましては、貴センターで行っているピアサポート活動に詳しい方に、ご回答いただければ幸いに存じます。また、質問紙の最後ではJHC板橋会が取り入れている「クラブハウス・モデル」について伺っています。よろしければそちらにもご回答いただき、忌憚のないご意見をおきかせいただければと思います。なお、ご回答いただいた質問紙は、同封の返送用封筒にて、1月20日（水）までに**特定非営利活動法人メンタルケア協議会宛**にお送りください。

ピアサポート活動は精神障害者にとって、他の活動とは異なる重要性を持つものであり、地域生活や地域移行を支える糧となることが期待されています。一方で、その活動実施に当たっては、サポーターの育成や待遇の改善などさまざまな困難が存在することが指摘されています。本調査で地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の運営状況や活動の困難な点が明らかになれば、今後の政策への提言につなげることが期待できます。ご多忙の折に大変恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月24日

社会福祉法人 JHC 板橋会  
理事長 田村 文栄

註1.

本調査は、特定非営利活動法人メンタルケア協議会が、社会福祉法人JHC板橋から委託を受けて実施しています。研究資金は平成21年度障害者自立支援研究プロジェクト「クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究」から拠出されています。

問い合わせ先： 特定非営利活動法人 メンタルケア協議会  
自立支援研究プロジェクト2009 東京事務局  
担当：西村由紀、大久保豪  
住所：東京都渋谷区代々木1-55-14-1006  
電話：03-6300-0074 Email：research@npo-jam.org

## 地域活動支援センターにおける 精神障害者のピアサポート活動に関する調査

【ご回答の前に必ずお読み下さい】

- 本調査票は、精神障害者のピアサポート活動を実施しておられるとご回答いただいた地域活動支援センターにお送りしております。該当しない場合は、大変申し訳ありませんが、余白にその旨を記載してご返送頂ければ幸いです。
- 全ての質問にお答えいただくわけではなく、貴センターで行っている活動を中心にご回答いただく形をとっております。
- 貴センターにお勤めの方でピアサポート事業に詳しい方にご回答をお願いいたします。選択肢はもっとも近いものを選んで、全ての質問にご回答いただければと思います。
- ご記入がお済みになりましたら、返信用封筒にて 1月20日（水） までにご投函下さい。

### 1. まず、ご回答いただいている方について伺います。

|     |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問 1 | 性別         | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>1. 男性</span> <span>2. 女性</span> </div>                                                                                                                                                                                                     |
| 問 2 | ご年齢        | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>1. 20 歳代</span> <span>2. 30 歳代</span> <span>3. 40 歳代</span> <span>4. 50 歳代</span> <span>5. 60 歳代以上</span> </div>                                                                                                                           |
| 問 3 | センターでの職位   | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>1. 施設長</span> <span>2. 常勤職員</span> <span>3. 非常勤職員</span> <span>4. ボランティア</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>5. 利用者</span> <span>6. その他（                      ）</span> </div> |
| 問 4 | センターでの勤務期間 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>年</span> <span>ヶ月</span> </div>                                                                                                                                                                                                            |

### 2. ここからは精神障害者のピアサポート活動について伺います。

問 5    以下の活動の中で、貴センターで行っていらっしゃるもの全てに○をつけてください。また、活動の期間についてもお答えください。なお、この調査では精神障害を体験した人が、対等の関係性の仲間として相互に支援を提供したり、受けたりする活動のことを「ピアサポート」と呼んでいます。

|                                                 | 実施の有無 | 活動期間       | ご回答いただく頁  |
|-------------------------------------------------|-------|------------|-----------|
| 活動 1    ピアサポーターによる生活支援<br>※ピア（ホーム）ヘルパーの活動も含まれます |       | 年      ヶ月間 | ・・・ p2～p3 |
| 活動 2    ピアサポーターによる病院への訪問                        |       | 年      ヶ月間 | ・・・ p4～p5 |
| 活動 3    1 対 1 でのピアカウンセリング                       |       | 年      ヶ月間 | ・・・ p6～p7 |
| 活動 4    ピアサポートグループ                              |       | 年      ヶ月間 | ・・・ p8～p9 |

それぞれの活動について詳しく伺います。○をつけた活動に該当するページの設問にお答えください。





## 第2部 訪問インタビュー調査(現場からの報告事例)



# 社会福祉法人 てりてりかんぱにい ジョイント・ほっと

## 1. 開設までの歩み

1996(平成8)年、「心の健康と生活の場づくりを考える会」が発足。精神科病院ソーシャルワーカーを中心に有志が集まり、心の病を持つ人もそうでない人も、そこにかかわる一人ひとりが、自分らしくいられる場所、元気になれる場所を作りたいと願い、共同作業所作りに着手した。資金が全くない中、寄付金をお願いしての出発だった。無償で家を提供してくださった家主さん、行政の情報を伝えてくださった保健師さんなど多くの人たちの協力を得て進むことができた。そして、当事者の仲間と一緒に頑張った。1997年1月にジョイント・ほっと運営委員会(7名)が組織され、11月に開所式典を開催。1998年1月に週1回オープンの「お茶の間喫茶」開設。同年4月に京都市の補助金交付決定。

1999年2月に中京区松原御前に移転したのを契機に、本格的な喫茶店にしたいという利用者の希望によって「喫茶ジョイント・ほっと」をオープン。2000年12月に「サンライズ21」という皆の夢を語り合う企画を実施し、「次は街中でお店をやりたい!」「日替わりランチをやりたい!」「ボランティアをやりたい!」という声を受けて、2003年5月に下京区寺町に移転し、6月に「喫茶とランチの店 ジョイント・ほっと」をオープン。

2005年4月から小規模通所授産施設「ジョイント・ほっと」として認証を受け、同年6月に京都市から「社会福祉法人てりてりかんぱにい」として認証を受ける。

2008年3月障害者自立支援法に基づく就労継続支援B型事業所へ移行する。

## 2. 経営基盤

自立支援法個別給付、利用料、授産収入、寄付、各種助成金により運営。

## 3. 事業(活動)の特徴

「私らしい働き方」を大切にし、仕事を大きく5つのユニットに分けて、自分の目標や体調・

状態に合わせて各ユニットやグループに所属して働くことができる。ひとりひとりの「こんな仕事もしたい」という夢を実現するため、「個別ワーク」があり、講演・案内活動、ビデオ編集、グラスホッパーズ(近所のお寺の庭の草むしりなど)、清掃、冊子作り、クリーンシフト(休憩室などの清掃)など個人の目標、資質に合わせて仕事をすることができる。仕事以外の「ゆったりとした時間」も仕事同様大切にしている。また、皆で集まり、学ぶ機会をたくさん設けている。ピアカウンセリング学習会、SST、他店への研修など、仕事に関わる研修やより良い生活をめざすためのものなど多彩である。

## 4. 当事者の相互支援活動の取り組み

月1回のピアカウンセリング学習会では、家族関係や友人関係など、ごく日常のコミュニケーションや自分自身を振り返る時間を設けている。同様に、SSTを活用して喫茶の場や休憩室など、あらゆる場面に登場する。たとえば休憩場所でお互いに仕事の内容でこれができなかった、どうすればいいなど今困っていることを当事者同士で話し合っている。当事者の人たちが、自発的にサポートできるように心がけている。

## 5. 地域性(地域特性を活かした活動及び視点など)

お祭りやイベントでクッキーやコーヒーを販売したり、病院の売店などにケーキやクッキーを搬入している。老人ホームや大学で、お年寄りや学生さんに対してカフェを開いている。

また精神保健福祉関係シンポジウムや大学の授業で講演活動を行っている。

京都の古くから続く街の中に、コーヒー、食事による地域住民がゆっくりくつろげる街の中のオアシスのようなカフェレストランを目指している。そしてボランティアの人たちも受け入れている。こうして地域に積極的に働きかけている。

## 6. 今後の展望や課題

「喫茶ジョイント・ほっと」を運営してまちに受け入れられつつ、商店などの行事に積極的に参加してつながりを広げていく。

授産活動が中心になっているが、「ほっと」する場を大切にしていきたい。

利用する人たちが増えて、安定した財政を構築したい。

【事業概要】

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称    | 社会福祉法人てりてりかんぱにい ジョイント・ほっと                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 設立    | 1997(平成9)年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 目的    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 理念    | 「今自分がここにいるんだ」と感じあえる場所づくりをめざしている。一人ひとりの悩みやしんどさを共有し、笑顔と自信に変えていけるよう仕事を通じて、そこから始まる温かな人と人とのつながりを大切にしている。<br>ジョイント・ほっとという名前は、そんな気持ちからつけられた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 名称の由来 | 心の病を持っていても、いなくても みんなでホッとする場にしたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 沿革    | <p>四条大宮時代(1997年4月～1999年2月)</p> <p>1996年、「心の健康と生活の場づくりを考える会」が発足。精神科病院ソーシャルワーカーを中心に有志が集まり、心の病を持つ人もそうでない人も、そこに関わるひとりひとりが、自分らしくいられる場所、元気になれる場所を作りたいと願い、共同作業所づくりに着手した。</p> <p>1997年1月ジョイント・ほっと運営委員会(7名)が組織され、共同作業所の開設を決定。11月に東京JHC板橋会代表の寺谷隆子さんを迎えて、ジョイント・ほっと開所式典を開催。</p> <p>1998年1月週1回オープンの「お茶の間喫茶」開設(「お茶の間喫茶」とは作業所1階の和室を開放し、地域の方や障害を持つ方が交流する喫茶サロンのこと)。</p> <p>1998年4月京都市の補助金交付決定。</p> <p>松原時代(1999年2月～2003年5月)</p> <p>中京区松原御前に移転。移転を契機に作業所の活動内容を喫茶にしたのは、「お茶の間サロン」を本格的な喫茶店としていきたいという、利用者の希望が多かったのが一番の理由。4月週3回営業の「喫茶ジョイント・ほっと」をオープン。</p> <p>2000年12月「サンライズ21」という皆の夢を語りあう企画を実施。「次は街中でお店をやりたい!」「日替わりランチをやりたい!」「ボランティアをやりたい」という声があがる。</p> <p>2001年12月近所の老人デイサービスセンターに月2回ボランティア喫茶を開始。</p> <p>2002年4月生協二条駅店の「ふれあい喫茶」コーナーに週1回出店。週5日の営業と定期的に開催するフリーマーケットやバザーでの出張喫茶ではもの足りなくなり、定期的に外で販売をすることに。</p> <p>2002年9月特定非営利活動法人「てりてりかんぱにい」として認証をうける。</p> <p>寺町時代(2003年5月～現在)</p> <p>2003年5月下旬京区寺町に移転する。ホテルなどで接客マナーを教えている方を講師に招き接客練習など開店準備。6月に「喫茶とランチの店 ジョイント・ほっと」をオープンする。</p> <p>2005年4月国から小規模通所授産施設「ジョイント・ほっと」として認証をうける。</p> <p>2005年6月京都市監査指導課から社会福祉法人「てりてりかんぱにい」として認証を受ける。</p> <p>2008年3月障害者自立支援法に基づく施設体系、就労継続支援B型事業所へ移行する。</p> |
| 事業所   | ジョイント・ほっと                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

【経営基盤】

|      |                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 援助機関 | 国                                                                           |
| 財源   | 自立支援法個別給付、利用料、授産収入、寄付、各種助成金                                                 |
| 年間予算 | 3700万円                                                                      |
| 課題   | 日々の利用者が、15名弱なので、個別給付が少ない。職員の給料アップが望めないし、残業手当をだせない。<br>授産収入をあげないと工賃アップのぞめない。 |

【建物・アクセス】

|      |                                               |
|------|-----------------------------------------------|
| 建物   | 賃貸<br>(建物や形態) 町屋<br>190 m <sup>2</sup>        |
| アクセス | 最寄駅 JR京都駅より地下鉄2つ目の四条駅下車 徒歩10分 市バス河原町松原下車 徒歩5分 |

【事業(活動)の特徴】

|             |                                                                                           |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 私を伸ばす時      | 皆で集まり、学ぶ機会がたくさんある。月1回のトークタイム、他店への研修、身だしなみ、荒木由美子先生喫茶研修、ピアカウンセリング学習、SST、レクリエーション、同好会、防災訓練など |
| ピアカウンセリング学習 | 月1回、有志で集まり、家族関係や友人関係など、ごく日常のコミュニケーションや、自分自身を振り返る時間を持っている。                                 |



### 【相互支援活動の取り組み】

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 当事者の相互支援活動 | 自発的なピアサポートを奨励し、支援している。 |
| クラブハウスモデル  | クラブハウスモデルを取り入れて運営している。 |

### 【当事者の相互支援活動導入の動機及び経過】

|    |                                                                                                                          |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動機 | ジョイント・ほっと設立時から、スタッフ、利用者という枠組みではなく、一緒に作り上げてきた。クラブハウスモデルの話を伺い、その姿勢に感銘を受けた。                                                 |
| 経過 | 当初居場所から始まった作業所であるが、経過の中で働く場の趣が強くなった。しかし、仕事をする中での仲間の助け合いや、休憩の場での相互支援が行なわれている。ピアカウンセリング・ピアサポートとは各自言わないが、実践は、それそのものだと思っている。 |

### 【当事者の相互支援活動の取り組み】

|                       |                                                            |
|-----------------------|------------------------------------------------------------|
| 自発的なピアサポートを奨励し、支援している | 利用者同士で困っていることを聞いている。<br>仕事の内容で出来ない所を、できるように利用者と職員で話し合っている。 |
| ピアカウンセリングを奨励し、支援している  |                                                            |

## 調査員の感想

(午前中に施設の見学)

1階の厨房でお弁当作り、事務、ケーキ作り  
2階は洗濯干しとパソコン打ちが行われていました。各々のペースで無理なく参加されていました。

施設の案内をして頂いた後に、昨年メンバーの方の編集で1年かけて作成した案内DVDを見ながら、朝の準備や打ち合わせの様子の説明を受けました。壁にはお菓子の売上や情報が提示されていて共有する工夫がされていました。

2階へ休憩に来る人や午後のシフトに来る人が交流する時間になり、私たちはお店でランチを頂きました。お店はJHC板橋会プロデュース道の雰囲気でお店としてあたたかい十分な接客でした。お店は、木の香りがしてゆったりとした感じで居心地の良い食材にもこだわり、調布にあるクッキングハウスを思い出しました。役割分担が明確になっているので、作業しやすくJHC板橋会の赤塚、秋桜、プロデュース道と一緒に活動しているようで、JHC板橋会に居る錯覚をするぐらいの思いです。調査は、交流サロン(行政支援)で行いました。ジョイントほっとから歩いて2～3分のところにある町の人との交流場所で、メンバーの方がシフトを縫って参加していただきました。

調査に関心があり自分たちにとってのジョイントほっとがどんな場所なのか、スタッフの日頃かわりなど、積極的に話していただきました。調査の担当のスタッフとの会話も自然で、よく理解しあえているように思いました。

継続B型ですが、スタッフも多く、後援会もあり商店街の行事にも意識的に参加されている日頃の交流があつて、街に根ざしているようでした。皆さんにとっても心良く迎えていただき、忙しいなかシフトの合い間の休憩時間に調査を協力していただきました。

ジョイント・ほっとの歩みの中で、スタッフがJHC板橋会の小規模授産やクラブハウスの研修をされたり、寺谷さんの話を聴く機会があったりして、サービスを考えていく中で参考にされていて、私たちの目指したい思いを実現している場所に思います。ピアサポートは、2階の休憩時間にほっと一息できる空間に、安心して会話するなかで行われているようです。お店はメンバーとスタッフが一緒に責任を持ちながら、育てていて授産を充実させながら、ほっとする空間を大切にしているメリハリのあるように感じました。

定期的なスタッフとの面談で目標を確認し合う時間を持つことで、メンバーの方が安心して相談できているようでした。

事業所だけでなく、多くの人との交流は見習うことが多くて、調査に行けてよかったと思いました。そしてまた、行きたいと思える「人と場所」でした。

外山元子

私は見学する前まで、本で見た「シフト表」をどうやって行っているのだろうと不思議で気になっていました。話を聞いてみると1人の人がいろいろなシフトに入って仕事をしていると

わかりました。(製菓に入って次は洗濯に入るとか分かりやすく話してくれました)ジョイント・ほっとは居場所から始まった。という事と生活に関わる事を全部やっていける場所。という事に自信を持っています。週5日ではなく、土曜日も開所していて、休みの日曜日をを使って山登りを行ったこともあるそうです。メンバーに教育の機会が与えられており、ビジネス講座などを行っているそうです。振り返りという言葉がたくさん聞きました。

・1日の振り返り

・自分の仕事の振り返り

・売り上の振り返り

などです。クラブハウスではありませんが、クラブハウスモデルを一部取り入れて運営していたりジョイント・ほっとは「なんか兄弟みたいな関係だね」と言われました。

#### 《調査》

□実施日 平成22年1月31日・2月1日

□調査員 外山元子 稲沢伊津子 宗像ハツミ

## 財団法人 北海道精神保健推進協会 こころのリカバリー総合支援センター

### 1. 開設までの歩み

1975年に北海道は、北海道地方精神衛生審議会が知事に答申した「精神障害者の社会復帰を促進する方策について」に基づき、1984年に道東の音更町にデイケアとナイトケアを兼ね備えた「音更リハビリテーションセンター」を開設した。

その後札幌市を中心とする道央圏でも、デイケア設置施設の協議が進められ、北海道、札幌市、北海道精神科病院協会、北海道精神障害者家族会連合会及び札幌市婦人福祉推進協会の出損金及び寄付金(5000万円)を基本財産として、1987年2月に財団法人北海道精神保健推進協会が設立された。同協会では、1989年2月に「札幌デイケアセンター」を開所し、1990年4月に家族会「リラの会」を設立した。さらに、1991年には就労支援のための、「就労トライアル」、「就労ゼミナール」を開始した。そして、2004年に北海道から「高次脳機能障害者支援事業」を受託し、2007年に北海道の行政補完型補助事業として全道15圏域での研修事業等を開始し、札幌市も同額を補助した。

2009年4月1日より「札幌デイケアセンター」の名称を「こころのリカバリー総合支援センター」と改称した。その理由は、精神科デイケア事業をはじめ、障害者が安心して地域で生活するための生活、就労、家族支援など、デイケアの枠組みでは収まりきれない包括的な事業にふさわしい名称にするためであり、メンバー8人、スタッフ1人による「札幌デイケアセンターの新名称を考える委員会」を立ち上げた。時代の先取りとこれからの方向性を考慮して「リカバリー」という言葉が発案され、その言葉に回復・自分から積極的に回復していく・主体的な取り組みが感じられるというイメージを持った。そして、通所開始から終了までの流れを、「サポート」、「ケア」される立場から、通所を重ねて自ら前向きに「何かをしよう」という気になり、主体性の回復に向かうと考えた。その

後、話し合いを重ねて、委員会案を職員全体会議で検討し、「こころ」、「リカバリー」、「サポート」をキーワードとして、最終的に「こころのリカバリー総合支援センター」を理事会に提案して承認された。「こころ」、「リカバリー」、「支援(サポート)」というキーワードの他に人権意識に基づいた、利用者中心の総合的なサービス提供を行うことから「総合」という言葉を加えて決定に至った。

事業としては、精神科デイケア、高次脳機能障害デイケア、研修会、ひきこもり成年相談センター、札幌市地域生活移行支援センター(札幌市の退院促進事業における地域体制整備コーディネーター)、北海道精神障がい者地域生活支援(退院支援)地域移行研修事業として「ピアカウンセリング研修」、「ピアサポーター養成講座」を実施している。

### 2. 経営基盤

財源は各種医療保険(診察料、デイケア料)、自立支援医療、その他に委託事業として札幌市から1980万円、北海道から2500万円を得ている。年間予算は1億4千万円である。

建物は、鉄筋コンクリート作り一部2階建てに、管理棟、訓練棟、体育館を持ち、すべて自己所有している。

### 3. 事業(活動)の特徴

「デイケアは目標ではなく、リハビリテーションにおける通過施設であること、そしてデイケアはその後の生活を再構成するための手段である」ことを常に意識し、就労、作業所への通所、在宅での自立という形でデイケアを終了することをめざしている。そのうえに、精神障害者を地域で支えるための専門職対象の研修や当事者(ピア)養成研修など障害者の生活を支援する様々な事業に包括的に取り組んでいる。

デイケアでは、利用者の自発性を重視し、内容は利用者とスタッフの話し合いによって決められる。その結果、各種スポーツや料理、話し合い、CD茶話会、パソコン教室、英会話、歴史研究、陶芸・木工、絵画・書道、茶道など多種多様なグループが生まれ、利用者が自分で選択して活動に参加できるようになっている。

地域のオープン・フォーラムとして、札幌市

精神障害者回復者クラブ連合会が「我らが主張大会」を継続して開催している。過度的雇用は実施していないが、自立的雇用は、就労支援として就労準備セミナー、就労トライアル、ジョブコーチ、就労継続グループワーク、職場訪問等、障害者職業センターや職業安定所との連携を行っている。

#### 4. 当事者の相互支援活動の取り組み

こころのリカバリー総合支援センターのデイケア活動を通しての自助グループ活動としては、プラネタリウム、雪まつり等に参加するなど参加者が個性を発揮する「小グループ活動」、行事があるときに立ちあげる「委員会」、「クラブ活動」、カラオケ、ゲーム等好きな人たちで集まる「水曜活動」という自主活動を持ち活動をしている。

デイケア以外では、当事者（ピア）養成研修としてJHC板橋会から講師を招き、ピアカウンセリング研修を開催したり、米国カリフォルニア州のピアカウンセラー・ピアアドボケイトのコンニー・ロビンソン氏、ダニエル・スターナマン氏などを招きピアカウンセリング研修を開催するなど北海道全域を対象にピア活動の育成に取

り組んでいる。

#### 5. 地域性（地域特性を活かした活動及び視点など）

北海道全域を対象にしたピアカウンセリング研修、ピアサポーター研修に取り組んでいるため、当事者間の連携が自然にできるような仕組みになっている。札幌市に集まる研修では、お互いの活動紹介など相互支援のネットワークが当事者活動を推進役を果たしている。

#### 6. 今後の展望や課題

北海道各圏域でピアサポート研修の希望が出ると、今はこころのリカバリー総合支援センターのスタッフが講師として出向いている。本来は、こうした研修をセンター内で定期的に行って、外部研修の希望があればメンバーとスタッフと一緒に講師として派遣したいと考えている。

北海道ではピアサポーターに予算がつくようになっていっているので、報告書を書けば最低賃金が出るようになっていっている。ピアサポーターが継続して活動できる仕組みがあるので、それを活用していきたい。

#### 【事業概要】

|       |                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称    | 財団法人 北海道精神保健推進協会 こころのリカバリー総合支援センター                                                                                                                                                                                  |
| 設立    | 1989年（平成元年）2月                                                                                                                                                                                                       |
| 目的    | 通院療養中の精神障害者で、自立した社会生活を営むうえでさまざまなケアの必要な方にグループ活動、レクリエーション、作業療法などを行い、円滑な社会復帰を支援することを目的にしている。また、精神障害者を地域で支えるための専門職対象の研修や当事者（ピア）養成研修など障害者の生活を支援するさまざまな事業に包括的に取り組んでいる。                                                    |
| 理念    | 人権意識に基づいた、利用者中心の総合的なサービスを提供する。                                                                                                                                                                                      |
| 名称の由来 | メンバーとスタッフによる「札幌デイケアセンターの新名称を考える委員会」を立ち上げて検討した。自分から積極的に回復していくという主体的な取り組みというイメージで「リカバリー」、そして「こころ」「サポート（支援）」をキーワードとして、さらに人権意識に基づいた、利用者中心の総合的なサービスを提供していることから「総合」という言葉も入れて「こころのリカバリー総合支援センター」という名称に決定した。                |
| 沿革    | 1989年2月 札幌デイケアセンター開所<br>1990年4月 家族会「リラの会」設立<br>1991年 就労支援のための「就労トライアル」「就労ゼミナール」開始<br>2004年 北海道から「高次脳機能障害者支援事業」を受託<br>2007年 北海道の行政補完型補助事業として全道15圏域での研修事業等を開始（札幌市も同額を補助）<br>2009年4月1日より施設名称を「こころのリカバリー総合支援センター」に変更した。 |
| 事業所   | 精神科デイケア 利用者110人<br>高次脳機能障害（デイケア） 利用者16人<br>研修会<br>ひきこもり成年相談センター<br>札幌市地域生活移行支援センター（札幌市の退院促進事業における地域体制整備コーディネーター）<br>北海道精神障がい者地域生活（退院促進）地域生活移行支援「ピアカウンセリング研修」「ピアサポーター養成講座」                                           |



# 【経営基盤】

|      |                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 援助機関 | 北海道「高次脳機能障害者支援システム整備事業」<br>北海道「高次脳機能障害者支援事業」<br>北海道「行政補完型事業」<br>ひきこもり相談事業 |
| 財源   | 各種医療保険（診察料、デイケア料）、自立支援医療<br>その他に、委託事業として札幌市 1980万円 北海道 2500万円             |
| 年間予算 | 1億4千万円                                                                    |
| 課題   | 委託事業の継続性                                                                  |

# 【建物・アクセス】

|      |                                                                                                                          |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 建物   | 自己所有<br>（建物や形態）<br>鉄筋コンクリート造り一部2階建て<br>管理棟、訓練棟、体育館                                                                       |
| アクセス | 最寄駅 JR千歳線「平和駅」 徒歩7分<br>地下鉄、バス<br>例1：家から最寄駅まで徒歩10分、JR10分、地下鉄10～15分、駅からセンターまで徒歩10分<br>例2：家から最寄駅まで徒歩5分、JR10分、駅からセンターまで徒歩10分 |

# 【事業（活動）の特徴】

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 専門職の研修      | 精神科リハビリテーションセミナー<br>精神科デイケア研修<br>市民講座                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 当事者（ピア）養成研修 | ピアカウンセリング研修 2008年度（平成20年度）北海道地域生活移行支援推進事業 地域移行専門研修会「ピアカウンセリングを共に学ぶ仲間づくり」講師：JHC板橋会<br>ピアサポーター養成研修 2009年度（平成21年度）北海道地域生活移行支援事業 地域移行専門研修会「WRAPを通してリカバリーを考える」と公開講演「ひとりぼっちにならない、させない活動」～クラブハウスの理念と実際～ 講師：JHC板橋会 サン・マリーナ 「日本におけるクラブハウスの位置づけ」～日本・イタリア・イギリスの比較調査とイタリアにおける地域精神保健福祉の歩みから～ 講師：ロザリオ・ララッタ氏 |



こころのリカバリー総合支援センター外観

# 【相互支援活動の取り組み】

|            |                                                                                                              |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当事者の相互支援活動 | ・自発的なピアサポートを奨励し、支援している。<br>・セルフヘルプグループを奨励し、支援している。<br>・ピアカウンセリングを奨励し、支援している。<br>・ピアサポーターを養成し、プログラムとして実施している。 |
| クラブハウスモデル  | ・メンバーの希望があればクラブハウスをつくりたいと考えている。<br>・その他 12月18日（金）の公開講演「当事者参加と協働の地域づくり」でクラブハウスモデルに対する関心が高まった。                 |

# 【当事者の相互支援活動導入の動機及び経過】

|    |                                                                                                                                                                                                                   |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動機 | 札幌市には、すみれ会という古くから活動している当事者会があり、北海道精神障害者回復者連絡会の事務局を務めていて、すみれ会とのつながりがある。また、DPI（障害者インターナショナル）の札幌大会があったとき、米国の当事者がこころのリカバリー総合支援センターとすみれ会を見学して、当事者活動への関心が高まった。                                                          |
| 経過 | JHC板橋会とのつながりで、JHC板橋会から講師を招いてのピアカウンセリング研修を開催。さらに、米国カリフォルニア州のコンシューマー・セルフヘルプセンターの権利擁護事務所パイシメント・アドボケイト（患者の権利擁護者）のコニー・ロビンソン氏と同じく精神保健局青少年アドボケイトのダニエル・スターナマン氏という2人のピアカウンセラーを招いてのピアカウンセリング研修を開催した。こうした研修の成果が北海道全域に広がっている。 |

【当事者の相互支援活動の取り組み】

|                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自発的なピアサポートを奨励し、支援している       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・センターに中々参加できないメンバーにメールでミーティングの内容を話したりする。実行委員で打ち上げなどをする時メールで連絡し合う。連絡取りづらい時等にメールを活用する。</li> <li>・夜中に食事を作って持っていった。</li> <li>・通院のたびに開放病棟に行き面談している。</li> <li>・毎日電話でセンターでやったことを報告している。半分楽しい話をし、半分センターの話をする。</li> <li>・センターに来るよう声掛けしている。</li> <li>・パニックを起こした時、仲間に連絡するとパニックの原因から対処法までインターネットで調べて教えてくれる。</li> </ul>                                                                  |
| セルフヘルプグループを奨励し、支援している       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループ活動：プラネタリウムを見に行く、雪まつりに行くなど、参加者が個性を発揮していて、自分の参考になる。自由で伸び伸びとしていて、気がほぐれる。開放的で、同時進行のグループを選んで参加できる。</li> <li>・委員会：なにか行事があるときに立ちあげ</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・水曜プログラム：自分たちで好きな人を集めてカラオケやゲーム、初級パソコン、バトミントン等をする自主活動。</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| ピアカウンセリングを奨励し、支援している        | <p>ピアカウンセリング研修：各地にピアサポーターがいるのでその人たち中心で行っている。</p> <p>センターとしての支援：地域で希望が上がると希望に合わせてセンターからスタッフが講師として行う。</p> <p>課題：本来はセンターで定期的に行い、メンバーと一緒に研修に行けるとよい。また、ピアカウンセリングのプログラムを入れる隙間がない。</p>                                                                                                                                                                                                                                    |
| ピアカウンセラーを養成し、プログラムとして実施している | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーの希望があればやってみよう。</li> <li>・ピアサポーターの予算が札幌で5か所あるが1か所は人材不足で返還している。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| ピアサポーターを養成し、プログラムとして実施している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部ではやっていないが、各圏域で研修を行なっている。</li> <li>・お見舞いなどの仲間のための支援を行なっている。</li> <li>・これからたくさんの力が必要になってくる。</li> <li>・北海道では予算がつくようになっている。報告書を書いていけば最低賃金が出るようになっている。継続して活動できる仕組みがある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                             |
| その他                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフのひとりが熱心に当事者活動の大切さを、スタッフに教育している。</li> <li>・すみれ会という古くからの当事者会が今も活動している。すみれ会が北海道精神障害者回復者連絡会の事務局を務めている。すみれ会とこころのリカバリー総合支援センターとのつながりがある。</li> <li>・DPI札幌大会があったとき、米国の当事者がセンターとすみれ会を見学して、当事者活動への関心が高まった。</li> <li>・JHC板橋会とのつながりで、JHC板橋会から講師を招いて、ピアカウンセリングセミナーを開催。さらにカリフォルニアのコンシューマーセルフヘルプセンターのコンニー・ロビンソン氏、ダニエル・スターナマン氏を招いてのピアカウンセリングセミナーを開催。こうしたつながりが、北海道全体に広がっている。</li> </ul> |

## 調査チームの感想

外山 元子

私は、調査票の質問は難しく、答える方も時間がかかってしまうので資料がある場合初めに行く人全員が読み、その他の所を質問形式にした方が相手の方も喜んでくださるのではないかと思います。私は1回レポートを書いたのですが持ち帰った資料を読み直したら自分の勘違いに気づきました。話を記憶していたつもりが、資料を読み直すと違ったりするのです。それでもう一回レポートを書きなおしました。

こころのリカバリー総合支援センターさんは、デイケアでは月、火、水、木、金の午前

9：30～午後3：30まで毎日あります。その他に、週2回、火曜日と木曜日にクラブ活動があります。私たちが案内されたのはクラブ活動の方で、専門の講師を招いて、いくつもの教室に分かれ、自分の好きな部に入ることができる。例えば、パソコン、陶芸、木工、お茶、絵画であり、体育館ではソフトバレーをやっていました。パンフレットには、英会話、歴史も入っていました。パソコンは一人に一台ずつの先生がつきっきりで教えていました。

遠くから2時間もかけてやってくる人もいますが、それは“自分のために”と割り切っています。

私たちが病院で通っていたデイケアを数多く



の教室1つ1つにわかれているように感じ、とても広い教室に4～5人くらいで、講師の充実した指導が受けられる所だと思いました。

サン・マリーナで行っている、友愛訪問を手軽に行っており、病院へ来たついでに友達を見舞ったり、北海道は広いので多くはメールのやり取り等で情報の交換をしているとのことでした。時には喫茶店に集まったりして友情を高め合ったりしているそうです。

こころのリカバリー総合支援センターは、病院ではないのですが、医師がおり、それは相談や急に気分が悪くなったために行く場所となっています。

みんなはそれぞれ違う病院に通っていてこころのリカバリー総合支援センターに来るという事でした。

ピアサポーターという方がなじみが多くパンフレットを読むとクラブハウスにも近づいてきているようでした。

北海道全域で活動内容の発表を行なっているとのこと。それから、ひきこもりにも相談窓口があり力を入れていると思いました。

私たちは、「地域移行専門研修会」に招かれて、講師としてクラブハウスについてと体験発表をしました。12月16日の午後から3日間の講座で1日目の懇親会に参加させてもらい、名寄・遠軽・北見・釧路・深川・旭川・砂川・岩見沢・札幌・千歳・苫小牧・函館など、数多くの所から集まっており、関心も高い事を知りました。JHC板橋会よりもピアサポーターが多いのではと感じました。

遠藤 由美子

メンバーさんが7人くらい協力してくれました。全体的に時間がなかったので、もう少し時間をかけて調査出来れば良かったです。立地アクセスとしては、車や電車が多く自転車で来る人がいたり、旭川から往復2時間くらいかけて来る人もいて、その点では、サンマリーナは立地条件やアクセスが良いと思いました。

当事者の相互支援については、ピアサポートセルフヘルプグループ、ピアサポートについてはクラブハウスでやっていることと同じでした。ピアカウンセリングについては発展段階と

いう事とピアカウンセラーはこれからの段階でした。私を感じたことは、ピアサポートは充実していた。進んでいました。

5-1の動機については、ピアカウンセリングの意味が良く分からないという答えが返ってきました。もう少し詳しくどういう事をわかりやすく明確な説明をした方が良いと思いました。

協会のみんなで助け合いをしていて家を借りる時協会の人が保証人になってくれるそうです。サンマリーナでは、保証人については難しいと思いました。

6-1では、夜中に食事を運んだり、メールや電話、手紙のやり取りをしていました。サンマリーナでは、食事のやり取りはしないけど、友愛訪問、ピアサポート活動については、クラブハウスと同じことをやっていました。

6-2では、小グループ活動、委員会活動、行事、キャンプ、クラブ活動など、様々な活動をしていました。クラブハウスとはちがって様々な活動をしています。サンマリーナでも、もっと活動を増やしたいと思いました。

全体を通して感じたことは、ピアサポート活動も活発で様々な活動、茶道、陶芸、スポーツ、絵画など私も興味深い活動がありました。

#### 《調査》

□実施日 平成21年12月16日～18日

□調査員 宗像利幸 外山元子 遠藤由美子  
小池友美

## クラブハウスゆうせん

### 1. 開設までの歩み

施設長波多野彰彦氏は、作業所職員として働きながら、様々な施設への見学し、多くのメンバーと交流する機会を持ってきた。その中で、メンバーの多くが「自発的な取り組み」ではなく、「やらされている」感覚を持っていると感じ、「自分自身もメンバーにそういう思いをさせているのではないかと疑問を持った。「メンバーが自主的に活動できるように環境を整える」ことを考えながら、試行錯誤で実践に取り組んできた。

2000年、波多野氏は作業所のスーパーバイザーであった大学の先生を通じて、クラブハウスモデルのことを知った。「当事者を中心とした活動」を志向していた波多野氏は、早速、メンバーと共に韓国、ハワイのクラブハウスを見学した。

クラブハウスのメンバーの発言は、「自分たちはやることをやっている。だから、病気や障害についてとやかく言われる筋合いはない。当たり前前に生活するための権利を要求する」という自信に満ちた言動であると感じた。「このように自信ある行動ができる精神障害の方は、日本に何人いるだろう。それができなくなっている環境を作ってしまったのは、自分も含めた精神保健福祉に関わる関係者ではないのか」と考えた。

そして、作業所でクラブハウスを志向した活動を行った。

2005年9月、クラブハウスゆうせんを開所し、2006年3月、クラブハウスモデルによる本格的なユニット活動を開始することとなった。「ゆうせん」の名称は「湧泉」＝「ファウンテン(fountain)」にちなんでつけられた。

### 2. 経営基盤

2007年4月、地域生活支援センターの委託を受け、地域活動支援センターⅡ型として運営している。年間予算は1,000万円。95%が利用者収入、残りは寄付金、賛助会員からの会費、バザー収入等であるが、赤字である。

自立支援法による「地域活動支援センター」は、利用人数に応じて収入が変動するため、2010年4月からは多機能型施設に移行予定である。

但し、建物(98㎡)は、元警察の官舎2棟を改築したもので、各務原市から永久無償貸与を受けている。社会福祉法人「心泉会」設立委員会が目標とする資金が法律上の最低限必要な資産額に達することができた。現在、社会福祉法人化を目指している。

### 3. 当事者の相互支援活動の取り組み

当事者の相互支援活動は、クラブハウスにおいては当然のことであり、日々ユニット活動の中で行われている。また、縁側での悩み相談やハウスミーティングでの「なんでも相談」に取り入れている。

セルフヘルプグループとして、「心音会(こころねかい)」がある。

2005年2月頃、岐阜市第2あけぼの苑のメンバー有志が中心となり、第1あけぼの苑や第2あけぼの苑のスタッフらと共に「岐阜地区精神障害者当事者会・心音会」を設立した。当時、第2あけぼの苑では、毎年他府県の精神障害者施設見学や交流旅行を行っていた。特にクラブハウスモデルに興味を持ち、テファ・ファンテンハウス(韓国ソウル市)やホノルル・クラブハウス(米国ハワイ州)、すみれ共同作業所(札幌市)との見学・交流を通して、当事者活動の大切さとその必要性に気づき、自分たちにもできるのではないかと感じて、当事者会を設立した。

メンバーは、岐阜地区の精神病当事者で、近郊の福祉施設や作業所、デイケアの所属者が中心である。

毎月第2土曜日を活動日として、定期的な会合を持つとともに、地元の福祉講演会や福祉祭りへの参加、バザー、茶話会などを行っている。

クラブハウスゆうせんは、各務原市の地域活動支援センターⅡ型として運営しているために、利用対象者は原則として市内在住とされているが、市外からの利用者は「心音会」のメンバーとして利用することができる。

#### 4. 活動の特徴

クラブハウスゆうせんの最大の特徴はクラブハウス基準に基づいた理念に準拠した運営を目指していることである。

活動は「ユニット」と呼ばれるいろいろな仕事を用意されている。「事務ユニット」では、受付・応接業務やパソコンを使った「ゆうせん新聞(月刊)」「ゆうせん瓦版(毎日)」の発行事務、利用者数の把握・動向などの統計事務、メール対応などを行っている。「キッチンユニット」では、献立決めや昼食用食材の買い物、食事提供サービス、飲み物の提供など、「維持・管理ユニット」では洗濯・清掃・ゴミ出し等衛生管理、本やビデオの貸し出しサービス、花や木の手入れなどが行われている。

このように、クラブハウスゆうせんの活動は普通の生活をめざし展開され、必然的に生活上の様々なニーズを総合的に網羅し、多岐にわたっている。これらの仕事は「訓練」でなく、「実際に意味ある仕事」として位置づけられ、同じような活動を含む就業への知識や技術を身につけることにもつながっている。これらの仕事はクラブハウス運営を維持していくために必要な仕事であり、相互支援を意図したものであり、仕事の対価としての賃金は支払われない。

また、職場で「働きたい」という意思を持っている人達は、誰でも外の職場で働くことができる。オフィスゆうせんでのパソコンの仕事や、無料情報誌を配布する仕事、大学の通信教育の為のビデオ撮影などがある。

#### 5. 地域性(地域特性を活かした活動及び視点など)

クラブハウスゆうせんは各務原市最初の精神障害者の社会復帰施設である。それまで、各務原市はこのような社会資源を近隣の岐阜市や愛知県犬山市に委託していた。クラブハウスゆうせんの開所は画期的なことであるが、人口約15万人の各務原市において、精神障害のある方を対象とした施設が市内に1ヵ所と考えると、決して充実しているとはいえない。

施設を運営する環境として恵まれてはいないが、メンバー、職員誰もがその状況に危機感を感じ、「自分達で良くしていく必要がある」と念頭に置きながらの活動に参加していることが、

クラブハウスの明るさや魅力、主体性につながっていた。

また、規模が大きすぎない故の良さもたくさんある。メンバーとの密な関わり、メンバーが本当に希望しているニーズを把握し、それに応える。それには施設長はじめ職員のフットワークの軽さ、メンバーとの自然体で細やかな関わりの姿勢が基盤であり、誰にでもできることではないかもしれない。情熱的な職員が施設やグループに与える良い意味での影響力の大きさがあった。

クラブハウスゆうせんにはクラブハウス規約で謳われている「住居プログラム」がない。どのメンバーも家族と同居しているためである。各務原市は公営住宅で精神障害者の単身入居を認めていない。また、安定した収入や保証人がいないと入居できないため、今後メンバーからニーズが出た場合には市との協議やより充実した支援体制の強化が考えられる。

#### 6. 今後の展望や課題

- ・経済的基盤の安定
- ・社会福祉法人化
- ・住居プログラムの運営(現在は希望者不在のため行っていないが、いずれ必要になるだろう)



# 【事業概要】

|     |                                                                                                                                                       |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称  | 地域活動支援センター クラブハウスゆうせん                                                                                                                                 |
| 設立  | 2005年                                                                                                                                                 |
| 目的  | クラブハウス方式の実践をととして、地域における在宅の精神障害を抱えた人の相互支援やその関係者による自立支援の増進と地域理解を目指す。                                                                                    |
| 沿革  | 2005(平成17)年9月 クラブハウスゆうせん開所<br>2006(平成18)年3月 クラブハウスモデルによる本格的なユニット活動を開始<br>2007(平成19)年4月 各務原市より地域生活支援センターの業務を委託<br>2009(平成21)年10月 各務原市より古紙回収ステーション業務を委託 |
| 事業所 | 地域活動支援センター クラブハウスゆうせん                                                                                                                                 |

# 【経営基盤】

|      |                                                       |
|------|-------------------------------------------------------|
| 援助機関 | 各務原市の地域活動支援センターⅡ型として運営                                |
| 財源   | 利用者収入 95%<br>寄付金、賛助会員、バザー等による収入                       |
| 年間予算 | 1000万円<br>(前年度、今年度ともに赤字)                              |
| 課題   | 地域活動支援センターでの単価収入運営が難しい。<br>そのため、2010年4月から多機能型施設へ移行予定。 |

# 【建物・アクセス】

|      |                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------|
| 建物   | 各務原市から永久無償貸与<br>(建物や形態)・元警察の官舎2棟を改築<br>・約98平米<br>・平屋のコンクリート作り |
| アクセス | ②最寄駅：JR蘇原駅(徒歩10分)<br>②方法：自転車 約50%<br>車 4名、電車・徒歩 数名            |



クラブハウスゆうせん



調査で伺った日のランチ

# 【事業(活動)の特徴】

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ユニット活動 | 普通の生活を目指し展開され、必然的に生活上の様々なニーズを総合的に網羅し、多岐にわたっている。これらの仕事は「訓練」でなく、「実際に意味ある仕事」として位置づけられ、同じような活動を含む就業への知識や技術を身につけることにもつながっている。これらの仕事はクラブハウス運営を維持していくために必要な仕事であり、相互支援を意図したものであり、仕事の対価としての賃金は支払われない。                                                                                       |
| 過渡的雇用  | 職場で「働きたい」という意思を持っている人は、誰でも外の職場で働くことができる。オフィスゆうせんでのパソコンの仕事や、無料情報誌を配布する仕事、大学の通信教育の為のビデオ撮影などがある。                                                                                                                                                                                      |
| ミーティング | 「朝のミーティング」<br>各自が前日の出来事と今日の気分を言い、出欠の確認、連絡事項の報告等<br>「朝のユニット別のミーティング」<br>ユニットごとに、各メンバーの当日の作業の役割分担<br>「帰りのユニット別のミーティング」<br>ユニットごとに、連絡事項の確認や各メンバーの反省・感想を行う<br>「帰りのミーティング」<br>ユニットごとの活動報告、翌日の出欠の確認、連絡事項の報告等<br>「ハウスミーティング」<br>なんでも相談、ユニット活動についての議論、行事についての議論等など、クラブハウスに関わる様々なことについて話し合う |

### 【相互支援活動の取り組み】

|            |                                                    |
|------------|----------------------------------------------------|
| 当事者の相互支援活動 | ・自発的なピアサポートを奨励し、支援している。<br>・セルフヘルプグループを奨励し、支援している。 |
| クラブハウスモデル  | 認定クラブハウスを運営している。                                   |

### 【当事者の相互支援活動導入の動機及び経過】

|    |                                                                                                                                                        |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動機 | 施設長の思いとして、メンバーは自発的ではなく「やらされている」感覚を持ち、「関わり方」や「考え方」が関わる立場によって違うことに気付く。メンバーが自主的に活動できるよう、置かれている環境を整えることが大事と考えた。試行錯誤を繰り返しながら活動をしている。                        |
| 経過 | ・2000年 クラブハウスモデルと出会う<br>・作業所のメンバーと韓国のテファファウンテンハウスを見学<br>・ハワイのクラブハウスを見学<br>・作業所においてクラブハウスのような活動を行う<br>・2005年8月 警察官舎だった建物を改築<br>・2005年9月25日 クラブハウスゆうせん開所 |

### 【当事者の相互支援活動の取り組み】

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自発的なピアサポートを奨励し、支援している | ・クラブハウスにおいて当然のことであり、日々ユニット活動の中で行われている。<br>・縁側での悩み相談、ハウスミーティングでの「何でも相談」などに取り入れている。                                                                                                                                                                                                                        |
| セルフヘルプグループを奨励し、支援している | 名称：心音会<br>・活動内容：定期会合、福祉講演会・福祉フェスティバルの見学、バザー、茶話会など<br>・活動頻度：月1回(第2土曜日)<br>・活動期間：2005年～<br>・活動場所：主にクラブハウスゆうせん<br>・人数：<br><input type="checkbox"/> 貴団体としてどのような支援をしていますか。<br>・場所の提供、世話人<br><input type="checkbox"/> 継続的な運営にどのような課題がありますか。<br>・会員の継続的な参加(冬は雪の影響で岐阜北部のメンバーの参加が難しく、クラブハウスゆうせんのメンバーの参加が中心になっている) |

## 調査チームの考察・感想

JHC 秋桜 下田路子

私は9月にテファファウンテンハウスでのクラブハウス3週間研修に参加させて頂き、クラブハウス事業により関心を持った。クラブハウスゆうせんは開所前に研修に参加されていて、私は同じ研修に参加された、日本の他のクラブハウスに行ってみようという思いがあり、今回のクラブハウス調査に参加させて頂いた。

調査はゆうせんのメンバー・スタッフが事前準備をていねいに行ってくださっていたおかげで、とてもスムーズに行うことができた。また、私達を迎え入れてくださる心遣いがとても温かく、改めて感謝申し上げたい。

クラブハウスゆうせんでは、縁側でのお喋りや悩み相談など日常的なピアサポートや、足りないものは家具さえも手作りされていたり、活動をみんなで作り上げている様子を肌で感じた。そんな温かい気持ちを抱いた一方で、ゆうせんの活動が先駆的で世界と近いことも感じた。例えば、環境面では世界クラブハウス会議に参加された時のポスターが掲示されていた

り、活動においては海外研修で学ばれたことを積極的に取り入れているところ等である。また、一番強く感じたことは財政面などでは決して恵まれた環境ではない中、メンバー・スタッフが自分たち自身で活動をより魅力的に、よりエネルギーにするにはどうしたら良いかということを常に考えているように感じたことで、どのメンバーもスタッフもゆうせんで活動していることに誇りを持っている姿が印象的であった。

ゆうせんで学んだことを板橋に持ち帰ると同時に、今回の訪問もきっかけに、日本のクラブハウスがより発展しますます世界に広がるよう、これからも手をつないでいきたいと思った。

JHC 大山 塩谷信幸

1月21～22日、クラブハウス調査のため、岐阜県各務原市にある「クラブハウスゆうせん」に行きました。岐阜県と聞いて、緑や畑が広がり雪が積もっている、という風景を想像していましたが、実際は住宅地や商店が立ち並び、気



候も東京とあまり変わらないようです。「ゆうせん」のメンバーさんに伺ったところでは、岐阜県の北部は山岳地帯で、各務原市や岐阜市のある南部とは全く違う気候とのことでした。

21日の夕方、「ゆうせん」最寄り駅の蘇原駅に到着すると、活動時間中にもかかわらず所長の波多野さんが迎えにいらしてくださいました。波多野さんには、夕食など2日間の移動を、車で送り迎えをしていただき、大変お世話になりました。お客様を迎える態度を教わったように感じています。

調査当日は、朝のミーティングから参加させていただきました。ゆうせんにも、気分調べと同じような時間があり、自己紹介を兼ねて「昨日の出来事」と「今日の気分」を一人ずつ発表していきます。普段行っていることでも、場所と内容が変わると新鮮に映りました。特に時間制限があるわけでもなかったのですが、みなさん非常にコンパクトにまとめて発表されていたのが印象的でした。

その後のオリエンテーションでは、所内を案内していただきました。平屋のコンクリート造りで、もともと警察官の寮だった建物を改築したそうです。所内には、手作りの本棚や靴箱、つぎはぎして作ったカーペットなど、手作り感が満載。外には手作りの縁側や家庭菜園もあり、メンバー・スタッフのアットホームな雰囲気や、日当たりの良さも加わって、とても居心地の良い空気を感じました。

案内していただいた中には、是非持ち帰ってJHC大山で提案したい、と感じたものも。ミーティング記録を張り出していることや、「ゆうせん瓦版」という写真入りの活動報告を作成していることなど、みんなで検討して取り入れていけたら、と思っています。

聞き取り調査と午後の活動で開催していただいた交流会でも、さまざまなお話を伺うことができました。ゆうせんが各務原市で唯一の通所施設であること、デイケアが一つしかないこと、精神障害を持つ方の公営住宅への単身入居が認められていないことなどなど。板橋区と比べると、社会資源が非常に少ないという印象を持ちました。

ゆうせんは、まだまだ活動を作り上げているところ、とのことですが、これから事業を展開

し、活動を広げていくことが、各務原市の資源を広げていくことにつながるのではないかと思います。2年後3年後と、ゆうせんの活動がこれからどのように広がっていくのか、ぜひまた機会があれば、お話を伺いたいと感じました。

サン・マリーナ 遠藤 由美子

クラブハウスゆうせんは、愛知県名古屋市に近い岐阜県各務原市にあります。私は岐阜は雪がものすごく降っていると思っていたら、雪が降ってなく、天候にも恵まれて調査することができました。ゆうせんのメンバーさんは、とても親切に対応してくれて、調査が終わった午後は、岐阜の食べ物について話が盛り上がりしました。

クラブハウスを運営する場所は、元警察の官舎2棟を改築した所で、アットホームな一軒家という感じでした。メンバーさんは、自転車、自動車、電車、徒歩でゆうせんに通って来られています。

ピアサポート活動も自然に取り入れていて、縁側での悩み相談やハウスミーティングで何でも相談しています。体調が悪い時に相談できる場所があっていいな、と思いました。

ゆうせんでは、本・ビデオ貸し出しサービスがあり、映画のビデオテープが棚にたくさんありました。古い映画を無料で貸し出して、映画の知識を深めることができ良かったです。ゆうせんの庭では畑があり、赤カブなどの野菜を作っていました。私も野菜作りには興味があり、ベランダで作れる野菜はないかなあと思いました。

メンバーさんとスタッフは、韓国のテファファウンテンハウスのクラブハウス研修も受けており、ハワイのクラブハウスとの交流もあります。国内では、地理的に近い奈良県のピアステーションゆうや三重県伊賀市の社会福祉協議会とも交流があります。私も昨年テファファウンテンハウスの3週間クラブハウス研修に参加していて、ネットワークがあります。これからは韓国や世界のクラブハウス、日本のクラブハウスみんなと交流を深めていきたいと思いました。

また、セルフヘルプグループとして「心音会」

というのがあり、福祉講演会やバザー、茶話会などがあり、活動しています。私も自助活動としてピアサポート活動をしているため「心音会」に興味を持ちました。これからも、サンマリーナの自助活動にも積極的に参加したいと思いました。

サン・マリーナ 関谷芳孝

久しぶりの新幹線に乗り、早く岐阜に着かないなあと思った。ゆうせんには若い人が多くて私は疲れなかった。雰囲気は自然体でゆったりすることができたのが印象的だった。貸し出しビデオコーナーにはずいぶんたくさんの種類が置いてあることに気付いた。

調査には不安があったが、スムーズに行えて成功だと思った。機会があればまた訪問してみたいと思う。

#### 《調査》

□実施日 2010年1月21日・22日

□調査員 下田路子(JHC秋桜)

塩谷信幸(JHC大山)

遠藤由美子 関谷芳孝(サン・マリーナ)

#### 《参考資料》

・クラブハウスゆうせんパンフレット

・クラブハウスゆうせんHP：<http://www15.plala.or.jp/shinsen/index.html>

## 特定非営利活動法人 ヒューマンケアクラブストライド ストライドクラブ

### 1. 開設までの歩み

現理事長末安氏が世田谷区で精神障害者の就労支援の一環として、「仕事ミーティング」を実施する中で、就労するには生活全般に渡る支援が必要であると感じていた。当時そのような支援のあり方を模索しているとき、クラブハウスモデルに出会った。ニューヨークのファンテンハウスで研修を受けるとともに、「世田谷にクラブハウスを作る会」を結成。第1火曜日の夜間に活動し、食事作りなどをしていた。10数名ほど参加していた。

そして、1997年に渋谷区に「ストライドクラブ」を開始する。2年間の自主運営後、渋谷区の助成を受けNPO法人としてクラブハウスの運営を行い、現在に至っている。

クラブハウスの名称は、マーチン・ルーサー・キング牧師が公民権運動について書いた『自由への大いなる歩み (Stride toward freedom)』に由来。一步一步、胸を張って歩んで行こうという気持ちが込められている。

### 2. 経営基盤

渋谷区より精神障害者共同作業所通所訓練事業運営等補助金(Aランク)を受け運営。年間2400万円くらい。(交通費補助60万円弱、家賃(月39万円)・更新料で上限540万円含む。実費を補助してもらっている)その他に共同募金会(年間25万円程度)、渋谷区社協(物品による寄付限度額10万円、但し自己負担あり)、実習謝礼金など。

渋谷区には、区の障害者団体連合会として毎年要望書を提出している。現在の場所に支障がないが、人数が増えてきた場合は物理的に難しい。しかし、補助金の増額がないと移転なども難しいのが現状である。

### 3. 当事者の相互支援活動の取り組み

ピアカウンセリング、ピアサポートという言葉は通常は特に使っていない。しかし、実際に

はお互いに助ける、助けられるということは、日々に活動の中で行っている。メンバーの中にピアカウンセリング(JHC板橋会セミナーで)を学んだ人もおり、ピアグループを開いたこともあったが、現在はサンマリーナのような学ぶ場を作っていない。

メンバーが自発的にすることには、メンバー、スタッフ共に協力する気持ちはある。職員がすべて解決するのではなく、メンバーが相談にのったり、手を差し伸べている。それは、ミーティングの場であったり、仕事をしながらであったり、休憩時間に相談したりしている。

昼休みは1時間半と長い、それはうまく休憩をとることが出来ない人が多いので、意識して長い休憩をとっている。休むことも仕事の一部と過渡的雇用に行っているメンバーにも伝えている。

### 4. 活動の特徴

認定クラブハウスを運営している。

ストライドクラブを運営するために必要な仕事を、メンバーとスタッフが共働して行う。デイ・プログラムにおけるユニットは事務ユニット、キッチンユニット、特別ユニット、過渡的雇用ユニットの4つである。メンバーとスタッフは、毎朝、自分の目的と体調に合わせてどのユニットに入るかを自主的に決める。

また、ミーティングを大切にしている。1日の始まりは全体でのミーティング、午前と午後に各ユニット毎のミーティング、15時には再び全体でミーティングを行う。毎週木曜日の午後にはハウスミーティングを行っている。

### 5. 地域性(地域特性を活かした活動及び視点など)

渋谷区内の身体・知的・精神障害者団体で結成される渋谷区障害者団体連合会に加入している。

区民バザー、こころの健康フェスティバルなどに参加し、雑貨やハーブティーを販売している。接客などの訓練の場になるとともに、その売上は宿泊行事レクリエーションの予算の一部となっている。

## 6. 今後の展望や課題

世界共通のクラブハウスモデルを実践しているとメンバーは自負している。

日々の活動や世界の仲間たちとの交流を通して、クラブハウス、そして基準の意味について理解を深め、クラブハウスとして成長していきたいと思っている。

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【事業概要】</b>    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 名称               | 特定非営利活動法人ヒューマンケアクラブストライド ストライドクラブ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 設立               | 1995年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 目的               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 理念               | クラブハウス・モデルに基づき、メンバーとスタッフが共働でクラブハウス運営に必要な仕事をします。メンバーは活動を通して自分の価値目的を取り戻し、社会参加をしていく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 名称の由来            | クラブハウスの名称は、マーチン・ルーサー・キング牧師が公民権運動について書いた『自由への大いなる歩み (Stride toward freedom)』に由来。一步一步、胸を張って歩んで行こうという気持ちが込められている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 沿革               | <p>現理事長末安氏が世田谷区で精神障害者の就労支援の一環として、仕事ミーティングを実施するなかで、就労するには生活全般に渡る支援が必要であると感じ、当時そのような支援のあり方を模索しているとき、クラブハウスモデルを知り、ニューヨークのファンテンハウスで研修を受けてきた。2年間の自主運営後渋谷区の助成を受けNPO法人としてクラブハウスの運営を行い、現在に至っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1995年 「世田谷にクラブハウスを作る会」を結成。第1火曜日の夜間に活動し、食事作りなどをしていった。10数名ほど参加していた。</li> <li>同時期かすこし後に、当事者の自助グループミーティング“仕事ミーティング”開始。(世田谷)</li> <li>クラブハウス3週間トレーニング参加</li> <li>(ファウンテンハウス アメリカ・ニューヨーク)1995年</li> <li>・1996年 過渡的雇用開始</li> <li>・1997年 ストライドクラブ開始(渋谷)</li> <li>・1999年 渋谷区より補助金を受ける。</li> <li>・2003年 運営主体が特定非営利活動法人化。法人の事業となる。</li> </ul> |
| 事業所              | ストライドクラブ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <b>【経営基盤】</b>    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 援助機関             | 渋谷区                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 財源               | 精神障害者共同作業所通所訓練事業運営等補助金 Aランク                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 年間予算             | <p>渋谷区より2400万円くらい<br/>(交通費補助60万円弱、家賃(月39万円)・更新料で上限540万円含む。実費を補助してもらっている)</p> <p>共同募金会：年間25万円程度、<br/>渋谷区社協：物品による寄付限度額10万円、但し自己負担あり<br/>その他：実習謝礼金など</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 課題               | <p>現在の場所は支障がないが、人数が増えてきた場合は物理的に難しい。<br/>補助金の増額がないと移転なども難しい。<br/>渋谷区には、区の障害者団体連合会として毎年要望書を提出している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <b>【建物・アクセス】</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 建物               | <p>賃貸<br/>(建物や形態)<br/>賃貸マンションの2階。<br/>住宅用だが事務所使用も可能な建物。<br/>オートロック式で、メンバーはインターフォンを鳴らし建物内に入る。<br/>玄関はマンションにしては広い。リビングルーム、寝室、キッチン、浴室、洗面室、洗濯機置場、トイレとそれぞれが独立している。<br/>リビング側は全面窓ガラスで採光がとてもよい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| アクセス             | <p>渋谷駅、井の頭線神泉駅から徒歩7分ほど。<br/>にぎやかな繁華街を一步住宅街に入った静かな環境にある。<br/>利用者は近隣の方が多く(中野区から通っている人もいる)、徒歩、バス、電車にて通所。<br/>自転車での通所は、自転車事故が多い地域なので、安全を考慮し、公共交通機関を利用している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |





ストライドクラブ外観



調査に伺った日のランチ

#### 【事業（活動）の特徴】

|             |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 認定クラブハウスを運営 | ストライドクラブを運営するために必要な仕事を、メンバーとスタッフが共働して行う。デイ・プログラムにおけるユニットは事務ユニット、キッチンユニット、特別ユニット、過渡的雇用ユニットの4つである。メンバーとスタッフは、毎朝、自分の目的と体調に合わせてどのユニットに入るかを自主的に決める。<br>また、ミーティングを大切にしている。1日の始まりは全体でのミーティング、午前と午後各ユニット毎のミーティング、15時には再び全体でミーティングを行う。毎週木曜日の午後にはハウスミーティングを行っている。 |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### 【相互支援活動の取り組み】

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 当事者の相互支援活動 | 自発的なピアサポートを奨励し、支援している。 |
| クラブハウスモデル  | 認定クラブハウスを運営している。       |

#### 【当事者の相互支援活動導入の動機及び経過】

|    |                                                                                                                                                                |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動機 | 世田谷でクラブハウスを作る会を立ち上げ、仕事ミーティングを行っていた。メンバーの働きたいという気持ちが強く、「丸の内でネクタイをして働きたい」が合言葉だった。しかし、就労したいという希望や気持ちだけでは無理だということに気付いた。仕事への準備や生活を整えたりする必要があると感じ、模索する中でクラブハウスに出会った。 |
| 経過 | その後、ファンテンハウスで研修を受けた。そこで、クラブハウスの過渡的雇用に関心を持ったのではないかと。インタビューに答えてくださった方が、設立に関わった方ではないため伝聞による。）                                                                     |

#### 【当事者の相互支援活動の取り組み】

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自発的なピアサポートを奨励し、支援している | ピアカウンセリング、ピアサポートという言葉は通常は特に使っていない。<br>しかし、実際にはお互いに助ける、助けられるということは、日々活動の中で行っている。<br>メンバーの中にピアカウンセリング（JHCセミナーで）を学んだ人もおり、ピアグループを開いたこともあったが、現在はサンマリーナのような学ぶ場を作っていない。<br>メンバーが自発的にすることには、メンバー、スタッフ共に協力する気持ちはある。職員がすべて解決するのではなく、メンバーが相談にのったり、手を差し伸べている。それは、ミーティングの場であったり、仕事をしながらであったり、休憩時間に相談している。<br>昼休みは1時間半と長い、それはうまく休憩をとることが出来ない人が多いので、意識して長い休憩をとっている。休むことも仕事の一部と過渡的雇用に行っているメンバーにも伝えている。 |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 調査チームの考察・感想

田中 秀幸

私は、ストライドクラブの場所を覚えるため、クラブハウス調査に参加しました。ストライドクラブにいる時はあいにくの雨でしたが、ストライドクラブへの行き帰りは、雨があがっていたので雨にぬれなくて良かったです。ストライドクラブの方々は、皆様雰囲気は優しく、元気で静かでした。

クラブハウス調査に行った時の感想ですが、インタビュー調査は難しかったです。また、メンバー達は、皆、仲が良く、分かち合いの精神をもって、ユニット活動に参加されていました。また、ストライドクラブの面積の広さは、サン・マリーナよりも小規模ですが、クラブハウスのユニット活動は、無駄なものや余計なものが無く、全て良かったです。施設内では、お昼休みには音楽が流れて楽しく快適に過ごすことが出来ました。



世界クラブハウスの活動は、過渡的雇用や宿泊行事、レクリエーション活動を通して、リハビリテーションにはとても重要なので、メンバーの皆様が積極的にユニット活動に参加されていらっしゃるのを拝見させて頂き、どこのクラブハウスも同じだなと思いました。サン・マリーナでも頑張りたいと思います。

成瀬由美子

マリーナと違って、住居用の部屋を使っているので、とてもアットホームな感じがしました。

決して広くはないスペースを上手に利用して、機能的な環境でした。(パソコンをやる部屋は別にあったり)

活動内容は、マリーナと殆ど同じで、事務とキッチンが中心でしたが、ストライドの特長は、特別ユニットがあることだと思います。

特別ユニットは、事務ユニットにもキッチンユニットにも属さない仕事もしますが、どちらにも入ることなく、本を読んで過ごすとか、自主的な創作活動をするとかでも良いそうです。

本を読んで得た情報等をミーティングのときに他のメンバーやスタッフに提供してくれることもあるそうです。

クラブハウスには行きたいけれど、調子が悪くて、事務仕事もキッチンの仕事もできそうにないときでも、特別ユニットに参加して、それぞれがその日に出来ることをして参加するというのが、「メンバー全員が参加者」というピアカウンセリングの原則に通じるものがあると思います。

そういうことを自分で決めて参加するというのもメンバーが自主的に参加するという形の一つだと思います。

クラブハウスに来るだけでも良いけれど、何か意味のある人間関係を持つために、何か一つでも自分が出きる事得意な事をして帰る、ということはとても意味ある参加の方法だと思います。

「クラブハウスには行ったけど、調子が悪いので、何も出来なかった」というよりは、「事務もキッチンも出来なかったけれど、特別ユニットで自分の出来ることを十分にやって参加した」

というほうが、メンバーの自己有用感が高まると思います。

でも、事務でもキッチンでも手が足りなくなると、特別ユニットの人に応援を頼むという話だったので、ある意味マルチプレイヤーでもあるのかな?とも思いました。

実際、調査に伺った日にも、特別ユニットの方が活躍していらっしゃいました。

ストライドで感じたもう一つの特徴的なことは、昼休みが一時間半と長いことです。

ランチも12時に始まり、食後の片付けもそれぞれが行い、あとは食洗機がやってくれるので時間もかからず、休み時間がたっぷりあります。

スタッフにお聞きしたら、この長めの昼休みは、意図的に取っているとのことでした。メンバーの方の中には、間がもたないという理由もあると思いますが、休むことや休み時間が苦手な方も多いので、上手く休む習慣を得るためとのことでした。

実際、食後、後片付けをしてもたっぷり時間があるので、お茶を飲みながらゆっくり交流することができました。

ユニットでの仕事も大切ですが、それ以外の日常のコミュニケーションも大切なことだと思います。お互いよく知り合うことができるし、ちょっと困った事などを相談して、何か良い知恵をもらうこともできると思います。

私も、調査とは別にメンバーの方から沢山お話を聴くことができました。

クラブハウスは仕事中心の日課ですが、それ以外も含めた“意味ある人間関係”や信頼関係のためには コミュニケーションが大切だということを実感させられた調査でした。

#### 《調査》

□実施日 平成22年1月28日

□調査員 田中秀幸 成瀬由美子 田村文栄  
有野静香

#### 《参考資料》

・「まちと暮らし研究 転換する福祉－地域政策と非営利市民事業 no. 7 2009. 12」(財)地域生活研究所

・ストライドクラブ ホームページ

・デイリーすらいど通信(ブログ)

# 特定非営利活動法人 旭川ひだまりの会

## 1. 開設までの歩み

旭川ひだまりの会は、昔から旭川市の顔である「買い物公園通り」(駅前からのびる歩行者専用道路)に位置している。

1998年6月に旭川市内の精神保健福祉に携わるソーシャルワーカーと旭川精神衛生協会の主催する精神保健福祉ボランティア講座受講生によるグループ、「ふくろうの会」と「ともだちの会」の協力で、作業所の前身となる、地域で暮らす精神障害者の憩いの場の提供を目的とした「憩いのひろばひだまり」が開設された。

1999年4月、「憩いの場」にプラスして「働く機会を得る場所」として「地域共同作業所」に移行し、喫茶業務を中心とする仕事の場として新たに「ひだまり共同作業所」を開所した。

2006年6月より、自立支援法の施行に向け、作業所から一般就労へ向けての準備・体験の場として、喫茶ひだまりと旭川市水道局内で「ひだまり食堂」を開始し、2006年10月1日より共同作業所の機能を地域活動支援センターに移行。2008年7月に就労継続支援B型、2009年2月に就労移行支援事業に一部移行し、小規模多機能型として活動している。

## 2. 経営基盤

多機能型就労支援事業所が援助機関となっている。財源として、利用者収入、交付金、訓練等の給付金、賛助会費、授産収入がある。年間予算は4000万である。

## 3. 事業(活動)の特徴

就労継続支援B型と就労移行支援の事業を展開している。

就労継続支援B型では、喫茶店業務や箸袋づくりなどの軽作業を行うバックヤード業務、ハローワーク・障害者職業センターの利用支援や職場体験、仕事に就くための学習会など就労活動を行っている。

就労移行支援では、喫茶店業務・食堂業務・就労活動・ピアカウンセリング、SSTなど相互

支援活動を行っている。

## 4. 当事者の相互支援活動の取り組み

クラブハウスの理念を取り入れていて、スタッフとメンバーが共に活動し一人一人を大切にしている。

ピアカウンセリングは名称を『ピアカン』とし、ひだまり内で4年前から月2回(第2第4金曜日)の勉強会を行っている。JHC板橋会のピアカウンセリングのテープと資料を使って、主に人付き合いの勉強をしている。参加人数は10人前後のグループで行っており、スタッフはほとんど入らず、ひだまりのメンバーが自主的に行っている。退院促進の当事者支援のためのピアサポーターの養成も行っている。

旭川ではピアカウンセリングは地域移行支援事業として位置付けられており、ピアサポーターになるためには3日間の養成を受ける必要がある。また、ピアサポーターになった後も毎月1回土曜日に養成研修がある。参加人数は10人弱でひだまりで行っている。他機関から参加する人もいる。

## 5. 地域性(地域特性を活かした活動及び視点など)

地域社会の精神障害者の理解を深め、地域社会、市町村および関係機関・施設、ボランティア団体等との協働・連携のもと、あらゆるネットワークを活用し、精神障害者が暮らしたいところで必要なサービスを受け、安心して生活を送る事ができるようなパートナーシップのとれた地域体制作りと現在の精神保健をはじめとする社会資源の強化と補充に取り組むことを目指している。

その一つとして、イオンにて『黄色いレシート運動』を行っている。イオン内に『黄色いレシート運動』用ボックスが出ているときに、そこへレシートを入れてもらおうと1割がひだまりに入るようになっている。その際、ひだまりのメンバーがお客様へ声掛けを行っており、そのお客様が弁当配達のお得意様になったりと、地域交流に大変繋がっている。

## 6. 今後の展望や課題

ピアカウンセリングでは、参加メンバーの中

でベテランの方が卒業すると、その後の安定した運営を継続することが難しい。また、ピアサポートも同様で、ピアサポーターが卒業すると後に続くサポーターがいないため、継続することが難しくなっている。新しいメンバーであっても安心して参加できる、安定したグループの継続が課題である。

#### 【事業概要】

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称  | 特定非営利活動法人 旭川ひだまりの会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 設立  | 1998年（法人2005年3月）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 目的  | 自分が望む環境で安心し、満足することを目的に活動していきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 理念  | ひとりひとりを尊重します。（憲法13条）<br>自分の人生は自分で決めることを応援します。<br>ひとりひとりの存在が大切であり、お互い助け合うことで安心を得ることを応援します。<br>基本的考え方は、メンバーが自らの安心できる環境で目標を持ち様々なことに体験する機会を提供し応援することである。<br>1.自らを肯定的にとらえることのできる環境づくり<br>2.希望を大切にすること<br>3.回復の過程における相互支援<br>4.積極的な利用者主体の活動<br>5.自己管理できる力<br>6.社会とのつながりなどを基本として具体的プログラムの展開を考えている。<br>メンバーの業務については、メンバーが主体となり喫茶運営やパソコン業務のすべてを自治会（利用者主体の会議）で話し合わせ決定し責任を持ち維持運営にあたる。スタッフもメンバーも相互に支援を行い、自らの役割を実感できるプログラム活動やかかわり方を大切にしている。自治会では話し合いの他に、地域参加のために施設前の買い物公園通り（駅前からのびる歩行者専用道路）の清掃を行ったり、地元町内会、商店街振興組合にも入会し、交流を深めている。<br>またメンバーは、実習生やボランティア教育をはじめ、他の団体からの依頼を受け、講師として市民教育の役割を持つようになってきた。講師や自らの体験を語ることで自信を回復し、社会の一員として、サービスを受ける側ばかりではなく、サービス提供する側の役割も担っている。 |
| 沿革  | 1998年6月「ふくろうの会」と「ともだちの会」の協力で作業所の前身である「憩いのひろばひだまり」が開設<br>1999年4月ひだまり共同作業所を開設<br>2006年6月地域活動支援センターへ移行<br>2008年7月就労継続支援B型へ移行<br>2009年2月就労移行支援事業に一部移行し、小規模多機能型として活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事業所 | 就労継続支援B型 喫茶ひだまり<br>就労移行支援わく・エリア                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

#### 【経営基盤】

|           |                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------|
| 援助機関      | 国、北海道                                                         |
| 財源        | 利用者収入、交付金、訓練等の給付金、賛助会費、授産収入                                   |
| 年間予算      | 4000万                                                         |
| 課題        |                                                               |
| 【建物・アクセス】 |                                                               |
| 建物        | 賃貸<br>・喫茶ひだまり 築90年2階建て<br>・公共機関内社員食堂（水道局）                     |
| アクセス      | 最寄駅より<br>①「バス15分＋徒歩10分」<br>②「JR15分」、③「徒歩5分」<br>④「JR40分＋徒歩20分」 |

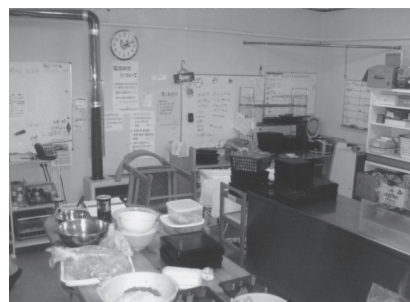




喫茶ひだまり



喫茶ひだまりの店内



喫茶ひだまりの厨房

# 【事業（活動）の特徴】

|                 |                                                                                                                                                                                    |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 就労継続支援B型・就労移行支援 | 就労継続支援B型と就労移行支援の事業を展開している。<br>就労継続支援B型では、喫茶店業務や箸袋づくりなどの軽作業を行うバックヤード業務、ハローワーク・障害者職業センターの利用支援や職場体験、仕事に就くための学習会など就労活動を行っている。<br>就労移行支援では、喫茶店業務・食堂業務・就労活動・ピアカウンセリング、SSTなど相互支援活動を行っている。 |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# 【相互支援活動の取り組み】

|                       |                                                                                                                                                 |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当事者の相互支援活動を奨励し、支援している | <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフヘルプグループを奨励し、支援している。</li> <li>・ピアカウンセリングを奨励し、支援している。</li> <li>・ピアサポーターを養成し、プログラムとして実施している。</li> </ul> |
| クラブハウスモデルを奨励し、支援している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> </ul>                                                                                          |

# 【当事者の相互支援活動導入の動機及び経過】

|    |                                                |
|----|------------------------------------------------|
| 動機 | 他機関（JHC）を見て勉強していて、サンマリーナを見ていいと思い旭川でも作ろうと思った。   |
| 経過 | クラブハウスの理念を取り入れていて、スタッフ・メンバーが共に活動し一人一人を大切にしている。 |

# 【当事者の相互支援活動の取り組み】

|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| セルフヘルプグループを奨励し、支援している      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの黄色いレシート運動。イオンにひだまりのボックスがあり、そこにレシートを入れてもらおうと1割がひだまりに入ってくる。年1回。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| ピアカウンセリングを奨励し、支援している       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称はピアカン、ひだまり内で4年前から月2回（第2第4金曜日）の勉強会を行っている。JHC板橋会のピアカンのテープと資料を使って勉強している（主に人との付き合い方の勉強）。参加人数は10人前後のグループで行っている。ひだまりのメンバーが自主的にやっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 貴団体としてどのような支援をしていますか。</li> <li>・スタッフはほとんど入っていない。</li> <li><input type="checkbox"/> 継続的な運営にどのような課題がありますか。</li> <li>・グループ運営に慣れているメンバーが卒業すると安定した運営が出来ない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                 |
| ピアサポーターを養成し、プログラムとして実施している | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川では地域移行支援事業として位置づけられている。ピアサポーターになるためには3日間の養成を受ける必要があり、ピアサポーターとなった後も毎月1回土曜日に養成研修がある、参加人数は10人弱でひだまりで行っている。他機関からの参加も有り。</li> <li><input type="checkbox"/> ピアサポーターは、どのような活動を行っていますか。（活動内容、活動頻度、活動期間、活動場所、人数）</li> <li>・退院促進の当事者支援を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> ピアサポーターが活動するために、どのような支援を行っていますか。（活動内容、活動頻度、活動期間、活動場所、人数）</li> <li>・誰でもが参加出来るようにしている。</li> <li>・ピアカウンセリングを継続的に行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 継続的な運営にどのような課題がありますか。</li> <li>・継続する事が課題。</li> <li>・ピアサポーターが卒業していくので人が居ない。</li> </ul> |